平成25年第2回西予市議会定例会会期日程表

会期6月10日(月)～6月28日(金) (会期19日間)

月 日	曜日	日 程	備 考
6月10日	月	本会議(開会)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員協議会(午前9時開会) ・理事者提案説明(午前10時開会) ・即決案件採択・委員会付託 ・各委員会協議会 ・一般質問通告ノ切(午後5時迄)
6月11日	火	休 会	
6月12日	水	休 会	
6月13日	木	休 会	
6月14日	金	休 会	
6月15日	土	休 会	
6月16日	日	休 会	
6月17日	月	休 会	
6月18日	火	本 会 議	・一般質問(午前9時開会)
6月19日	水	本 会 議	・一般質問(午前9時開会)
6月20日	木	本 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑・委員会付託(午前9時開会) ・環境衛生施設建設特別委員会 ・新市立病院建設特別委員会
6月21日	金	常任委員会	
6月22日	土	休 会	
6月23日	日	休 会	
6月24日	月	常任委員会	
6月25日	火	常任委員会	予備日
6月26日	水	休 会	・討論通告ノ切
6月27日	木	休 会	
6月28日	金	本会議(閉会)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員協議会(午後1時開会) ・委員長報告(午後2時開会) ・質疑・討論・採決

平成25年第2回西予市議会定例会会議録(第1号)

1.招集年月日	平成25年6月10日	野村支所長	井上尚喜
1.招集の場所	西予市議会議場	城川支所長	徳居隆利
1.開	会 平成25年6月10日	三瓶支所長	西園寺良徳
	午前10時00分	消防本部消防長	菊池直
1.散	会 平成25年6月10日	総務課長	宗正弘
	午前11時07分	財政課長	道山升文
1.出席議員		企画調整課長	浅野信也

- 1番 源 正 樹
- 2番 井 関 陽 一
- 3番 菊 池 純 一
- 4番 田 中 徳 博
- 5番 中 村 敬 治
- 6番 二 宮 一 朗
- 7番 兵 頭 学
- 8番 小 野 正 昭
- 9番 松 山 清
- 10番 宇都宮 明 宏
- 12番 元 親 孝 志
- 13番 沖 野 健 三
- 14番 森 川 一 義
- 15番 藤 井 朝 廣
- 16番 浅 野 忠 昭
- 17番 岡 山 清 秋
- 18番 酒 井 宇之吉
- 19番 兵 頭 勇
- 20番 山 本 昭 義
- 21番 梅 川 光 俊

1.欠席議員

- 11番 松 島 義 幸

1.会議録署名議員

- 19番 兵 頭 勇
- 20番 山 本 昭 義

1.地方自治法第121条により

説明のため出席した者の職氏名

市	長	三 好 幹 二
副	市 長	九 鬼 則 夫
教 育	長	宇都宮 又 重
公 営 企 業 部 長		平 野 松 市
会 計 管 理 者		井 上 謙 二
総 務 企 画 部 長		河 野 敏 雅
産 業 建 設 部 長		福 原 純 一
生 活 福 祉 部 長		三 好 幸 二
教 育 部 長		内 藤 利 明
明 浜 支 所 長		宇都宮 松 夫

- 1.本会議に職務のため出席した者の職氏名
- 事務局長 井 関 通 夫
- 議事係 佐 藤 陽 一 郎
- 1.議事日程 別紙のとおり
- 1.会議に付した事件 別紙のとおり
- 1.会議の経過 別紙のとおり

議 事 日 程		
1	会議録署名議員の指名 (19番 兵頭 勇、20番 山本昭義)	7 報告第 1号 平成24年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
2	会期の決定 (6月10日～6月28日 19日間)	報告第 2号 平成24年度西予市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
3	諮問第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について	報告第 3号 平成24年度西予市公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について
4	議案第71号 西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	報告第 4号 平成24年度西予市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
	議案第72号 西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	報告第 5号 平成24年度西予市上水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	議案第73号 西予市過疎地域自立促進計画の変更について	報告第 6号 平成24年度西予市病院事業会計予算繰越計算書の報告について
	議案第74号 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について	報告第 7号 平成24年度西予市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について
5	議案第75号 平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)	報告第 8号 平成24年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算繰越計算書の報告について
6	議案第76号 平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)	報告第 9号 平成24年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
	議案第77号 平成25年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	8 報告第10号 専決処分事項の報告について
	議案第78号 平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
	議案第79号 平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
	議案第80号 平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	
	議案第81号 平成25年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
	議案第82号 平成25年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	
	議案第83号 平成25年度西予市上水道事業会計補正予算(第1号)	
	議案第84号 平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)	

本日の会議に付した事件

本日の会議に付した事件		報告について
1	会議録署名議員の指名	報告第 2 号
2	会期の決定	
3	諮問第 3 号 人権擁護委員候補者の推薦について	平成 24 年度西予市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
4	議案第 7 1 号 西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	報告第 3 号 平成 24 年度西予市公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について
	議案第 7 2 号 西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	報告第 4 号 平成 24 年度西予市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
	議案第 7 3 号 西予市過疎地域自立促進計画の変更について	報告第 5 号 平成 24 年度西予市上水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	議案第 7 4 号 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について	報告第 6 号 平成 24 年度西予市病院事業会計予算繰越計算書の報告について
5	議案第 7 5 号 平成 25 年度西予市一般会計補正予算(第 1 号)	報告第 7 号 平成 24 年度西予市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について
6	議案第 7 6 号 平成 25 年度西予市授産場特別会計補正予算(第 1 号)	報告第 8 号 平成 24 年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算繰越計算書の報告について
	議案第 7 7 号 平成 25 年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	報告第 9 号 平成 24 年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
	議案第 7 8 号 平成 25 年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	8 報告第 10 号 専決処分事項の報告について
	議案第 7 9 号 平成 25 年度西予市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	
	議案第 8 0 号 平成 25 年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 1 号)	
	議案第 8 1 号 平成 25 年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	
	議案第 8 2 号 平成 25 年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	
	議案第 8 3 号 平成 25 年度西予市上水道事業会計補正予算(第 1 号)	
	議案第 8 4 号 平成 25 年度西予市病院事業会計補正予算(第 1 号)	
7	報告第 1 号 平成 24 年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の	

開会 午前10時00分

議長 ただいまの出席議員は20名であります。これより平成25年第2回西予市議会定例会を開会いたします。

三好市長より今定例会招集の挨拶があります。
三好市長。

三好市長 平成25年第2回西予市議会定例会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

さきの臨時会で正副議長、各常任委員会及び議会運営委員会の正副委員長の改選がされたところでございますが、元親前議長、小野前副議長を初め、各常任委員会の委員の皆様におかれましては、一方ならぬご支援、ご協力を賜り、まことにありがとうございました。心より厚くお礼を申し上げます。

新しく議長に就任されました浅野議長を初め、二宮副議長並びに各常任委員会委員の皆様方には、円滑な市政運営につきまして、これまで以上に格別のご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、なお一層のご活躍をご祈念申し上げます。

さて、去る5月20日に千葉県の幕張メッセ国際会議場で行われました新規ジオパーク公開審査会に臨んでまいりました。当日は、世界ジオパークの認定を目指す3地区と日本ジオパークの認定を目指す10地区により、公開プレゼンテーションが行われましたが、西予市は日本ジオパーク認定申請地区の3番目に発表をいたしました。持ち時間は、10分間のプレゼンテーションと日本ジオパーク委員会から10分間の質問を受ける20分でありましたが、最初にジオパーク推進室の担当職員が発表し、私も認定に向けてのお願いをいたしました。

当日は、西予市議会からも「目指せ、四国西予ジオパーク」の横断幕を携えて、議員勝手連の皆さん10人が応援にかけつけていただきました。私たちがプレゼンテーションを行う間中、横に並んで応援をいただきました。おかげをもちまして大変心強く、また私が横断幕を持って応援していただいたのは西予市の議員の皆さんであることを紹介した際には、会場からどよめきの声上がるなど、西予市のジオパークに対する熱意を、会場の皆さんを初め、審査員の皆さんに強くアピールできたものと思っております。公私とも大変お忙

しい中、遠路はるばる応援に駆けつけていただきました勝手連の皆様方に対して、まことにありがとうございました。お礼を申し上げる次第でございます。

また、このプレゼンテーションに向けて職員各位も大変頑張っておりました。

皆さんのおかげで、プレゼンテーション終了後の交流会や翌日の日本ジオパークネットワークの総会でも、西予市は高い評価をいただいたのではないかなという感じを受けております。当市といたしましても、日本ジオパークの認定を得ることが最終目的でなく、これを契機といたしまして、大地にかかわる自然遺産と関連する文化遺産を通じて、持続可能な西予市づくりをスタートさせるものであります。

今後は、7月下旬ころに現地調査があり、9月下旬に認定地域の発表がある予定になっておりますので、まずは認定を目指して頑張っている所存でございます。議員各位におかれましても、今後ともご指導、ご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、本定例会でございますけれども、議員の皆様からの一般質問をお答えするとともに、人権擁護委員候補者に係る諮問1件、条例改正2件、過疎計画の変更1件、辺地計画の策定1件、補正予算10件、予算繰り越しに係る計算書の報告8件、予算事故繰越に係る計算書の報告1件、専決処分事項の報告1件の計25件を上程し、ご審議をお願い申し上げます。諸議案の提案理由につきましては、上程の際にご説明いたしますので、慎重にご審議をいただき、それぞれご承認、ご決定を賜りますようお願いを申し上げます。簡単でございますけれども招集の挨拶といたします。よろしく願いいたします。

議長 次に、前定例会以降における諸般の報告は、お手元に配付のとおりでありますので、お目通しを願います。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(日程1)

議長 まず、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今回の会議録署名議員に19番兵頭勇君、20番山本昭義君の両名を指名いたします。

(日程2)

議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今回の会期は、本日から6月28日までの19日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認めます。よって、今回の会期は、本日から6月28日までの19日間と決定いたしました。

(日程3)

議長 日程第3、諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦について」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

三好市長。

三好市長 諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦について」提案理由のご説明を申し上げます。

法務大臣から委嘱されました本市の人権擁護委員のうち、1名の方が平成25年9月30日をもって任期満了となります。

その後任につきまして検討いたしました結果、宇和町の上甲利幸氏を新任として推薦したいと存じます。

上甲氏は、長年の学校勤務を通じて幅広く地域住民との交流があり、人権思想の普及、高揚に積極的に取り組んでこられました。また、人格識見が高く、広範な知識と豊かな経験から社会の実情全般に通じておられ、人権擁護に深い理解があり適任者であると考え、人権擁護委員法第6条第3項に基づき議会の意見を聞くものでございます。よろしくご審議の上、ご決定いただきますようお願いをいたします。

議長 理事者の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

諮問第3号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認め、そのように決定をいたしました。

討論の通告がありませんので、討論を終結といたします。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦について」は原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、諮問第3号は原案のとおり同意することに決定をいたしました。

(日程4)

議長 次に、日程第4、議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」から議案第74号「辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について」までの4件を一括議題といたします。

理事者の説明を求めます。

河野総務企画部長。

河野総務企画部長 議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」提案理由のご説明を申し上げます。

今回の改正は、新型インフルエンザ等対策特別措置法が平成25年4月13日から施行されたことに伴い、国等から西予市に派遣された職員に対して支給する新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当について必要な事項を設けるため、本条例の一部を改正するものでございます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いをいたします。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 議案第72号「西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」提案理由のご説明を申し上げます。

西予市では、平成22年度に合併後初となる国保税率の改正を実施し、財政運営を行ってまいりました。しかしながら、高齢化率の上昇に伴う医療費の増加に加え、景気の低迷による国保税収の減少などによって、当市の国保財政は単年度収支が赤字となっており、基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れにより対処する極めて厳しい財政運営を強いられております。

こうした状況を鑑み、国保会計の健全な運営を図るため、さきにかねました西予市国民健康保

険運営協議会の答申を踏まえ、今回国保税率の改正を行うものであります。

その主な内容につきましては、平成24年度の課税データにより試算をいたしまして、保険税1人当たり平均で年額約6,900円を引き上げ、7万3,000円程度とするものであります。引き上げ率は約10.4%となります。

今回の改正税率を平成25年度からの賦課徴収に反映させることによりまして、今年度想定しております財源不足は解消されるものと見込んでおりますのでございますが、当市の国保会計は平成22年度に財政調整基金をほぼ全額取り崩し、極めて脆弱な財政状況となっております。したがって、国民健康保険の構造的な問題などを踏まえ、加入者の皆様が安心して医療を受けることができるよう、一般会計からの財政支援についても引き続き検討していく考えでございます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 議案第73号「西予市過疎地域自立促進計画の変更について」提案理由のご説明を申し上げます。

本市の過疎地域自立促進計画は、平成22年4月1日に施行されました過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律に基づき、引き続き本市が過疎地域に指定されたことに伴い、同年12月に新たな計画を策定しております。

今回の計画変更は、平成25年度以降において過疎対策事業債を活用して実施する事業の事業費の変更及び新規事業を追加するためのものであり、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により議会の議決をお願いするものであります。

続きまして、議案第74号「辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について」提案理由のご説明を申し上げます。

城川町川津南地区において、市道の改良、消防詰所、消防小型ポンプの施設整備、遊子谷地区において市道の改良、男河内、野村町惣川小屋地区において耐震性貯水槽の整備を実施することに伴い、このたび川津南、遊子谷、男河内、惣川・小屋の4つの辺地総合整備計画を策定することいたしました。

これに伴いまして、国に新たな辺地総合整備計

画を提出するため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決をお願いするものであります。

以上、2議案よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議長 理事者の説明は終わりました。

(日程5)

議長 次に、日程第5、議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

三好市長。

三好市長 議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」について提案理由のご説明を申し上げますとともに、国の平成25年度予算の概要と地方財政について、また国土強靱化について少し触れたいと存じます。

国の平成25年度予算は、昨年末の政権交代の影響により、17年ぶりに5月へずれ込み成立いたしました。平成25年度予算は、日本経済再生に向け、緊急経済対策に基づく平成24年度補正予算と一体となった15カ月予算となっており、補正予算同様に復興、災害対策、成長による富の創出、暮らしの安全、地域活性化を重視したものとなっております。また、デフレ脱却に向けた景気浮揚効果を高めるため、インフラ等の老朽化対策など、国民の命と暮らしを守る公共事業予算や国民の安心のための防衛予算を重視させる一方で、生活保護や地方公務員給与等の適正化や見直しが行われ、予算の効率化が図られております。また、4年ぶりに税収が新規国債発行額を上回るなど、財政健全化目標に向けた第一歩となる予算となっております。一方、地方財政におきましては地方が安定的な財政運営を行えるよう、一般財源総額を平成24年度と同水準確保されておりますが、平成25年7月から国家公務員と同様の給与削減を実施することを前提とした地方公務員給与が削減されております。また、東日本大震災を契機として、防災・減災事業への積極的な取り組みと長引く景気の低迷から、地域経済の活性化を図ることが喫緊の課題となっております。

こうした課題に迅速かつ的確に対応するため、給与削減額に見合った事業費としまして、防災・減災事業及び地域の元気づくり事業が計上されて

おり、給与削減におけるマイナスの影響が生じないよう配慮されているところでもあります。しかしながら、地方公務員の給与につきましては、これまで地方が自主的に行ってまいりました給与削減や定員削減などの行財政改革の取り組みを考慮すべきであって、国から強制されるべきものではなく、それぞれの地域の事情を踏まえて、議会で十分議論された上で決定すべきものと考えています。現在、県下11市の中で国家公務員と地方公務員の基本給与額を比較するラスパイレズ指数が100未満となっていますのは、東温市と西予市のみとなっております。したがって、西予市の職員給与につきましては、自主的に国と同等以上の措置をとっていると認められているため、削減の必要性はないと考えていますが、手当につきましては県内市町のこれからの動向を見ながら検討していく考えであります。

また、先月20日、第180回通常国会において防災事業やインフラ整備を推進するための国土強靱化基本法案を自民、公明両党が衆議院に共同提出されました。この法案は、インフラの老朽化により、災害等への対応力が非常に脆弱化し、そのリスクが非常に高まっている日本の現状を踏まえ、事前防災、減災の考えに基づいた防災事業のインフラ整備を推進していく強靱な国にするものであります。西予市といたしましても、同法案の行方を注視するとともに、私のマニフェスト2012に即しまして、ソフト、ハード両面から防災、減災に強い強靱なまちづくりを推進していく所存であります。

今回の国の予算成立により、アベノミクスの大膽な金融緩和による第1の矢に続き、財政出動による第2の矢が放たれたこととなり、今後は第3の矢であります成長戦略に期待するところであります。

さて、今回の補正予算案でございますけれども、4月1日付の人事異動による人件費の組み替え及び補助金の内示による増額並びに早急に対応すべき課題を中心に計上し、既決いただいております歳入歳出予算にそれぞれ1億5,602万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を270億9,602万5,000円と定めるものであります。

その主な内容でございますが、災害時における命令系統や情報収集を行う防災拠点施設として、

野村、城川支所、または大多数の避難所施設として、明浜西、野村、三瓶体育館の耐震化に向けた庁舎・体育施設耐震化事業を計上しております。

また、医療費がふえ続ける現状から、国民健康保険財政の安定化のために実施しています国保税率の改正に伴い、一般会計から国民健康会計特別会計への繰出金を調整しております。

農業分野では、高齢化や後継者不足等による農村集落の基盤機能が失われつつあるため、集落営農の組織生産基盤強化のため、集落営農育成強化対策等の事業費を計上しております。

土木分野では、明浜地区の統合小学校の通学路となります市道2路線の拡幅整備を行うため、測量設計経費を計上しております。

消防防災分野では、国の追加内示により、耐震性貯水槽整備事業費を増額、また緊急地震速報等の緊急情報を防災行政無線等を自動起動して瞬時に周囲に認知させるためのJアラート自動起動機整備及びエリアメールの整備事業費を計上しております。

教育分野では、明浜地区統合小学校建設地にあります俵津小学校プールの解体工事費、特別支援学校から転校生を受け入れるため、宇和中学校のバリアフリー化工事費、安心・安全でおいしい給食の提供を安定的に行うため、食育の観点から児童・生徒、保護者が求めるサービスを提供するため、給食センターを新築するための事業費を計上しております。

以上、歳出予算の概要でございましたけれども、続きまして、主な歳入についてご説明いたします。

まず、防災行政無線デジタル整備事業が国の国庫補助対策になったことから、財源の2分の1を市債から国庫補助金に振り替えることにより、国庫支出金を増額し、市債を減額するものであります。この上で、歳出に不足する財源措置としまして、財政調整基金繰入金を増額しております。

このほか、継続費の補正では、防災行政無線デジタル整備事業費で設計変更等による事業費の増額により、継続費総額及び年割り額の増額を行うものであります。

また、地方債の補正では事業の組み替え等により、限度額の変更を行っております。

以上、ご説明いたしましたけれども、詳細な点につきましては担当課長から補足説明をさせますの

で、よろしくご審議を賜り、ご決定をいただきますようお願い申し上げます。

議長 道山財政課長。

道山財政課長 それでは、予算書に沿って補足説明をさせていただきます。

まず、歳出につきまして説明をさせていただきます。

予算書の14ページをお開き願います。

総務費、1項5目財産管理費、庁舎耐震化事業1,652万3,000円ですが、大地震等の災害時における命令系統や情報収集を行う防災拠点施設となります野村支所、城川支所の耐震化を行うための耐震診断、耐震補強設計経費を計上しております。

19ページをお開き願います。

民生費、1項1目社会福祉総務費、繰出金6,712万4,000円の減額ですが、医療費がふえ続ける現状から、今後の国民健康保険財政の安定運営のために実施します国民健康保険税の税率改正に伴いまして、一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金を減額するものであります。

24ページをお開き願います。

衛生費、1項7目葬祭費、城川帰楽苑管理運営事業1,302万1,000円ですが、城川帰楽苑は火葬場及び斎場の機能をあわせ持った施設ですが、斎場に十分な広さがなく利用に支障を来しているため、斎場部分の増築に係る経費を計上するものであります。

28ページをお開き願います。

農林水産業費、1項3目農業振興費、集落営農育成強化対策事業325万2,000円ですが、地域農業の維持、発展を支える集落営農組織の確保、育成を図るため、集落営農組織の規模拡大や経営の多角化に必要な機械の導入等に対する補助金を計上するものであります。財源には、集落営農育成強化対策事業費県補助金を充当しております。

同じく農業振興費、新規作物等産地育成事業338万2,000円ですが、中山間地域における有望作物である薬用植物の産地化を推進するため、生産拡大等に必要な機械等の整備に対する補助金を計上するものであります。財源は、薬用植物産地化支援事業費県補助金を充当しております。

29ページをお開き願います。

6目水田農業対策費、水田農業対策事業229万円ですが、安全・安心な地域ブランド米の取り組みを推進するための販売促進や機械整備に対する補助金を計上するものであります。財源には、水田営農活性化対策事業費県補助金を充当しております。

9目農業施設管理費、城川農産物加工センター管理運営事業311万1,000円ですが、平成6年に導入されました同センターのクリ加工設備が20年近く経過し、機械の部品の消耗や破損が激しく、クリの加工に支障が出ているため、これらを修理する経費を計上するものであります。

30ページをお開き願います。

農林水産業費、2項4目造林事業費、市有林管理事業515万7,000円ですが、西予市と独立行政法人森林総合研究所の分収契約林奥畑団地において実施します切り捨て間伐に係る経費を計上するものであります。事業は、地権者であります西予市が実施し、事業費は森林総合研究所が全額負担するものであります。

31ページをお開き願います。

3項4目漁港建設費、工事請負費1,000万円ですが、明浜町田の浜漁港西防波堤の修正設計によりまして、消波工の延長が必要となったため、事業費を増額計上するものであります。財源には、合併特例債を充当しております。

32ページをお開き願います。

商工費、1項4目観光費、ジオパーク推進事業340万円ですが、県補助金の交付内示を受け、西予ジオパーク構想の地図データベースの作成、案内看板の作成等の経費を計上するものであります。財源は、新ふるさとづくり総合支援事業費県補助金及び過疎対策事業債を充当しております。

34ページをお開き願います。

土木費、2項3目道路新設改良費、委託料1,627万6,000円ですが、明浜地区小学校統合校舎の建設地であります依津小学校に接する狭隘な市道、宮崎川西線、脇宮崎線の拡幅を行い、安全・安心な交通を確保するための測量設計等に係る経費を計上するものであります。

35ページをお開き願います。

消防費、1項3目消防施設費、消防団施設整備

事業1,690万7,000円ではありますが、国庫補助金の追加内示を受け、耐震性貯水槽3基の設置に係る経費を計上するものであります。なお、場所は宇和町坂戸、野村町惣川、城川町下相となっております。財源には、消防施設費国庫補助金、過疎対策事業債及び辺地対策事業債を充当しております。

4目災害対策費、防災行政無線デジタル整備事業1,607万円ではありますが、野村地域の防災行政無線デジタル化にあわせて、緊急地震速報等の緊急情報を防災行政無線等を自動起動して瞬時に市民に知らせるための全国瞬時警報システム、Jアラート自動起動装置の整備及び全市域対象のエリアメール配信装置導入等に係る経費を計上するものであります。財源には、防災情報通信整備事業交付金を充当しております。

38ページをお開き願います。

教育費、2項3目学校建設費、工事請負費840万円ではありますが、明浜地区小学校統合校舎の建設に当たり、撤去が必要となりました依津小学校プールの解体工事費を計上するものであります。財源は、緊急防災・減災事業債を充当しております。

39ページをお開き願います。

3項3目学校建設費、中学校施設整備事業596万7,000円ではありますが、特別支援学校からの転校生を受け入れるため、宇和中学校のバリアフリー化工事に係ります経費を計上するものであります。

44ページをお開き願います。

教育費、7項2目体育施設費、体育施設耐震化事業2,632万8,000円ではありますが、学校施設の耐震化に続いて、各地域の大多数の避難所となります体育館の耐震化を図るための耐震診断及び耐震補強設計に係る経費を計上するものであります。

45ページをお開き願います。

6目給食センター建設費、その他委託料296万9,000円ではありますが、昭和47年建設で老朽化の激しい宇和学校給食センター及び作業効率の課題により更新の時期を迎えています野村地域の自校式単独調理場について、宇和、野村にそれぞれ給食センターを新築し、安心・安全でおいしい給食の提供を安定的に行うため、建設候補地に係ります不動産鑑定及び物件調査経費を計上す

るものであります。

続きまして、歳入について説明をさせていただきます。

予算書の9ページにお戻りください。

国庫支出金、2項6目消防費国庫補助金、消防施設費国庫補助金785万4,000円ではありますが、耐震性貯水槽設置事業に係る追加内示分であります。補助率は2分の1となっております。

防災安全交付金1億700万円ではありますが、防災行政無線デジタル整備事業が国庫補助の採択を受けたため、予算計上するものであります。補助率は2分の1であります。

防災情報通信整備事業交付金1,130万円ではありますが、全国瞬時警報システム自動起動装置整備事業等に係るものであります。補助率は10分の10で、限度額が2,300万円となっております。

10ページをお開き願います。

県支出金、2項1目総務費県補助金、新ふるさとづくり総合支援事業費県補助金351万6,000円ではありますが、このうちの300万円がジオパーク推進事業に対する補助金であります。補助率は2分の1内で、限度額は300万円となっております。

財産収入、1項1目財産貸付収入、市有建物貸付料112万5,000円ではありますが、城川、杉之瀬出張診療所の別棟及び職員宿舍の貸し付けに係ります収入であります。

11ページをお開き願います。

諸収入、6項5目雑入、総務費雑入、災害保険給付金483万6,000円ではありますが、このうちの478万3,000円が平成24年7月14日発生しました土砂災害により、明浜町大早津付近の光ケーブル幹線が切断し、この復旧経費に対します保険給付金であります。

被災者派遣協定負担金533万8,000円ではありますが、宮城県山元町からの要請による平成25年3月14日締結の被災地派遣協定に基づく平成25年4月1日から平成26年3月31日までの派遣職員1名に係る給与費等に係る負担金であります。

農林水産業費雑入、その他雑入515万7,000円ではありますが、独立行政法人森林総合研究所と分収契約を結んでいます市有林奥畑団地の切り捨て間伐に係る費用負担金であります。

12ページをお開き願います。

市債、1項6目消防債9,800万円の減額がありますが、防災行政無線デジタル整備事業で事業費の全額を緊急防災・減災事業債を財源としておりましたが、国庫補助採択を受けたことに伴い2分の1の1億700万円を国庫補助金に組み替え、残ります1億700万円を過疎対策事業債へ組み替えるものであります。また、耐震性貯水槽設置事業に対する追加内示があったことから、過疎対策事業債を600万円、辺地対策事業債を300万円増額するものであります。

7目教育債820万円ではありますが、依津小学校プール解体工事に係る緊急防災・減災事業債であります。そのほか、平成25年度から全国防災事業債が補助対象事業のみ充当されることになったため、三瓶小学校統合校舎の新築事業及び明浜地区小学校統合校舎建設事業のうち、単独事業分に係る市債額を緊急防災・減災事業債に組み替えるものであります。

続きまして、継続費の補正では、防災行政無線デジタル整備事業でJアラート自動起動機整備、屋外拡声子局へのアンサーバック機能の追加及び再送信子局の追加などにより、事業総額を9,522万7,000円増額して9億4,380万円に増額するとともに、年割り額を平成25年度2億2,533万9,000円、平成26年度7億1,774万1,000円に増額するものであります。

また、地方債の補正では東日本大震災分の対象事業の取り扱い見直しによる起債事業の組み替え及び対象事業費の増額により、各起債の限度額を増額、または減額しております。

以上、説明とさせていただきます。

議長 理事者の説明は終わりました。

(日程6)

議長 次に、日程第6、議案第76号「平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)」から議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)」までの9件を一括議題といたします。

理事者の説明を求めます。

三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 議案第76号「平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正は、人事異動による職員給与費の調整によるものでございます。これによりまして、既決いただいております歳入歳出予算にそれぞれ54万8,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を2,480万1,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第77号「平成25年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」について提案理由のご説明を申し上げます。

まず、事業勘定予算からご説明を申し上げます。

今回の補正は、税率改正に伴う健康保険税の増額及び人事異動に伴う人件費の調整並びに特定健康診査等事業におけるシステム改修を行うものであります。これによりまして、既決いただいております歳入歳出予算にそれぞれ1,287万6,000円を増額し、事業勘定予算の歳入歳出予算総額を58億1,080万8,000円と定めるものであります。

次に、診療施設勘定予算の補正の主な内容につきましては、人事異動に伴う人件費の調整によるものであります。これによりまして、既決いただいております狩江診療所勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ28万9,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6,599万1,000円とし、高山診療所勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ28万4,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,534万3,000円とし、土居診療所勘定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ213万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億809万7,000円とし、二及診療所勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ47万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7,726万1,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第78号「平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の調整及び職員の産休に伴う代替職員の人件費を増額するものであります。これによりまして、既決いただいております歳入歳出予算からそれぞれ291万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億278万5,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第79号「平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正は、人事異動による人件費の調整が主なものであります。

これによりまして、既決いただいております歳入歳出予算にそれぞれ321万6,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ52億2,787万4,000円と定めるものであります。

以上、4議案よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 議案第80号「平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整によるもので、歳入歳出予算からそれぞれ53万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億850万2,000円と定めるものであります。

歳出では、施設管理費で給料等の職員給与費53万9,000円を減額し、歳入につきましては、一般会計繰入金53万9,000円を減額いたしております。

続きまして、議案第81号「平成25年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整によるもので、歳入歳出予算からそれぞれ287万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億5,400万円と定めるものであります。

歳出では、事業費の施設整備費で給料等の職員給与費287万円を減額し、歳入につきましては、一般会計繰入金287万円を減額いたしております。

以上、2議案よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議長 平野公営企業部長。

平野公営企業部長 議案第82号「平成25年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正は、人事異動等に伴う人件費の調整を行うもので、歳入歳出からそれぞれ74万7,

000円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億4,229万8,000円と定めるものであります。

歳出では、総務管理費において給料等の人件費74万7,000円を減額いたしております。歳入につきましては、一般会計繰入金74万7,000円を減額いたしました。

続きまして、議案第83号「平成25年度西予市上水道事業会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

第2条の業務の予定量では、上松葉浄水場更新事業につきまして4,733万円の事業費増加に伴い、主要な建設改良事業の総予定量を4億2,363万円といたしております。

第3条の収益的収入及び支出では、支出につきまして、人事異動に伴う手当及び法定福利費を157万8,000円増額し、総額を5億8,345万2,000円といたしております。

第4条の資本的収入及び支出では、上松葉浄水場更新事業の事業費増加に伴いまして、収入につきましては財源とする企業債4,310万円を増額し、総額を3億8,435万6,000円といたしております。支出につきましては、工事請負費4,733万円を増額し、総額を7億4,532万3,000円といたしております。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補填する財源につきましては、第4条本文括弧書きのとおりに改めております。

第5条の企業債の補正では、限度額を4,310万円増額し、3億5,400万円といたしております。

第6条の議会の議決を経なければ流用することのできない経費では、職員給与費について157万8,000円を増額し、1億2,222万9,000円といたしております。

続きまして、議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算（第1号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正の主なものは、7月より宇和病院へ新たに赴任する泌尿器科医師に係る人件費と診療再開に伴って必要となる医療機器等の購入に係る費用の増額、また野村病院の常勤医師の雇用形態の変更に伴う人件費の組み替えなどを行うものでございます。

第2条の業務の予定量では、宇和病院の泌尿器

科の診療再開に伴い、入院患者数及び外来患者数の増加を見込むものでございます。また、主な建設改良事業といたしまして医療機器備品購入費を2,116万1,000円を増額するものでございます。

第3条の収益的収入及び支出では、収入につきましては患者数の増加に伴い、医業収益3,639万1,000円を増額し、収益的収入の総額を31億7,125万9,000円といたしております。支出につきましては、人件費等の増額により、医業費用を2,602万5,000円を増額し、収益的支出の総額を31億4,402万9,000円といたしております。

次に、第4条の資本的収入及び支出では、収入につきましては機械購入に充てるための企業債を1,600万円増額し、資本的収入の総額を40億7,200万6,000円といたしております。また、支出につきましては宇和病院の医療機器類の購入と野村病院の訪問診療に使用する公用車購入のための固定資産購入費を2,116万1,000円を増額し、資本的支出の総額を45億2,616万3,000円といたしております。

第5条では、企業債の限度額を表のとおりに補正するものでございます。

第6条では、議会の議決を経なければ流用することのできない経費のうち、職員給与費を2,202万3,000円増額し、総額を19億9,690万4,000円といたしております。

以上、3議案よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議長 理事者の説明は終わりました。

(日程7)

議長 次に、日程第7、報告第1号「平成24年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について」から報告第9号「平成24年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について」までの9件を一括議題といたします。

理事者の説明を求めます。

道山財政課長。

道山財政課長 報告第1号「平成24年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について」、報告第2号「平成24年度西予市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について」、報告第3号「平成24年度西予市公共下

水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について」、報告第4号「平成24年度西予市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について」、報告第5号「平成24年度西予市上水道事業会計予算繰越計算書の報告について」、報告第6号「平成24年度西予市病院事業会計予算繰越計算書の報告について」、報告第7号「平成24年度西予市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について」、報告第8号「平成24年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算繰越計算書の報告について」一括して提案理由のご説明を申し上げます。

平成24年度西予市一般会計、公共下水道事業特別会計、簡易水道事業特別会計、上水道事業会計、病院事業会計及び野村介護老人保健施設事業会計における各事業のうち、平成24年度から平成25年度への継続費及び繰越明許費につきまして、地方自治法施行令第145条第1項及び第146条第2項並びに地方公営企業法第26条第3項の規定により繰越計算書を添えてご報告申し上げます。

続きまして、報告第9号「平成24年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について」提案理由のご説明を申し上げます。

平成24年度西予市一般会計事故繰越しにつきまして、地方自治法施行令第150条第3項の規定により繰越計算書を添えてご報告申し上げますのであります。

以上、報告9件よろしくようお願い申し上げます。

議長 理事者の説明は終わりました。

これより9件に対する一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

報告第1号「平成24年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について」から報告第9号「平成24年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について」までの9件についてはこれを承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認め、そのように決定をいたしました。

(日程8)

議長 次に、日程第8、報告第10号「専決処

分事項の報告について」を議題といたします。

理事者の報告を求めます。

河野総務企画部長。

河野総務企画部長 報告第10号「専決処分事項の報告について」提案理由のご説明を申し上げます。

この専決処分の報告につきましては、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について別紙のとおり5件の専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定によりご報告申し上げます。

以上、よろしくお願いを申し上げます。

議長 理事者の報告は終わりました。

以上をもって本日の日程は全て終了いたしました。

6月18日は午前9時より一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午前11時07分

平成25年第2回西予市議会定例会会議録(第2号)

1.招集年月日	平成25年6月18日	消防本部消防長	菊池直
1.招集の場所	西予市議会議場	総務課長	宗正弘
1.開議	平成25年6月18日	財政課長	道山升文
	午前9時00分	企画調整課長	浅野信也
1.散会	平成25年6月18日	1.本会議に職務のため出席した者の職氏名	
	午前11時36分	事務局長	井関通夫
1.出席議員		議事係	佐藤陽一郎
1番	源正樹	1.議事日程	別紙のとおり
2番	井関陽一	1.会議に付した事件	別紙のとおり
3番	菊池純一	1.会議の経過	別紙のとおり
4番	田中徳博		
5番	中村敬治		
6番	二宮一朗		
7番	兵頭学		
8番	小野正昭		
9番	松山清		
10番	宇都宮明宏		
12番	元親孝志		
13番	沖野健三		
14番	森川一義		
15番	藤井朝廣		
16番	浅野忠昭		
17番	岡山清秋		
18番	酒井宇之吉		
19番	兵頭勇		
20番	山本昭義		
21番	梅川光俊		
1.欠席議員			
11番	松島義幸		

1.地方自治法第121条により

説明のため出席した者の職氏名

市	長	三好幹二				
副市	長	九鬼則夫				
教	育	長 宇都宮又重				
公	営	企	業	部	長	平野松市
会	計	管	理	者	井上謙二	
総	務	企	画	部	長	河野敏雅
産	業	建	設	部	長	福原純一
生	活	福	祉	部	長	三好幸二
教	育	部	長	内藤利明		
明	浜	支	所	長	宇都宮松夫	
野	村	支	所	長	井上尚喜	
城	川	支	所	長	徳居隆利	
三	瓶	支	所	長	西園寺良徳	

議 事 日 程

1 一般質問

本日の会議に付した事件

1 一般質問

開議 午前9時00分

議長 おはようございます。

本日はこのように大勢の方が傍聴にお越しいただき、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員は20名であります。これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(日程1)

議長 日程第1、一般質問を行います。

質問者は、通告内容及び申し合わせに従い発言してください。

それでは、通告順に発言を許可いたします。

まず、8番小野正昭君。

8番小野正昭君 それでは、議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

議長のお話にもありましたように、傍聴席には多くの方が傍聴をしていただき、後段の私の質問に多分興味を示されているのではないかなと思うときに、この親からもらった五尺に足りない小さい体がずしっと重みを感じ、武者震いがする今の心境であります。

1年間のご無沙汰でございました。副議長在任中は議会の申し合わせ事項によりまして、一般質問は遠慮せよというふうなことでございました。その折は、ある理事者からやりたくて体がうずうずしてるんじゃないかなというふうなことと、また5月27日に副議長を辞職した折には、これで十分遠慮なくやれますなという温かい愛情あふれる厳しいお言葉をいただきましたので、早速通告に従い、大きく分けて2点の質問をさせていただきます。

まず1点目でございますけれども、お伊ネさん事業について、この事業を今後どのようにお考えかという点について質問をさせていただきます。

市長は昨年、お伊ネ元年を提唱され、さまざまな事業を実施されました。中でも日本初の女医でありますお伊ネさんにちなんで、全国の女医並びに女医を目指す学生から作文を募集し、その顕彰をされましたし、また去る3月16日にはドイツ連邦共和国のアレクサンダー・オルブリッヒご夫妻をお招きをして歓迎レセプションを開催されました。その折に二宮敬作、楠本伊ネに関し、当市のかかわり、またそれに伴うお願いを熱心にこ

夫妻にされておりますのは私も記憶をいたしております。

また、民間におきましても、昨年10月28日には日独蘭の晩さん交流会を行いました。今年3月28日から4月3日の7日間のお伊ネさんゆかりの道をお伊ネさんウオークと題し、九州横断200キロを小・中学生、一般合わせて約50人が完歩をし、また我々市議会でも昨年11月15日から22日にかけて、オランダ、ドイツの両国を訪問いたし、シーボルト先生ゆかりの地を視察研修をし、その成果は先般の12月3日の定例議会並びに12月19日の視察研修報告会でのとおりであります。

シーボルト先生生誕のヴェルツブルクの副市長はこのようにおっしゃられました。以前は交流をされていたけれども、その交流は途絶えてきたと、ぜひ再開をしてほしい。また、アレクサンダー総領事もそのことを話されておりましたけれども、西予市との交流をぜひ図りたいと、このようにおっしゃられておりました。

私は、今日本人が、また私たち個人が忘れかけているのは、また大切にしなければならないのはきずなではないかなと、このように思っております。日独蘭晩さん会の表のそこにはきずなという大きな字がありました。その字からしてもそのとおりだと私は思っております。

そこで、第1の質問をいたします。

市長は今年度、お伊ネさん事業として518万9,000円を計上をしておりますけれども、その具体的な内容についてまずお伺いをいたします。

議長 三好市長。

三好市長 皆さんどうもおはようございます。

ことは早い梅雨入りでございましたけれども、このところ空梅雨が続いておりまして、少雨が続くのではないかと心配をしておるところでございます。

本日とあしたにかけて5名の市議の皆さんから一般質問を受けることとなります。市民の重大な関心事や政策提言があるかと、このように思っております。行政としてもお互い議論の中で新しい展開が開かれることを望んでおります。

また、本日は早朝より多くの方が傍聴に来ていただきました。まことにありがたく、心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます

す。

それでは、通告に従い、これから各議員からの一般質問をお受けさせていただきますが、質問の中、事務的な内容、さらに細部に係る点につきましては担当部長からお答えいたしますので、あらかじめご了承をいただきますようお願いいたします。

まず、小野議員からの質問のおイネさん事業の質問につきましては、総務企画部長に答弁させていただきますので、よろしく願いいたします。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまのおイネ事業についての、今年度予算計上している具体的な内容というご質問でございますけれども、西予市ではイネにちなんだまちづくりで西予市民が郷土に誇りと愛着を持つこと、またイネの心を受け継いで夢へ向かう町として西予市を全国発信することを目的に、文化、教育、観光部門が一体となって事業を展開しているところでございます。

平成25年度は昨年度に引き続き、西予市おイネ賞事業といたしまして、イネを顕彰し、女性医師や女子学生を奨励することを目的とした顕彰作文に係る費用といたしまして164万7,000円、その表彰式とあわせて予定しておりますイネを語るシンポジウムに係る費用といたしまして54万7,000円、また平成24年度の応募作品を文集として製本する予定にいたしておりますが、これは1,000部予定をいたしておりますけれども、この作成費といたしまして299万5,000円を計上し、総額518万9,000円を計上いたしております。

以上、答弁といたします。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 1番目の具体的な予算の計上は、今総務企画部長の答弁でよく理解をいたしましたけれども、これはまた後段にも関係すると思うんですけれども、来年は市制10周年になると思います。そのときには私らが一度北海道の函館に研修に行ったときに、その観光課長さんが、行政がするのではなく民間がし、行政がそれをお手伝いする時期になってるんじゃないかなということをおっしゃられました。このおイネさん事業もさることながら、10周年を迎えるに当たって、民の力をぜひ結集をしていただいて、その足りない部分、金銭的な部分を行政がアドバイス

をしたり、金銭的な支援をしたりすることが、これからが官民一体の10周年に向けて、それから11年目に向けての西予市のあり方ではないかなと、このように思いますので、ぜひ検討をお願いをしたらと思います。

次の質問ですけれども、関係市の連携と今後の協力体制についてお伺いをいたします。

先ほど申し上げましたおイネさんウオークでは、細かくこの問題につきましては宇和町の月間新聞紙であります中で、事細かに掲載をされております。これを読んでいただければどういう内容であったかはもう一目瞭然でありますけれども、これは市長が、そして数人の教育長が事前に交渉に行ってお願いをし、その結果がこのウオークの各市町村の熱意のあるもてなし、真心のこもったもてなしではなかったかなあと、このように思います。

例えば、一例を挙げますと、長崎市役所では田上富久市長、馬場豊子教育長の歓迎を受けたと。それから、熊本県ではみずから熊本県知事蒲島郁夫知事もマスコットのくまモンとともに心温まる歓迎を受けました。余談ですけれども、私も議長が多忙でありますし、議会が後援をしとるという立場上、副議長として議会の代表として議員が完歩は3名いたしましたけれども、させていただきまして、市長のそういう前もってのお願いの成果を十二分に経験をし、そしてまた各町での婦人部から手づくりの弁当と、本当に心温まる接待をいただきました。この接待の心こそ弘法大師のいわゆるお接待の心、これが一番大事ではないかなと思っております。

そこで、今後の関係市町との連携とその協力体制についてお考えがあればお伺いをしたいと思っております。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまのご質問につきましてお答えをさせていただきます。

イネに縁のある地として、イネの生誕地であります長崎市や、イネの医学の師、二宮敬作の生誕地であります八幡浜市が連携協力の関係市町として挙げられます。

まず、長崎市におきましては、シーボルト記念館において「シーボルトと二宮敬作特別展」が昨年秋に開催をされました。その企画展の中では、敬作の西予市での開業の様子やイネとのかかわり

なども紹介されておりました、教育委員会所蔵の敬作肖像画、写真も貸し出しまして、そこで展示されたところでございます。また、長崎市の訪問で、長崎市では歴史の中に眠りについていた楠本イネを理解していただく機会や機運が始め、特に田上長崎市長が興味を示されまして、ともに大河ドラマ放映に向けた運動をしましょうとエールを送っていただく仲にもなったところでございます。

次に、八幡浜市におきましては、敬作がとりもった縁を後世に伝え、市民の交流を図ることを目的に、生誕地であります八幡浜市保内町磯崎から開業の地西予市宇和町卯之町までの二宮敬作ウオーク大会が開催をされております。本市も共催としてゴールとなる先哲記念館の開放や宇和米の提供など、協力したところでございます。

また、東温市の坊っちゃん劇場におきましては、昨年6月からことしの3月まで、そして秋田県仙北市のわらび劇場におきましては、ことしの4月から6月9日までイネの一生を描いたミュージカル「幕末ガール」が上演され、イネが少女時代を過ごした町として西予市宇和町が県内外の観劇者へ紹介されたところでございます。

さらに、ドイツのヴェルツブルク市のシーボルト博物館内に設立をされておりますシーボルト協会でもシーボルトとイネの縁を大切に育まれ、当市との交流につきましてクライン・ラングナー理事長ご夫妻のご尽力による国際交流派遣事業や協会設立25周年及び博物館開館15周年記念式典への参加、またお伊ネ賞事業表彰式、市民との交流晩さん会等に来市していただくなど、情報交換を図りつつ国際交流を深めているところでございます。

議員言われました体制というようなところまではまだ至ってはおりませんが、今後もイネに縁のある自治体等と連携をいたしまして、歴史上の人物を生かしたまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 先ほどの答弁でも大河ドラマというお話が出ましたが、先ほど言いましたように、ドイツの総領事にも市長のほうからそのお願い、協力依頼をしておられました。私はそこで思うのは、西予市だけではないかと思うんで

す。このたびのお伊ネさんウオークを通じて関係市町村、できればこれは西予市ですから、今ほどありました八幡浜市さん、それから大洲市さん、そしてイネがおられました宇和島市さん、こころも連携をとりながら一体となったそういう方向へ、このせつかくできたきずなを絶やしたらいかないと、私は強くそれを感じております。

そこで、そういう方々の、できれば年に1回のお伊ネサミットあたりの計画をぜひしていただきたいと思うんですけども、その方針、お考えがあるかどうかお伺いをいたします。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまのご質問についてお答えをいたします。

ことしのお伊ネ賞事業の一つとして、サミットの今言われた大洲、宇和島、八幡浜、そういうところに入っていた、サミットの規模までは届きませんが、イネを語るシンポジウムを計画をいたしております、表彰式とあわせて。シンポジウムにはイネのゆかりのある方としてイネの父であるシーボルトの子孫とシーボルトの研究者をお招きする予定でありまして、また昨年度から交流を深めておりますドイツ、オランダの総領事へもゲストとしての参加を依頼しているところでございます。

このシンポジウムを通して市民のイネに対する理解を深めるとともに、ドイツ、オランダ両国との関係を強化なものにできれば、今後は、言われましたようにさらに大きな規模での展開も検討できるし、検討していけるのではなからうかと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 バイブルに、なんじ近くより遠きを愛せということがあるんですね。それは、近くのものより遠きを愛せと解せがちですけどもそうじゃないんですよ。石を池に入れたらぼつんと一点がきますよね、私はこれが昨年度の市長がやられたお伊ネ元年だと思うんです。そこから波紋が出ていくと思うんです。その波紋を私は大切にし、きずなを大切にさせていただきたい。そういう計画があるということですので、ぜひその波紋を重視して実りある西予市の大きな一大観光、一大名誉市民にでもして、もう亡くなったんですけど、そういう象徴のある方ですから、ぜひ

顕彰していただきたい、このように思います。

次に移ります。

私は以前、もう5年か6年ほど前に、アメリカ軍の例をとって軍医にするには国が奨学資金を出して何年間か軍医というふうな、いわゆる申し合わせ事項で奨学資金を出しとるということでございますけれども、お伊ネさんのこの顕彰作文だけではなしに、お伊ネさん基金をつくって、そういう方々がもしおいでになれば、西予市からもそういうお伊ネさん奨学資金を使って、ぜひ市立病院も新しくなるわけですから、医者確保の一助にさせていただきたいなど、このように思いますが、そのお考えがあるかどうかお伺いをいたします。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまの基金の考えでございますけれども、伊ネにちなんだまちづくりを今後展開していく上では、昨年度から始めているお伊ネ賞事業を核として関係各課が伊ネに関係する事業を連携して取り組んでいく必要がございます。

お伊ネ賞事業基金につきましては、核となるお伊ネ賞事業をまずは今後10年間継続していくための予算といたしております。奨学資金につきましては、本市では西予市育英会が行っております西予市育英会奨学規程に基づく奨学金制度があり、医学部の学生に対しましては金額面について他の学生より月々の貸付額を多くしている状態です。

なお、医師確保奨学資金貸付制度につきましては、合併前の城川町でその制度を創設して42年か3年ぐらいからやられまして、計18名、男の医学生、それから18名の中には、あと48年から看護師と保健師も含めてでございますので、18名といいましてもその人数が入っておりますけれども、そのような制度をつくってございましたが、残念ながら医師の方が地元に戻られることは一人もなかったというような状況となっております。

そのような前例も含めて、現在のところ新たな制度の創設の予定はしておりませんが、将来医師として本市の公立病院または診療所等に勤務していただく意思のある医学生の方に対し、就学上必要な資金を貸し付けることにより、市内の医師を確保し、地域医療の充実を図ることは重要な課題であると考えております。近隣市町で創設

されております、今愛南町と西条市がその制度が県内ではあるようでございますけれども、その制度の利用者の動向や、聞いてみますと、金額月20万円、そして入学時に50万円やりますと6年になると大体1,500万円近くの貸付金になるみたいでございますので、この償還についても、もし医師が帰らずに償還しなければならない状況になったときには、その金額を無利子とはいえ返還していただくというようなことにもなりますので、未償還の事例も出ているようでございますので、その辺の検証も含めて今後の重要な検討課題とさせていただきたいと存じます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 やはりお医者さんになろうという志の方にそれを奨学資金として貸与するということは、その個人の方にも大変ありがたいし、プラスになることですが、4万2,000市民の方々の安心・安全を守る医師を育てるということであれば、そのお金というものは大変大きな価値があるんじゃないかなと思いますので、部長の答弁にありましたように、できれば無償で貸し付けてあげて、西予市の後世福祉の一環にぜひご尽力いただくような格好でそういう制度を検討していただいたらなど、このように提言をしておきます。

時間がありませんので重伝建のことについて若干触れて、これは答弁要りません。

私は以前、今度ジオパークを目指しておりますけれども、5町の看板がばらばらなんですよね。城川町の看板があったり、明浜町の看板があったり、三瓶町の案内板があったり、それは修正されたと思うんですけども、先般重伝建地区へ行ってみますと、その案内板が少し老朽化してるんじゃないかなと。せっかく重伝建を目指すのであればもう少し市民の、観光者の皆さんが見て爽やかな感じがするようなものにつくりかえてはどうかなど。

それともう一点気になりますのが、重伝建の一つの目安として高野長英さんの隠れ家がありますね。この重伝建の町並み絵図の中の高野長英のことが紹介されておりますし、先般の西予市出身、ゆかりの音楽家たちの会の歴史の本ですが、これも買って読みましたら、永見先生の中にもこの高野長英さんを紹介されております。私はこういう

ことを言うたら大変失礼ですけども、二宮敬作、お伊ネさんより高野長英は全国版やと思うんですね。そこへ来て、ああ何だこれはとがっかり名所にならないように、ひとつこれは文化財保存委員会との関連もありますけれども、あれではちょっとなあというふうな気がしますんで、ぜひご一考をお願いをしたい。

時間がありませんので、次の分は飛ばします。

肝心の産業廃棄物に係る焼却炉について、まず今までの経緯についてお尋ねをします。

県に提出した意見書の対応についてお伺いをいたしますけれども、私は以前にも何回か言いました。まずこれは、この場ではそぐわん発言かもわかりませんがお許しをいただきます。まずは、業者の方がボタンのかけ違いをまずしておる。なぜ郷内だけで終わったのか、なぜ津布理を避けて通ったのか、これが第1点。

第2点目に、意見書を2回市は書かれておりますけれども、市が意見書を書いたときに、なぜ地元の少なくとも私にはこういうふうな意見書を書きましたよと、何分の配慮をしてくださいますよという話が内々でできなかったのか、これは非常に残念でなりません。

3点目は、市が出した意見書に対して配慮をしてくださいと書いとるわけですから、県も業者に配慮をしたかと、してないという答えであれば早急にせよという行政指導をしてほしかったなと。私はこの1点のボタンのかけ違いと担当行政、西予市と県の配慮のなさが今回に至ったのではないかなと強く思います。

そこでお尋ねをいたしますけれども、まずどのような方法でこの意見書を2回書かれてますよね、12月12日と1月29日、後からも出ますけれども、意見書の中に支障なしと書かれています。この支障なしという根拠はどこで思って支障なしか、まずお答えを願います。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、この点について私からお答えさせていただきますが、今小野議員のご質問は経緯と支障なしと、2点についてご質問があったのかなと、このように思っておりますが、まず県に提出した意見書でございますけれども、小野議員も既にご承知のとおり、意見書の提出は2度にわたって愛媛県に行っております。

まず1度目は、愛媛県産業廃棄物適正処理指導

要綱第11条に基づきまして、事業者から処理施設設置等の事前協議が県知事に提出されるわけですが、この中で知事より立地基準の適合に関する意見として聞かれております。また、2回目は、廃棄物処理法第15条第5項に基づきまして、事業者が設置許可申請の提出を行った後、生活環境保全上の見地から意見書を聞かれております。市は県より送付されました関係書類を精査いたしまして、県へ回答をさせていただいております。支障なしだけではなく、周辺地域の配慮を望み、関係法令を遵守することはもとより、宇和町郷内地区及び三瓶津布理地区の環境が適正に保全され、良好に保持されることを同時に求めているところでございます。

また、支障なしとどうしてしたのかということでございますが、県より送付されました関係書類を担当課が精査をした上で、当該施設の利用水の排水もなく、ガスについても環境省の定めた基準以下であったため、県へ支障なしと回答しております。事務手続上、法的な基準や手続に問題や誤りがない以上、回答の趣旨として支障なしとする以外なかったと認識しております。

以上です。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 そのような答弁だろうと思っております。

ちょっと長くなりますけども、去る2月16日付の新聞報道でですね、宇和町に産業廃棄物ができるといふ計画の報道以来、

私ごとですけれども区民の方、町民の方々から臆測と疑念が広がって、まさに人の口に戸は立てられないと昔の方はよう言うたもんですよ。これも、しかしながら公人として、市議会議員として受けとめなければならない責務かなと、このように痛感をしておりますし、いつかは、いつかはわかってもらうものと、それに期待をしながら毎日を家族と一丸となって送ってます。家族ですよ、私だけではないんですよ、家族もそうなんです。

そこで、冒頭に申し上げましたように、副議長ときには質問ができませんでしたので、今回区民並びに町民の方々の強い要望によって、この席でこういうことを発言をさせていただいております。直接市の一般所管事務ではございませんですけども、私は自治法の第1条の2

に、住民の福祉の増進を図るという項目がありますので、所管事項ではないかもわかりませんが、住民の福祉の向上という点からそれを基幹とした安心・安全を図る見地から、全国標準市議会会議規則に沿って一般質問をしておりますので、市長、逃げずにぶれずに、ひとつ答弁をお願いします。

市長がそつのない答弁をされましたけれども、市長は私が記憶しておる、たしか法政大学の法学部卒だと思います。私は、私ごとで恐縮ですが、日本大学の通教学部の当時あほう課卒とよく言われたあほう課卒です。市長の法に対する見識とはもう雲泥の差がありますけれども、行政用語といいますか、法律用語には法律行為と事実行為というのがあって、法律行為は余談ですが、どういうことかと言いますと、警察官が自殺者を見て、これを助けなければこれは罪になると、生命、財産を守る義務があるわけですから、警察官は、これが法律行為です。我々一般人は見とって黙ってたら罪にならんのです、これが事実行為です。しかし、やれやれ言うたら教唆です。それが法律行為と事実行為の端的なことなんです。さらに言えば、法律行為これを罰し、事実行為これを罰せずという規定もあると思います。

そこで、私は法律行為は確かにそうなんです、何回も言うように市の所管事項ではないんです。しかしながら、市長さん、市長は西予市のトップなんです。我々市民は子供なんです。一家の長として、これは法律だからできないよで済むんじゃないし、親として情のある、人の気持ちは言わず語らず、心と心なんです。先ほど言いましたそのきずなを大切に、事実行為をしてもらいたい、事実行為をまずは。

この間の先般の2回目の意見交換会のときに、ある市民の方が福沢諭吉先生の公僕という言葉が言われました。それから、我々が中村知事のえひめ志高塾で、これは山田昭男未来工業オーナーですけれども、この方は公僕を召使だと言われました。我々市議会議員もそうですし、それから公務員の方々も公僕なんです。その原点は市民の一人一人の気持ちにあるんです。憲法にもそれは書いてますよ、公務員は全体の奉仕者でなく一人の奉仕者だと、一人の気持ちも大事にしてもらわなきゃいけません。ましてや市民の、住民の安心・安全を保つためには法律行為は限度がありま

す。しかし、事実行為には限度がありません。そこを市長の明晰な頭脳で、態度で逃げずにぶれずに当たっていただきたいと思いますが、まずどうですか。

議長 三好市長。

三好市長 今、小野議員の質問については、ちょっと本来の趣旨から少し外れたかなって感じがいたしますけれども、法律問題で言いますと、今ほどお話しされた法律は、例えば憲法の問題、刑法の問題、行政法上の問題で非常に混同しております。これは法律的な整理でございますが、それは別にいたしましても、法律、いわゆる私たちは社会に生きるためには社会規範が必要であります。私たちは社会規範の中で法律というものができまして、この法律の中で私たちはどうしても縛られると、そのために法律はできておるわけありますから、私たちは法治国家であります。中国とは違います。中国は法律の上に政治があります。党があります。しかし、日本はそれではないんです。その辺のところをぜひご理解をいただきたいし、私も何も市民の方々に対して背を向けてやっておるわけではございません。意見は意見として十分聞きながらやらないといけないというのが本心でございますから、今回についても、後ほど答えようかとは思っておりましたが、先般の三瓶の私との意見交換会を受けて、そのことで知事宛てに要望書を出していただきました。それは私の気持ちであります。だから、その要望書を出すことによって、この間の日曜日に開かれた住民の意思というものを私は県のほうにお願いをしたということでございます。

以上、答弁といたします。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 私は市長からご指摘をされるように、頭から政党論争とか法律論争をしたいとは思っておりません。私が言いたいのは、人間の素直な気持ち、住民を思う素直な気持ちを事実行為で、できる範囲で法律に触れないようにしていただきたい。それは行政として立場がありますよ、市議会議員としてそれは十分理解できます。しかしながら、今言いましたように、事実行為で市長ができる、要望書を出されたら、これも大変な思いだと思います。十分理解しますし、評価もいたします。そこまで出されたら、次のフォローもぜひしてみてください、出しただけではなし

に。この意見書のときもそのフォローがなかったからこうなったんですよ。出しましたよで終わりなんですよ。そのときに、先ほど言いましたように、そういう配慮がなかったからこうなったんです。ぜひそういう配慮も念頭に入れて部下に指導をしてください。

私は市議会議員として反対の署名もしましたし、それから 請願の賛成者にも載っております。私もこれはどうか、要るか要らんかといえば要りますが、あの地では反対です。場所が悪い、分水嶺としてですね。できたら場所を変更していただきたい、これは今も変わりません、ぶれません、逃げません。先頭に立てばと言われれば、市民の負託にこたえて、区民の負託に、町民の負託にこたえて 先頭に立たせてもらいます。その覚悟は今でも持っています。それが私の一人一人の気持ちを大事にする私の立ち位置かなと、後でまた申し上げますけどもね。

そこで、先般の意見交換会に業者の方が来られておりましたけれども、環境調査の資料が添付をされておられると思うんですね、申請書の中に。その環境調査の資料を市は見たのかどうか。所管事項、決定事項やないから市にも回ってきてないと思うんですけども、やはり意見書を書くぐらいでしたら関係書類ぐらいは添付して、こういうことですから問題ありませんよという、添付書類に環境調査なんかも入ると思うんですよ。それを見られたのかどうか、見た上での判断かどうか、ご答弁願います。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 ただいまの小野議員からの質問なんです、ご承知のように市長のほうからも答弁がありましたように、第1回目の県からの意見書を求められております。そのときでありますけども、これは平成24年11月28日付の文書でありますけども、県のほうから市に対しまして、産業廃棄物処理施設設置等事前協議に係る意見についてというふうなことで、照会をいただいております。その際に、事前協議書というものがおりますけども、その中に施設の生活環境影響の評価結果についての書類が添付されております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 実は、私もあの席上に行きまして、行政と質問者、それから業者との質問を必

要なやつを全部メモ書きにしとるんですよ、大事なところはしております。その中に環境業者が言われた答弁の中で間違った答弁をしておるんですね。これは公文書なんですよ。作成した頭の日付が検査をした日付のとこと、頭の日付が食い違うんですよ。これはちょっと私は問題があると思うんですね。そういう環境調査を私は本当に信用していいかなあと、このように思うんですよ。だから、その辺も住民の安全・安心を守る意見書を書くときには十分精査をして、これで間違いないということを担当部課の諸君はやってもらいたい。これはまた法律論議を言うわけじゃないですけども、公務員の故意もしくは過失による責任は行政庁並びに行政庁の長がとるとなっておりますよ、全て市長がとるんですよ。その辺は十分承知をして、後で済まなんだんかということをお我々議員にも言うてもらいたくないし、市長にも言わせたらいかんのですよ。しっかり腹におさめて今後事務をやっていただきたい、これは強く言うときですよ。

時間が押し迫っておりますので、これは先ほど言いました宇和町の新聞には市長さんのことを物すごく褒められております。一転1カ月おくれのこちらは大変気の毒なことを大分書かれております、これは本当にそのとおりだと思いますよ。私もこういうことを言うたらいけません、総務課長時分から市長とはつき合いです。この方もその方やったんです。その方がこのぐらい書くということは、後で言いますけど何かがあるんじゃないかなと、このように余談なことですが推測をしております。

そこで次の質問をいたします。

区長会が提出した不同意、ここに持ってますけども、それも市長が答弁をされたときに、お答えをしたときに、その質問をした方からひんしゅくを買いましたけれども、区民の皆さん知ってますかというようなことを言われましたね。そのときには区の総会を開いて署名捺印しております。まさにこれは俗に言う公印ですよ、控えを持っていますけども、19地区の区長さんが全部不同意しております。この重い結果を今さら聞くわけはいけません、再度、再度確認します、どうで

すか。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、小野議員の、途中はもう省かせていただいて、最後の質問についてお答えをさせていただきますけれども、三瓶地区全員の区長さんの署名で提出されたわけでございます、その署名は不同意ですね。この問題に区長さんが書かれたことは重いと、このように受けとめております。区長さんには地域における公的な役割に準じた立場があると認識しております。つまり、議員の皆さんとは別の立場で地域住民の代表者であろうと思っております。したがって、区長さんは例えば事業者の話、あるいは県からの説明、そういうものを十分に冷静に聞いた上で、適正かつ客観的に判断をされ、不同意を提出されたかどうか、そのことが重要なポイントになるかと、このように思っております。日ごろから申しておりますが、私は区長会というものは非常に重要な役割を果たす組織であると認識しております。ぜひとも関係者が一堂に会し、話し合う機会を持って、その上で冷静に判断をいただきたいのが私の思いでございます。

なお、不同意につきましては、県及び事業者に伝えておりますが、事業者は法令等に基づきそれぞれの基準及び要件に適合し、適正な施設であると許可権者である県から認められております。また、県においても許可に係る事務手続上問題とすべき点はないと判断をされております。こうした中にありまして、市としましては、先ほどもお話ししましたが、先般の三瓶文化会館での三瓶の水を守る会の主催であります市長との対話集会を受けて、先週、県に対しまして隣接地域である三瓶地区住民の不安解消に向け、さらに努力をいたたくよう要望書を提出してきたところでございます。

以上、答弁とします。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 2番目の今後の取り組みの中で、区長会長及び水を守る会が問題視をしておりますいわゆる安全・安心な水道水の給水についてどのようにお考えかの点についてご質問をいたします。

先ほど話が出ました区長会が中心になりまして、全区に人口で7,541人のうち、いわゆる75%の人が反対の署名をしてる。成人に至って

は6,598人の実に89%の方が反対の署名をしとるんですね。これは本当に重い方々の数だと思わうんですね。これは何回も言いますが、法律行為は法律行為として、事実行為としてしっかりと認識をしていただきたい。

そこで、水の安心・安全についてご質問をいたします。

たしか以前は、私の記憶によりますと自治法の2条に、自治体の事務の中に水道水の安全確保というのがありましたけれども、地方分権一括法によりましてこれがどこへ行ったか私も勉強してみただけよう探しません。しかし、この昭和32年6月15日法律177号で水道法の中の第1条、「この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道を計画的に整備し、及び水道事業を保護育成することによって、清浄にしてきれいなですね 豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。」というのが水道法の第1条。これはその関連法規が下にありますが、それを受けて合併時の平成16年4月1日で、西予市水道事業の設置に関する条例でそのこともうたわれております。西予市が一番大事なのは、西予市といいますが全国国民もそうなんですけども、人間が生きていく上に一番大切なのは空気と水なんです。中でもこの水も本当になければ生きていけないんですね。その水を守る義務が私は西予市にあると、規定でもそうなっております。それについてどのように今、安心・安全を図っているのかお知らせ願います。

議長 平野公営企業部長。

平野公営企業部長 ただいまの小野議員の質問に対してお答えいたします。

市民の皆さんが毎日使用されております水道水は多数の方々に同時に供給するものであります。その飲用によって人の健康を害したり、また飲用に際して支障があってはならないものであります。水道行政の基本となるものは水道法であります。小野議員も言われたように、第1条において清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することがこの法律の目的として明記され、清浄にして、つまり安心・安全な水道水であることが、安定して安価に供給することよりも優先して求められているところでございます。西予市の水道事業にお

きましても、この水道法と関係法令等に基づき、各水源から取水した原水を適切に処理して、安全な水道水として市民の皆様へ供給しているところでございます。

ご存じのとおり、三瓶町内には1上水道事業と3地区の簡易水道事業の施設がございます。皆様に水道水の供給を行っているところではございますが、この水道水の安全性につきましては、関係法令等で定められた水質基準を満たしているかどうかについては、定期的な水質検査により監視、確認を行っているところでございます。今回、三瓶区長会また三瓶の水を守る会の皆様方からご心配、また不安を抱かれておられます今後の水道水の安全性の問題につきましては、水道事業者である西予市においては、いかなる水源から取水するものであっても浄水することにより、その供給する水を常に水質基準に適合させる等、その安全性を確保する責務がありますので、水道水源の水質状況を的確に把握し、適正に対応していく必要があると考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 今、部長の答弁は、今までどおりならそれでええんですよ。6,100人の飲料水の方が、それは不満だと、このたびの産業廃棄物焼却施設に対して市の言うことは信用できんと言うとんですよ。今まででしたらそれでええんですよ。ですから、その安心・安全をしるといふ証明は何を見て証明されるのか。例えば毎日検査をされとりますけども、その数値を、安全な数値を支所の広報板に一月に一回、1カ月分を張るとか、こういうふうにしてもらわんと信用できんと、このようにおっしゃると私は思っております。ですから、これぐらいの責務は、今水道法にもありますように、市としても努力をして、市民の安心・安全のためにこの水は大丈夫ですよという根拠に基づいた数値を掲示板に掲示をしてください、できますかどうか、どうですか、お答えください。

議長 平野公営企業部長。

平野公営企業部長 今回の水道の検査の結果の公表についてでございますが、水道法第24条の2の規定によりまして、水道事業者は水質検査の結果を需要者に提供しなければならないこととなっております。この規定に基づきまして、本庁及び

各支所の掲示板に閲覧に供する告示を行っているところでございます。簡易水道につきましても、各水道組合に検査結果の報告もあわせて行っておりますし、また八幡浜保健所にも報告させていただいております。さらに、今後はリニューアルされた西予市のホームページによるタイムリーな情報提供も考慮しており、現在具体的な作業を進めているところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 まさに24条の2項に規定されていますよね。掲示をされとるということですが、どこに掲示をされとるんですか、場所。

議長 平野公営企業部長。

平野公営企業部長 それぞれ各支所の公告する掲示板がございます、各支所に。そこに掲示しております。

以上です。

議長 8番小野正昭君。

8番小野正昭君 わかりました。私が知らんぐらいですので、市民の方は知らんのですよ。繰り返して逆戻りしますが、公告があった縦覧のことも知らんのですよ、私さえ知らんのですから。そこらあたりの配慮がないんです、もう教科書どおりなんです。そこを一步踏み込んで、受ける立場に立ったら、どうしたら安心・安全を保てるのかなと、行政は第一のサービス機関ですから、それを念頭に持って日々職務に精励をしていただきたい。もう6分になりました。

以前に、私は市長にも愛情とも嫌みとも奮励努力ともとれるような発言をさせていただきました。時間がありませんが、最後にこのことを再度申し上げます。横道それますが議長、こらえてください。

1863年11月19日、南北戦争の最も激戦地と言われておりますゲティスバーグ国立戦没者記念墓地がございます。そこで、15代アメリカ大統領リンカーンはガバメント・オブ・ザ・ピープル、パイ・ザ・ピープル、フォー・ザ・ピープル、これは俗に人民による人民のと言われるけれども、翻訳は私が調べてみましたら、国政は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する、これが意味だそうです。これはもう民主主義の根幹で、演説の根幹になつとると思います。ですから、国

政はをシティー・ガバメント、市政はそういうことなんですよ。

そこで、市長に言われますけれども、俗に言う権不十年ということわざがあります。これは政治家のほとんどの方々が言っておられますね。さきの白石知事もよくこれを言われました。そして、3期で退職をされました。これはどうも韓国のことわざのようです。そのトップにおると自然と自分が一番偉いんだというふうになんて人間の心は弱いものですから、そういうふうになって権不十年、いわゆるその考え方、行動が人の道に外れていくんですよということわざだと私は思っております。

そこで、あえてもう一回言います。市長、これです。昨年も言いました、私はことしも持っています。幹ちゃんへ、中身はもう言いません。地元の方々が一番最初に市長が出るときに、市長を当選さそうという地元の方々の本当の気持ち、熱意です。この地元の方々の熱意があったから現在があるんです。絶対これを忘れてもろたら困る。私もこのことを私の戒めとして、市議会議員の一番の問題として、軸として絶えず持つとんです。私に言った言葉じゃないんですよ、市長、あなたに言われた言葉なんです。これを強く強くお話をし、余り期待に沿えない質問になったかもわかりませんが、精いっぱい質問とさせていただきます。ありがとうございました。

議長 暫時休憩いたします。(休憩 午前9時59分)

議長 再開いたします。(再開 午前10時08分)

次に、2番井関陽一君。

2番井関陽一君 議席番号2番井関陽一でございます。

ただいま浅野議長より許可をいただきましたので、通告に従って質問したいと思います。

まず一点お願いがあるんですが、今、後ろの傍聴席のほうには酪農の仲間が何人が傍聴に来ていただいとるわけなんです、6月はミルクの推進月間となつてきます。父の日にミルクを贈ろう、乳を贈ろうということで、先日牛乳の拡売キャンペーン2013の一環で知事に乳製品詰め合わせセットを贈呈し、中村知事はとべ動物園のレッサーパンダがデザインされた学校給食用の牛乳を飲んで、トップセールスでの拡売をお約束いただいたところでありますが、西予市の皆さんもどうか

今大変酪農は厳しい状態に入っております。牛乳の拡売運動にどうぞご協力のほどよろしくお願いたします。

それでは、質問に入らせていただきます。

昨年6月と12月に一般質問をさせていただきましたが、その中でも前向きな回答をいただきました質問に対しての対応を含めて質問させていただきます。

まず、政権交代がなされ、現在は乱高下いたしておりますが、アベノミクスにより円安が進み、輸入乾牧草や穀物飼料が高騰し、畜産農家はかつてないような経営のダメージを受けております。その上、夏場には電気料金の値上げもささやかれており、見通しが立たない状態になっております。昨年の同時期と比べますと、種類にもよりますが、乾牧草でキロ当たり6円から10円の値上がり、酪農穀物飼料で約5円、肉用牛の飼料で約6円の値上がりがあり、これは4月のときの調べであります、6月にさらに値上がりがあったと聞いております。このような状態では畜産農家の手取りは皆無の状態です。何年か前に西予市から輸入乾牧草に対して助成金をいただいたことがありますが、根本的な解決を図るためには自給飼料の増産が不可欠であり、前にも質問させていただきましたが、コントラ組織の確立やTMRセンターをつくるのが将来の畜産を守ることに繋がると考えます。

そこでお伺いいたします。

このような危機的な状況を打破するためには、西予市としてどのような対策をお考えかお伺いたします。よろしくお願いたします。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、井関議員のご質問についてお答えをさせていただきますが、井関議員は酪農の専門家でありますし、獣医さんでございますから、特にこの問題については深い造詣があるのではなからうかなと、このように思っております。

今のご質問につきましては、穀物飼料価格は昨年の夏の米国の干ばつの影響によりまして、主原料のトウモロコシの国際価格が非常に上昇してることや、もう一つは円安の進行によって高どまりに推移しておりまして、また輸入乾牧草につきましても円安の進展等により高騰を続けており、畜産農家の経営は非常に厳しくなっております。

円安、気候変動などの影響を軽減し、安定した良質飼料の確保を図るためには、今ほどご指摘にもありました食料自給率の向上、いわゆる飼料の自給率の向上を目指すことが重要だと考えております。

先般、酪農経営者協議会繁殖和牛部会、県、JAひがしうわ、西予市が参画いたしまして東宇和コントラクター研究会が設立されました。このコントラクター組合の設立や、ご指摘のありましたTMRセンターなどの将来の方向性、補助事業を活用した飼料収穫機の導入に向けて今研究を進めているところでございます。今後、西予市としましても、飼料収穫機の導入等の際にはできる限りの支援を実施したいと考えております。

以上、答弁といたします。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 市長さん、本当にありがとうございます。力強い声援の言葉であったんじゃないかなと思っております。

今ほど言われましたコントラの研究会が立ち上がったということは私も聞いております。その中で、国からの政策2分の1のリース事業におきましてはなかなか参加するのが難しい状態になったんじゃないかなということを知っております。今後まだどのようになるかわかりませんが、県の段階での似たような事業が立ち上がるんじゃないかなということを知っておりますので、その折には今言われましたように、十分な協力のほどをよろしくお願いいたします。

続きまして、人・農地プランについてお伺いしたいと思います。

昨年も若干質問にまぜさせていただきましたが、青年就農給付金事業を初め、担い手への農地の集積事業が進められておりますが、現在野村町ではこれらのプラン政策を、各地区農振というのがあるんですが、地区の農振単位で行っております。これを行うことにより、かなりの会合の回数がふえております。政府は農地中間管理機構ということで、農地集積バンクを県レベルで考えておられるようですが、農地の集約や耕作放棄地を対策することは西予市にとっても非常に大事な事業ではないかなと考えます。

そこで、この野村町がやっているような、各地区農振単位で行っているプラン作成に対して、これをするためには会合のたんに集まっていた

いておりますので、何らかのこの会合に対して助成措置ができないものかと考えます。そこで、西予市としてこれらに対する助成措置がとれないかどうかお伺いしたいと思います。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、人・農地プランについて回答させていただきます。

平成24年度から作成を進めております人・農地プランでございますけれども、市内の24カ所でプランの作成を予定しております。そのうち9プランが既に作成済みとなっており、残り15プランも今年中に作成が行われる予定でございます。この24地区では旧町単位で、対象とする範囲も学校区、農業振興地域、町全域と実情に応じてさまざまであり、地区ごとの助成は検討しておりません。ただし、議員の皆さんもご案内でございますし、井関議員もご案内だと思いますけれども、平成23年度から実施しております地域づくり交付金、これは市単独でございますが、各地区で人・農地プランの作成のために組織された農地流動化委員会等における活用可能な補助金でありますので、有効に活用することで農業振興、ひいては地域振興につながるものと考えております。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 確かに地域づくり交付金というのは利用の方向性は何に使っても構わないという大変すばらしい基金ではありますが、この基金そのものを農振単位の事業に振り分けるというのはなかなか難しいところがございます。農業者だけがそういうことをやっていったんではいけないという点もあるんじゃないかと思いますが、このプラン作成は今後西予市の農地を守っていくためには非常に大切な事業だと思っております。これはいいかげんなものをつくっていったんでは、今後西予市の農業の発展はないのではないかなと思いますので、ぜひそういうことに関しまして市単独で助成措置というものがありましたら、よりよい会合が持て、そしてまた数を多くしても、ここに出てきてもらっている役員さんの方なんかはもう無償で常に出てきてもらっておりますので、そういうことも考えましても、こういうことに関しましてぜひとも西予市単独で今後助成措置というものを考えてもらったらと思います。

引き続きまして、ちょっと関連性もございますが、農業分野での成長戦略で担い手への農地集

積、6次化産業、輸出の倍増などを柱に今後10年間で所得倍増をするという目標を掲げられています。その中で、地方の意見集約を8月までに行うという報道がなされましたが、西予市は言わずと知れたかんきつ、畜産、林業、漁業、狩猟業と、農林水産業、いわゆる1次産業を柱といたしております。この政府の戦略に対する対応を何か考えられておりましたらお聞かせ願いたいと思います。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、井関議員の農業所得倍増計画の対応ということでありましょうけども、それについてお答えさせていただきますが、国のほうも今ご案内のとおり、農業成長戦略ということで、先ほどこっちとお触れになりましたけれども農地の流動化については農地の中間管理機構をつくって、それを県ごとにやるんだというような話も聞いておりますが、農地の流動化を一括してやることによって農地の集積をやるんだというような話もあるように聞いております。それは認定農業者をとにかく育成することによってやるんだと思いますが、西予市の中でそのようなことができることできないところが非常にありまして、そういうものについてはしっかり私も研究していかないといけないなと思っております。

今の国の考え方の農業農村所得倍増目標10カ年戦略についてでございますけども、これは自民党において4月にまとめられたものでありまして、6月5日に開催された農林水産地域域の活力創造本部の席で農家や農林水産団体、地方自治体、食品流通関係団体などから意見を吸い上げ、具体的な施策や来年度予算概算要求に反映させるため、意見の集約をすると説明されたものでございます。現在のところ具体的な意見の集約方法については国や県からの指示がありませんが、指示があり次第、農業農村所得倍増目標10カ年戦略における西予市としての意見を回答したいと思っております。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 倍増計画についての意見集約に関しまして、指示があれば行いたいという意見でございましたが、もう8月に取りまとめるということになっておりますので、指示があつてからこの西予市の体制を組むということでは遅いので

はないかということをちょっと危惧しております。

もう一度お伺いしたいんですが、西予市として何か今取り組み始めていることでも構いませんが、何かこのことに関してやられていることはないのでしょうか。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、今のご質問についてご回答させていただきますが、遅いのではないかとこのご質問も含めてでございますけども、これはまだ自民党の施策でございまして、国の施策とはまだなっていないという現状でございまして、どういう方向になるかわからないということがあります。内容を精査しますと、今の考えはいわゆる生産条件のよい地域を中心とした施策のように見受けられます。したがって、私どもの条件不利地域に対する施策、支援について私どもは考えないといけない、このように思っておりますのでございます。

具体的に今やっておりますと言いますと、例えばキュウリやトマトの野菜農家に対する施設園芸の生産資材の支援ですね、ミニハウスっていう形ですが支援をさせていただいておりますし、生産地から消費地までの農畜産物の運搬用トラック、これは百姓百品が松山に販売されるに当たって議会のご承認をいただきましたけれども、そのような運搬、どんぶり館の生産現場から野菜の集出荷用の体制づくり等々を現実的にやっておりますのでございまして、今後はそれらを含めて、例えば今までもやっておりましたけども、かんきつ農家でモノラックのご支援とか、作業道の整備あるいは新品種の導入に当たっての改植費用や、今西予市も進めております薬用作物などの生産機材、施設整備に対する支援、先ほどのお話であります酪農や畜産農家の飼料収穫機への導入支援など、こういうことが考えられるのではなかろうかなと、具体的には案として持っておりますのでございます。

以上、答弁とします。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 ありがとうございます。

今、国の政策ではないということですので、まだその段階に至っていないということでしたが、先に取りまとめることによって、それがより早く地域におろしていただくことができるというような体

制も考えられるんじゃないかなと思いますので、西予市独自の政策というか、所得倍増計画のようなものをつくっていただきまして、何とかここ西予市の中で農業が残っていけるような方策を考えていっていただきたらと思います。

このことをまた重ねてお願いいたしまして、次の質問とさせていただきます。

続きまして、危機管理についてなんですけども、昨年消防団員が活躍するためには協力事業者に対して認定制度のようなものがないかということをお伺いさせていただきました。

消防団員は実際70%近くがサラリーマンというか、雇われで勤めにいられている方がほとんどでございます。その方たちが、消防団活動というたらもう時を選ばず、いつでも出勤しなければならないということで、協力事業者の方には非常に迷惑をかけているんじゃないかなと思いますが、この協力事業者に対して何らかの形で認定制度のようなものがないかという質問に対しまして、土壌に合った取り組みを考えたいという消防長からの答弁をいただいております。あれから丸1年たったわけなんですけど、その後どのようになっているのかをお伺いしたいと思います。

議長 菊池消防本部消防長。

菊池消防本部消防長 ただいまの質問についてお答えいたします。

火災や災害に消防団員が活動しやすく、かつ入団しやすい環境を整備するための対策としては、事業所の消防団活動への理解と協力が不可欠であると認識しております。今回消防団員がよりよい活動を行えるよう検討を重ねた結果、協力事業所制度の創設をし、企業の協力体制を構築することが必要であると考え、西予市消防団協力事業所表示制度実施要綱を制定し、平成25年4月1日に施行いたしました。

西予市の制度の特色といたしましては、当該事業所に勤める従業員のうち、消防団員である人数の基準を2人以上に緩和し、小規模事業所でも認定可能としております。また、消防団活動に積極的に協力し、その功績が特に顕著な事業所については表彰を行う内容を設けております。今後は該当する事業所に対してホームページや広報紙などを利用して積極的にPRを行い、市内事業所が防災力の組織的な担い手であることを理解していただくよう努力していく所存でございますので、ご

理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。答弁とさせていただきます。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 ありがとうございます。

私の勉強不足で25年4月1日っていうことだったらもう実際に行われているということですので、これをよりよく、また有効に活用していただきまして、消防団がより活躍しやすいような場を今後ともつくっていただきたらと思います。本当にありがとうございました。

続きまして、指定管理者が行っている事業についてお伺いしたいと思います。

1点目、ほわいとファームの活性化についてなんですが、ほわいとファームでは米っ娘たまごといまして、白い黄身を使ったほわいとロールというのがあります。それからもう一点、中村知事もこれは絶賛されておるんですが、四国乳業製作ではあります森のろまんといまして、カマンベールチーズがございます。これはもう知る人ぞ知る一品となっておりますが、その知名度はまだ低く、地元住人でも知らない方が多いのではないかと思います。

先日、中村知事が塾長を務める志高塾で、2007年にさくらのチーズで山間地の手づくりチーズの世界大会、山のチーズオリンピックにて欧州勢を抑えて金メダルに輝いた共働学舎、共に働く学び舎なんですけども、共働学舎の宮嶋先生の講演がございました。その中で、話を聞いておりますと、今ほわいとファームでチーズづくりをされている方はこの共働学舎で学ばれた方だということで、鈴永さんと言われるんですけども、この方が一生懸命チーズづくりをされております。

このような有名ところで学ばれた方がつくられるチーズとか、先ほどのほわいとロールなど、これらを今複数ある道の駅、あるいはまだこの庁舎内でも余り宣伝されたところを見たことはないんですが、こういったところを使ってもっともっとアピールができないかということが1点と、それから今申しましたように、これらの道の駅間同士の連携とか、あるいは指定管理者同士の連携、こういったものがどうなっているのかお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 ほわいとファームのロール、それからカマンベールチーズの宣伝PR等に

ついでのご質問でございますが、カマンベールチーズの森のろまんというのと、ほれからこれはほわいとファーム内に開設された四国乳業の製造施設千年の森工房で開発され、非常にこの品質は定評がございまして、昨年愛媛新聞社主催の第21回愛媛農林水産賞の技術開発賞にも選ばれたということでございます。現在、四国内の高速道路サービスエリア、産直市などで主に販売されておりますが、徐々にその品質と知名度も広がりつつあるというふうに認識しております。もう一つ、ほわいとロールにつきましても、黄身が白い卵を活用した商品ということで、その話題性からネット販売等を軸に引き合いがございまして。

今後の販路拡大等についてですが、非常に類似商品が大手企業等にも多く存在しているということも事実であります。この販売ターゲットや流通の確立など、四国乳業とほわいとファーム双方の企業間の連携が非常に重要になってくると思っておりますが、これによって進められることがまず望まれるというふうに思います。また、それらの企業活動に加えまして、西予市では県内外の物産イベント等でのPRや、県外の同窓会、ふるさと会などで市産品のPRを行っておりますほか、この夏ですが、東京のビッグサイトというところですが、開催されます5万人規模のバイヤーが集まる見本市、インターフードジャパン2013という催しですが、ここへ西予市ブースが出展することが決まっております、そこにこの千年の森工房も出展することになっております。こういった今後の販路拡大の足がかりとできる環境を市としては提供していきたいと考えております。

また、市内への周知としましては、観光協会のホームページ等の商品の紹介はもとより、さらにPR手段としまして、公式フェイスブックページ等も活用しながら新たな情報発信について取り組んでまいっております。

産直等の指定管理施設につきましても、各企業の営業努力を無駄にしないよう、いろんな指定管理施設がさまざまな新商品を現在も開発しております。そういう施設や企業の特性を見ながら、さらなる協力体制並びに連携について検討してまいりたいと思っております。

なお、昨年度から県が主体となった南予産直施設ネットワーク会議が開催されておまして、道の駅とか産直施設の情報交換等によってより広域

的な連携も期待されているところでございます。

以上、答弁といたします。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 今、東京での西予市ブースでも今から全国的なPRもされていくということや、それから南予のネットワークの中でも呼びかけているということをお聞きいたしました。しかし、先ほど言われましたように、西予市の中では観光協会のあれとか、それからフェイスブック等でやられているのはわかるんですけども、この西予市の庁舎に来たときにも、このほわいとファームには限りませんが、いろいろなところでできているものを展示して、市民の方にアピールできるようなことができないのかということが1点と、それから地元の人先を知って、今度西予市ファームづくり構想というものもあるんですけども、そういった中で、西予市のものは、まずやっぱり西予市の人先を知って、それがまたほかのところにも広がっていくという、かわりを持っていくことが大事なんじゃないかなと思っておりますので、ぜひまだ本当にこれはアンケートをとったわけでも何でもありませんのでわかりませんが、このチーズがあることや、このほわいとロールがあるというようなことを知るとる人はもう知るとるんですけども、本当にぱっとその辺で会うた人に聞いてみますと、ああそんながあるんですかと言うてというようなことが多々ありますので、そういったことを踏まえまして、やっぱり西予市としてもうちょっと各道の駅が連携してそこにポスター等が貼れるとか、そういうところを利用してもっともっと地元にも反映することができないかなと思っております。

この辺について、各道の駅等が連携をして今後展開するようなことは何か考えられないでしょうか。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 道の駅、それから道の駅と類似の施設、市内の旧4町、あちこちでございます。これの連携はまさにおっしゃられますとおりでございまして、お互い現在もその品物については交流というか、こちらのものをあちらで販売するとかということはやっておるわけでございますが、さらに今言われたPRのノウハウ、具体的なあり方、そういうものについてはまた我々も一歩踏み込んで、一番はその道の駅を運営しているそ

それぞれの管理者がどう考えるかということになるかと思えますけども、そこを喚起するというところで、さらに踏み込んで検討を進めてまいりたいと思えます。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 当然、指定管理者がおられるわけですので、その人らの裁量によるところは大きいと思えますが、一步踏み込んで行政としてもこういうことはどうかというようなことはどんどんと管理者の方にも言っていただきまして、ますます発展するような方向性をつけていただけたらと思えます。

それに物すごう関係することなんですけども、温泉施設の共通回数券の販売はできないのかという質問を12月の定例会でさせていただきました。4施設の協議会のようなものをつくって対応したいとの答弁をいただいておりますが、その後どのようになっているのかお伺いしたいと思います。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 温浴施設4施設の連携、その後の協議ということでございますけども、この件につきまして、共同入浴券の販売について各施設の意向をまず調査、考え方を伺いました。利便性の向上への賛成の声が聞こえる一方で、今後の料金改定時に4施設の足並みがそろうかが懸念されるということで、慎重に対応すべきというような賛否両論がございましたので、その後各施設管理者が一堂に会する協議までには至っておりません。芳しい進展がないというのが実情でございます。

前回の答弁で申し上げましたとおり、当市の4つの入浴施設、これはいずれも指定管理者制度で運営しておりまして、独立した団体経営を行っております。現在の料金は4施設のうちで400円というところと500円というところが、これは大人の例ですけども混同しております。この400円というところをどうするかとか、そういうことを調整することが一見可能なようにも思われるんですけども、その他いろいろな施設の考えがございまして、なかなかそれは合わせましょうというようなところにはならないのが現実です。共同入浴券の発行のためにはまず、いろんな手法もあるんですけども、料金の統一ということも必要だということがありまして、そういうことにつ

いて4カ所の管理者の共通の認識ということが1点ございます。この改定につきましては、多角的な見地からの検討も必要となつてまいります。

以前にも申し上げましたように、ただ関係施設管理者が連携して入浴客の増加に向けた、施設にもいい、利用者にもいいという取り組みを行うということは非常に有意義なことでございますので、今後各施設管理者及び庁内施設所管課が

所管課も4施設それぞれ今別になっております合同して具体的な話し合いが持てるように進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いします。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 実際には具体的には進んでいないということの答弁だったと思うんですが、先ほど言われましたように3施設におきましては500円ということで、入浴料金も一定であるということですので、4施設一遍にというのはなかなか無理といたしましても、3施設が共同での回数券というようなものが発行できないかということをもた施設の指定管理者の方で協議を願ったらと思えます。

これ1点は、地元の人らがいろいろなところへ行けるというのもあれなんですけども、県外というんか市外の方に贈答品として入浴券をプレゼントしたりする場合にでも、1カ所のお風呂にしか入れんというのではなくて、やっぱり3施設なら3施設でも構いませんので、海の近くの塩風呂から城川の宝泉坊まで、相中にカロト温泉があるわけなんですけども、私が一番心配しておるのはカロト温泉なんですけども、カロト温泉が今後存続できるように何らかの方策を考えなければならぬということで、そういったことを考慮いただきまして、今後この3施設が一緒でも構いませんので、そういう協議をぜひ指定管理者の方を交えて、市の担当者の方も一緒になって今後考えていただけたらと思えます。

それでは、最後の質問になるわけなんですけども、昨年兵頭勇議員も言われましたが、選挙のときに数多くの空き家を目の当たりにして、非常に危惧をしているということを申されましたが、この空き家の調査の体制はどうなっているのかということをお聞きしたいと思います。

すぐにも利用できる、言うたらすぐにも住

めれる家、あるいはそれらに付随する土地というものがありましたら、ＩターンやＵターンする人への情報発信として何かできるんじゃないかなということで、農業を希望される方にとりましたら、土地と家をセットにしたような情報を流すことができればＩターン、Ｕターンがしやすくなるんじゃないかなということが１点と、それから西予市は光ネットで幸いにもつながれておりますので複数の利用ができる、１カ所に限らず、西予市内どこでも構わないと思うんですが、それで利用できる複数の空き家があれば、ＩＴ関連の企業も誘致することができるんじゃないかなということが思われるわけなんです、西予市としてこの空き家の実態調査をどのようにされているのかということと、対策についてお伺いしたいと思います。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまのご質問についてお答えをさせていただきます。

市が施策として市内全域を対象として空き家調査を実施し、情報を管理、発信して移住者を受け入れることや、老朽危険家屋として把握するというような調査事業は、現在のところは市単独といたしましてはやっていないのが現状でございます。

これは地理的な要因もありますけれども、空き家が個人の資産でもあることから、具体的なそういう事例、Ｉターン、Ｕターンの希望者、そういうような事例も余りない状態でありますから、そのような理由となっておりますけれども、ことしの１０月１日に、これは５年に１度ある国の統計調査でございますけれども、住宅土地統計調査が実施されることになっております。その調査項目の中に住宅の実態、いわゆる空き家の調査も含まれておりますので、その統計結果も参考に今後の施策に活かしてまいりたいというふうに考えているところでございます。

農業に興味のあるＩターン、Ｕターン者への情報源としての調査の実施ということでございますけれども、地域農業の担い手の減少、後継者の不足の中にあって担い手を確保し、農業、農村を維持発展させていくためにはＩターン、Ｕターンで農業や田舎暮らしを希望する人を受け入れ、定住に向けて支援することは、議員おっしゃられるとおり大変重要なことであろうと考えております。

そのためには、空き家等の情報提供も一つの方法であろうと思っておりますけれども、行政が一律的に機械的に情報提供をすることより、小さなコミュニティが移住者を受け入れる体制を築きながら推進することが望ましいのではなかろうかなと思っております。西予市内でも地域のコミュニティがそのような対策、応対をして実際何組かＩターン、Ｕターンされたとこの事実もあるようでございます。海も山も里もあります。それぞれの地域が特性を生かした空き家対策に取り組むことが定住施策、Ｉターン、Ｕターンしてもそれが続く施策につながると考えております。

また、ＩＴ関連会社の誘致についてでございますけれども、空き家を活用したＩＴ関連会社の企業誘致につきましては、その業務に係る必要な設備、セキュリティ及び業務内容の特殊性により多くの課題が考えられたところでございますが、家屋の状況により誘致を検討できる場合には前向きに取り組みたいと考えておりますので、情報の提供等についてよろしく願いたいと思います。

西予市といたしまして今後の空き家対策につきましては、今後の重要な案件として捉えております。今年度中に各関係課による研究体制の整備、農業、それから危機管理、商工、そういうような関係各課との研究体制の整備を進め、来年度からは空き家や老朽危険家屋の対策として条例化及び補助制度の検討も含め、具体的に組み込んでまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 ２番井関陽一君。

２番井関陽一君 市単独では空き家の調査は行っていないということでしたが、国の調査が１０月１日にあるということですが、これではなかなか踏み込んだ調査にはならないんじゃないかなと思っております。この空き家調査っていうのはその家が実際にあいているというのがわかるだけではなく、貸してもいいのか、あるいは売ってもいいのか、そういうところまで踏み込んだ調査をしてほしいということで、それと土地についても同じことなんです、農業を実際にやるという方とかではなく、定年後、土をいじりながら余生を送りたいというような方にこちらに定住してもらおうというような方策というのも必要じゃないかなと思いますので、ここに情報を発信するだけ

で、あとはもうこっちがどうこうするんじゃないかって、情報さえ流せばあとは向こうが勝手に判断してくれるんじゃないかなということで、IT関連の企業のことでもそうなんですが、いろいろな大きな問題はあります。ただ、そういうことではなくて、これだけのまとまった家があいてますよということを発信するだけで、もうあとは勝手に向こうが考えてくれる可能性があるということが言いたいだけございまして、この空き家の調査を確実にやっていただきまして、今本当にあいたままに置いておきますと、もう家っていうのは何年もたないうちにぼろぼろになってしまいます。そういったところを管理していただくだけでも御の字というところもありますので、空き家の調査というのを早急にしていただきまして、貸し出せる家が幾らあるのか、あるいは貸し出せる土地が幾らあるのか、あるいは売買できる家がどのくらいあるのか、そういったものを行政として情報発信することができないのかなということで質問させていただいております。

それから、最後にお答えいただいておりますが、災害に対することで酒井議員さんが去年の一般質問でされておりましたが、本当に倒壊の危機にたっている危険な空き家もございます。そういったことは今後研究されるということで、そちらの対策のほうは進められるようですが、それ以外にも住むことができる空き家の情報というものをもう一度検討できないかなと思うんですが、その点どうでしょうか。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、井関議員の空き家の活用を含めた問題点について、私のほうから、自分の考えを申しささせていただきたいと思っております。

実はこの空き家っていうのは、非常に法的な問題からいいますと、憲法の財産権の問題があります。根本はそこに置かないといけないんですが、その問題で法律、例えば建築基準法等々、あるいは景観法等々について、その十分な空き家に対する撤去命令云々かんぬんというのが十分できないという現実があります。

したがって、私どもが今研究体制に入ろうとしておるのは、条例で空き家をどうするかという問題点を考えておるところでありまして、それは2つあります。いわゆる危険な空き家について撤去することができるのかどうか、これはいわゆる今

言われましたように財産権の問題と衝突する問題でありまして、それについてはその中で行政も指導等々、あるいは改善命令等に行けなかった場合は行政がそこに代執行するというようなところまで全国の条例の中ではやられておるところがあります。そういう一つの観点ができるのかどうか。もう一つは、そのように空き家を活用できるのかどうかと、この2つの点が空き家問題について考えていく大きなポイントになるのは、今井関議員がおっしゃられた後段の問題だと、このように思っております。

そういう観点から私どもは、空き家が全国でも今13%から17%に上るんじゃないか、ちょっと数字が13か17、ちょっと頭がはっきりではありませんが、それだけ空き家がふえておるという現実がございまして、それだけではなしに西予市の場合は特に空き家対策は喫緊の課題になると、このように私どもは今考えております。今年度中にその案、計画等をつくりまして皆様方にご提案をして、その中からどういう方向を導くかということをやっていききたい、このように思っておりますので、その点的には今ほどの活用についてもご指摘をいただきたい。

そして、全国には空き家バンクというのがありますが、そういうことを含めて全国的な観点からお互い同士やっていく。ただ情報を流したら来るという時代ではありません。したがって、そこには体制づくりが必要だということもご理解をいただきたいと思っております。

以上、答弁とします。

議長 2番井関陽一君。

2番井関陽一君 ありがとうございます。

条例化の中で危険な家屋の撤去等、これは酒井議員が質問された内容の中だと思っておりますけども、それに加えて活用の点も今後考えて、一緒に研究していきたいということを言っていました。そして、空き家バンクとか体制づくりをしないとやっぱり情報だけでは来ないということも今言っていました。そういう体制づくりもしないと来ないのであれば、そういう体制もしなければならぬと思うんですが、情報だけでも、情報を出すことはそれほどお金のかかることでもありませんし、できるんじゃないかなと思っておりますので、そういうはなから全然だめだと決めつけしないで、情報発信からまず第一歩として進めて

いただきたらと思います。

時間はまだ残っておりますが、私の質問は以上で終わらせていただきます。本日はありがとうございますございました。

議長 次に、1番源正樹君。

1番源正樹君 議席番号1番源正樹です。浅野議長より許可をいただきましたので、本日の最後に質問をいたします。

通告書に従いまして3個の施策区分、合計6個の質問を行います。初めに情報発信についての質問を2つ、次に企業誘致についての質問を2つ、最後に市制10周年についての質問を2つ行います。よろしく願いいたします。

また、本日は早朝よりこのように本当に多くの市民の皆様へ傍聴に来ていただいております。そのプレッシャーに負けないようしっかりと質問したいと思います。

初めに、情報発信について質問いたします。

まず1点目は、ことし3月に改善されました西予市ホームページについてです。

以前のものと比較して情報の探しやすさ、画面の見やすさ、あらゆる人にも優しい使いやすさという基本方針が生かされているサイトになりました。広く情報発信するためにも、今後のさらなる有効活用を期待しております。

ホームページ活用は以下のような効果があると考えます。

まずは、市民の皆様への情報提供、市外へ西予市の魅力を伝えるための情報発信、また統計情報などの情報を蓄積する機能です。緊急防災情報や暮らしの情報を市民の皆様へ、観光資源や地域情報を市外へ発信することで今後さらなる効果が出てくると思います。現在、西予市が募集しております地域おこし協力隊、全国で同じように募集している影響もあると思いますが、募集人員に達しておりません。特にこういった市外から人を集める市外へのアピールが必要な場合、継続的にホームページに情報を掲載することが大切であると思います。しかしながら、デザイン的にはよくなりましたが、内容はこれから改善の余地があると思います。

例えば、トップページの新着情報の下にはライフイベントという欄がありまして、情報が掲載されております。その中の結婚離婚、この中に戸籍に関する郵送請求についてと戸籍に関する届け出

についての2点のみ、また入学入園に関しましては西予市保育園の案内と認可保育所の一覧の同じく2点のみの情報しかありません。余談にはなりますが、ふるさと納税に掲載されている市長の写真は恐らく10年近く前の写真だと思います。情報は一義的には鮮度が命、また詳しい内容も求められます。細かな点を含め、さらに充実していくことを望みます。

そこで質問ですが、現在改善されたホームページを行政としてどのように評価されているのでしょうか。また、現在把握されている問題点、改善事項はありますでしょうか。そして、今後どのように活用していくのか、理事者の考えをお尋ねいたします。

次に、フェイスブックの活用について質問します。

私を含めまして、この一般質問の場でもソーシャルネットワークサービスの導入について質問があったかと覚えております。新ホームページの運用と時を同じくして明浜支所、企画調整課、産業創出課の1支所2課で運用が開始されており、私もその情報を見ております。ホームページは回覧的要素が強く、情報交換をするには向いておりませんが、フェイスブックを活用することで情報交流の面でホームページを互換する関係ができ、相乗効果が高まると思います。これは行政ではありませんが、西予市観光協会では昨年の夏よりフェイスブックを先行導入されており、大きな反応がありました。今後の運用について大いに参考になるのではと思います。

そこで質問ですが、フェイスブックを導入した狙いと、今後の運用方針についてお尋ねいたします。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 ただいまのご質問についてお答えをいたします。

リニューアルされました新しいホームページにつきましては、従前に比べまして簡単に文字の大きさを変えられたり、情報を探しやすく分類していたりと、随所に使いやすさの工夫を凝らしておりまして、その結果、アクセス数が4月には2万5,626人、5月には2万8,202人と着実に伸びております。また、リピーター率も当初の45%から51%に伸びているところから、新しいホームページが利用者の間に少しずつ定着して

きたことがうかがえ、リニューアルの効果が上がってきたと思っております。

なお、現在のところホームページ自体の問題点や改善事項につきましては、課ごとの情報発信の意識に温度差があると感じております。ホームページは原課職員が情報を更新しておりますけれども、ホームページへの行政情報等の掲載頻度に大きな差がありますため、職員の情報発信能力を一層強化していくことが当面の課題であると考えております。

今後のホームページの活用についてでございますが、市民、市外への情報提供や情報発信を基本に、義務的な情報公開のためのツールとして活用するばかりではなく、市の戦略的なPRツールとして法で定められた情報はもちろん市民、利用者の立場に立った情報などをスピーディーに公開しまして、西予市のウェブ上の広告塔として有効に活用していきたいと考えております。

続きまして、フェイスブックのご質問でございますが、現在当市におきましてはホームページ上に企画調整課、産業創出課及び明浜支所の3つのフェイスブックが開設されており、企画調整課におきましては地域みずからの発案企画力を高めることを、産業創出課においては西予市のファンを広げること、また明浜支所においては地域間交流の促進を図ることを目的に公開をいたしております。フェイスブックの開設については、市民の皆様や職員から募集した新ホームページに対する要望の中でもひととき多かったものでございます。そのため、希望する部署を募集しましたところ、現在の3部署が手を挙げ、市の公式アカウントとしてフェイスブックの運用をいたしております。

なお、当市の場合、情報を目的別によりわかりやすく発信したり、また部署間での情報発信能力を切磋琢磨するため、必要に応じて複数のアカウントを認めているところでございます。これからさらにアカウントがふえ続けていくとホームページの運用に支障が出てくるのではというご意見もあるかと思いますけれども、今後も明確な目的と情報発信の継続性が認められ、かつ運用規定を定めた部署についてアカウントを認めることとし、アカウントが増加した場合にはホームページのトップページ上でフェイスブック専用のコーナーを設けるなどの工夫をしていきたいと考えております。

以上、答弁といたします。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 それでは、再質問させていただければと思います。

今、河野総務企画部長の答弁の中で、まずホームページについてですが、戦略的PRツールとして活用していきたいという答弁があったかと思いません。これは1点思ってるんですけども、今各課ごとに温度差がある、それは当然ホームページに載せるべき情報、載せる必要がない情報があると思います。課によっても温度差があるのは当然だとは思いますが、これは1点ちょっと考えをお聞きしたいんですが、例えば広報せいよ、専任の職員さんが1人、1カ月ずつつきっきりで広報せいよをつくっていらっしゃると思っておりますが、広報せいよのようにホームページ、フェイスブックを含めたいわゆるインターネットツールを専任とするような担当者をつくってはどうかと、戦略的にするというのはそういった必要が出てくるかと思うんですが、今後の検討の可能性を含めてお尋ねしたいと思えます。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今ほどの専任担当者を決めようかということでございますが、現在はホームページの更新については、新ホームページに移行してからは全て原課の職員、先ほど申しましたが、権限を移譲しております。したがって、ホームページに掲載する情報の選択や更新担当は各部署内で指名または選任された職員、そういう職員を一人ずつ選任をいたしておりますので、個々の職員の指導監督は当然情報推進課がやっておるわけですけども、そのスキルアップをしながらタイムリーに早く更新ができる、そして切りかえもできるというようなことを狙いながら今進めているところでございます。

議員の言われる専任を置いてはどうかということもありますけれども、今職員を削減している状況で、1人専任を置くこともその一つと思えますけれども、いろんなところでそういうできる職員を育てていったら1人がするよりかはすばらしいものができるのではなからうかなというところで、今そういうほうに進めております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 ありがとうございます。

私も一応市議会ホームページというのもありまして、そのところを議会事務局内の職員さんと話しながらやってるところなんですけれども、そういった形で情報推進課のほうで統括をしながら各職員さんを育てられる方向ということでしたら、今後さらによきホームページ運営となるようにまた期待したいと思っております。

再質問をほかの分でさせていただければと思うんですが、先ほどのフェイスブックページについてなんですが、各支所、各課で希望のあったところで始められたということでしたが、ほかの市、行政体、いわゆる公式フェイスブックページを運営しているところはほとんど行政の中で一本でやられてるんですね。西予市のように各課、支所で運営しているところはほとんど見当たりません。ちょっと専門的というか、わかる方にはわかってもらえると思うんですけど、例えば西予市観光協会、387人の人が見ている、明浜支所でしたら96人、企画調整が90人、産業創出課が206人、これはきょうの朝の数字なんで間違いのないかと思うんですけども、要はこれは同じ人が見ている可能性もあるんですが、実際こんだけ分かれてしまうとせっかくの情報が伝わりづらいんじゃないかと思うんですが、今のところは希望する課、もしくは支所での対応ということですが、今後は西予市一つで運用したほうが効果が高いのではと思います。先ほど職員さんからの希望、または市民の皆様からホームページをリニューアルするにはフェイスブック導入をという声が高かったということは、それだけ期待値が高いということだと思っております。そのところについてまとめるべきか否か、お考えをいただければと思います。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今回のフェイスブックのページはまとめるほうがいいのではないかとというようなご意見でございますけれども、確かにいろいろ方法はあると思います。ただ、西予市で最初やろうとしたことにつきましては、先ほどのフェイスブックについての答弁の中で申し上げましたように、今回意図的に部署ごとのフェイスブックの運用をしております。今そういうふうにしておりますので、それをしばらく検証させていただきまして、どちらがいいか、またその適切な時期に検証をしながら考えていきたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 答弁ありがとうございます。

今後そういったことがよりよい方向になるようにというのを願っております。

情報発信について、最後にちょっと関連質問になって申しわけないんですが、ちょうど通告書を出した後ですでお許しいただきたいと思いません。

先週、政府の復興庁職員によるいわゆる暴言、これがインターネット上で流れまして大きな問題となっております。実際にこの市役所の職員さんの中でもこういったフェイスブックをやっている、もしくはツイッターとかラインとかそういった危険性があるとまでは言いませんが、問題となる可能性があるのではないかとちょっと心配をしております。このことについてはあくまで行政のほうで指導してくださいとかそういうことではなくて、今後できれば市民と行政職員さん、そのフェイスブックを使って交流、意見交換をしながら、ともに西予市の情報発信をしていけるのが理想だと思っておりますので、そういったことも少し頭の中とかちょっとありましたので、最後に一言述べさせていただきました。失礼いたしました。

それでは済みません、続きまして施策の2番目、企業誘致について質問をしたいと思います。

先日の平成25年第1回定例会におきまして西予市企業誘致条例が改正され、企業立地促進奨励措置として固定資産税の減免を、雇用促進、企業立地促進、ランニングコストには奨励金を交付することとなりました。今回の改正により、今までの理念条例から立地企業への奨励金交付措置が初めて導入されたものと理解しております。

ここ西予市は南予の地理的中心地です。日本郵便の集配センターが宇和町皆田地区で事業を展開され、また宇和町永長地区には四国コカ・コーラボトリング南予営業所が営業されています。高速道路が昨年宇和島市まで開通したことでさらに条件がよくなったと思います。南予4市に30分以内にアクセスできるのはここ西予市だけです。立地条件のよさ、この企業誘致条例改正が企業進出につながることを期待します。

そこで質問ですが、現在まで企業等の問い合わせなどの反応、改正後の状況についてお尋ねしま

す。もちろん企業に迷惑にならない範囲での答弁をお願いいたします。

また、近隣であります宇和島市、大洲市にも同じような誘致条例があり、条件面や奨励措置等には大きな違いがないようです。企業誘致を進めるためには積極的に企業へPRする必要があるのではないかと思います。広報活動など現在の取り組み状況についてお尋ねします。

また、今後ですが、企業誘致が実現した場合、企業への奨励金交付が発生します。その財源については一般財源で対応されるのかどうかお尋ねいたします。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 ただいまの企業誘致条例導入からの状況についてでございますが、私のほうから企業の評価反応とPRの件につきましてお答えをさせていただきます。

本市の企業誘致につきましては、西予市内へ企業が進出することを支援するための西予市企業誘致条例とICT環境の整備に対応する情報通信関連企業の誘致を進めることを目的とした西予市情報通信関連企業誘致条例の2本立ての制度を設けて支援内容を拡充しつつ、企業誘致の推進を図っているところでございます。

まず、PRの件でございますけれども、新条例を周知するために市広報紙はもとより、市ホームページにも紹介して広く周知を図っているところでございます。また、先日大阪、東京で県が実施しましたえひめランチネットワークでも大都市圏の企業関係者約30社に直接PRを行い、事業の周知と企業誘致の努力を続けております。当然企業を訪問したときには、当然真っ先にPRをしているわけでございます。

次に、問い合わせ、反応等でございますが、現在のところ条例に関する直接の問い合わせはございませんが、県内、特に南予方面に進出や移転を検討されている企業様に対して、移転条件の一つにこの条件を提示することで興味を示されている例もあり、行政側の積極的な企業誘致手段の一つとして効果を発揮しつつある状況となっております。

以上2点、答弁といたします。

失礼しました。財源の確保につきましても引き続き答弁させていただきます。

この財源の確保をどのようにするかということ

でございますけれども、ご質問にございましたように雇用奨励金、企業立地促進奨励金、ランニングコスト奨励金等の奨励措置制度は県内でも優遇性の高い内容になっていると思っております。強い興味を示されている企業もございしますが、当然その財源が必要なんですけれども、その財源につきましては西予市独自の単独事業でありますことから、一般財源により対応することといたしております。失礼しました。

以上、答弁といたします。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 今現在さまざまところで活動をされているということで理解いたしました。財源についても一般財源で対応されるということで、今後その一般財源として補正予算が組まれるように企業さんのほうにも来ていただくように私も応援をしたいと思っております。

2点、再質問をしたいんですけれども、まず近隣他市、先ほど大洲市と宇和島市の例を出しました。八幡浜市にもいわゆる情報関連産業、コールセンターを指していることだと思うんですけれども、そういった同じような条例があります。例えば固定資産税の減免措置でしたら、宇和島市のほうが上限が3億円まで、西予市の場合は2億円までだったと記憶しております。雇用に関しましては新規雇用で年間50万円、短時間の雇用でしたら25万円だったかと思っております。それが掛ける雇用人数で支給されると。ほとんど条件的に変わらずにやられてるんで、これはよいことだと思いますが、近隣他市として比較して評価はどのようにされているのかというのが1点、再質問。

もう一点、これはあくまで市外から企業を誘致するという観点で質問をしておりますが、市内産業、いわゆる今地場で頑張っているしゃる企業の皆さんに対しても活性化の視点も大切にするべきではないかと思っております。企業誘致という質問の趣旨からはちょっと外れるかと思っておりますが、そのことについてお考えをお聞きしたいと思います。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 再質問1点目ですが、近隣市との比較評価でございますけれども、今回の西予市の改正条例の内容につきましては、近隣の自治体と比較したときに、かなり私どもとしては違いがあると思っております。

具体的に申しますと、立地奨励金とかランニングコストの支援、あるいはそれらの現金がかなり支給されるというところです。他市の場合には現金支給もございますが、固定資産税の課税部分相当に対しての現金支給とか、プラス・マイナス・ゼロというような感じの支給というやり方のところもあるようでございます。この部分に紹介企業さんもかなり興味を持たれていることは先ほどもお話をしたとおりでございます。このことにつきまして、今回かなり思い切った内容になっていると自負しているところでして、当然財源も必要になるわけでございますけども、この条例の趣旨が早く生かされるように努力してまいりたいと思います。

それから、市内産業活性化の視点をどうするかということですが、足元の地場産業が活性化するということは、当然何よりも地域の活性化にとって大切なことであるということは私どもも認識を深くいたしているところです。ただ、企業誘致政策というのは少し視点が違っているところがあるというふうに考えまして、大きくは違わないんですが、企業誘致の効果というのは直接的な効果と間接的な効果があるのではないかなというふうに考えております。即効性のある波及効果を発揮させるっていう面が企業誘致には大きな1点目があると思います。それで、企業誘致が実現した場合に、地域経済が活性化する、そういうことによって雇用創出に伴う人口の増加、あるいは生活者の収入アップ、そういうものが期待できまして、ひいては地域周辺の事業者さん、製造業、小売店、飲食店、これはどういうふうに波及していくかわかりませんが、大きなビジネスチャンスが発生していくものと考えています。この点はご理解いただけることだと存じます。

市内の地場産業の活性化の取り組みとしましては、商工会あるいは観光協会との連携やここを通じた直接支援等をこれまでも行っているところでございます。また、先ほども少し触れましたが、市内の魅力ある人、事、物、そういうものを市内内外にアピールしていく事業を今年度新規に立ち上げて、新たな形で西予市の魅力を積極的に外に向かって発信して、西予市に興味を持っていただく人をふやすとともに、これを実益につなげていきたいと考えているところです。また積極的な情報提供と参加を期待しているところです。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 ありがとうございます。

企業誘致条例に関しても私も勉強不足のところが、そのように有利な条例であるということは認識が不足しておりましたので、その条件のよさを生かして、本当に企業誘致が進めばいいなと思っておると、地場産業に関しても今までの支援を生かしながら地場産業自体も頑張らなければいけないと、私も一小売業者として感じることもありますので、協力するところは協力する、個別に頑張るところは頑張る、そういった姿勢でやっていかなければならないのではないかと感じております。

では、次の質問に移りたいと思います。

最後の施策として、市制10周年について質問をいたします。

平成16年に明浜町、宇和町、城川町、野村町、三瓶町が合併し、西予市が誕生しました。早いもので来年度には合併より丸10年が過ぎます。この節目を祝うためにも、またこれからの市勢発展にも記念式典や記念行事などを行うことと推察しております。

そこで質問ですが、こういった式典や行事についての計画はどのようになっているかお尋ねします。

次に、官民連携について質問します。

これはある自治体の例ですが、市役所の窓口に来る住民をお客様と呼ぶところがあるそうです。いつの間にかですが、行政はサービスを提供し、住民はそのサービスを受けるという関係になってきているように感じます。住民が公共の部分を行政任せに、行政は公共を独占してきた結果コストの増加を招き、財政問題につながっているのではないのでしょうか。地域社会の基本にある住民自治を考えれば、公共を担うのは行政だけではないと考えます。そんな中、しばしば行政主導で見られるのがコストカット、さらに言えば人件費への抑制を目的とした事業ではないのでしょうか。もちろん効率的な行政サービスは目指されるべきではありますが、本来考えておかねばならないこと、本来対応しなければいけないことが抜け落ちる危険性があると考えます。大切なのは官民連携や協働とする事業の選択、行政と住民との役割分担、協力関係などの構築だと思います。公共を多様な主

体が担うために、行政の立場から働きかける一歩をどう踏み出し、どう進めるか、今後西予市が10周年を迎え、その先に一体どのような西予市を目指すのか、行政と住民の共通認識をつくる必要があると思います。

この問題意識をもとに質問いたします。

西予市合併、高速道路開通にあわせて平成16年にえひめ町並博が開催されました。この際に、109メートルの長さを誇る米博物館で開催されています雑巾がけレースZ-1グランプリや卯之町の町並みをろうそくで照らす卯のほたるなどの事業が始まりました。ことしでそれぞれ10回目を迎えられております。こういったいわゆる民間主体のイベントは西予市内に数多くあります。行政と民間が手を携え、市制10周年を行うことは、また市制10周年を盛り上げるためにも、西予市の一体感を高めるためにも、こうした事業や団体等と連携を図り、協力体制をつくり、市制10周年をともに作り上げる必要があるのではないかと考えますが、理事者の考えをお尋ねいたします。

議長 九鬼副市長。

九鬼副市長 それでは、市制10周年につきまして私のほうから答弁させていただきます。

まず、来年度に向けての計画の状況ということでございますが、西予市の大きな節目であります合併10周年に当たりましては、市民の連帯や相互理解をさらに深めるとともに、本市の魅力や活力を市内外に発信する取り組みを推進するため、関連する記念事業として、公式行事である記念式典はもとよりでありますけれども、式典以外の関連事業についても現在関係各課のほうで検討をしております。

なお、記念事業を円滑かつ効果的に推進するため、庁内に関係各課で構成する連絡調整組織や各種団体及び市民等との連携をした運営体制も設けたいというふうに考えております。

次に、官民連携についてでありますけれども、冒頭で源議員さんがおっしゃられましたように、市民と行政の役割分担というのは、私たちも最も重要だと思っておりますし、話し合いをしてお互いに信頼関係を築くということが全ての出発点だというふうに認識をいたしておりまして、官民連携というのも今回のこの10周年記念については大切なことだというふうに感じております。

合併後10年を経る中で、西予市といたしましての新たな地域財産の掘り起こしや、地域住民、団体みずからの主導による新たな地域づくりが進められつつあります。議員のご質問にございました雑巾がけレースZ-1グランプリや卯のほたるなどのイベントは地域住民や団体による主催で、回を追うごとにすばらしいイベントに育っておりますけれども、さらに行政としましても連携を密にし、10周年を迎える来年度はさらに印象的なものになればというような期待をしております。

また、れんげ祭り、どろんこ祭り、かっぱ祭り、奥地の海のかーにばる、乙亥大相撲というイベントにおきましても、従来から官民一体となった実行委員会で主催をされているところでございます。これらにつきましても、10周年にふさわしいものにしていく所存でございます。合併10周年の節目を契機に、本市の魅力の発掘と再発見を積極的に行うとともに、新たな創造の機会として捉え、市民の皆さんがもっとこの町に愛着と誇りを持ってもらいたいというふうに考えております。

先ほど小野議員さんもおっしゃいましたけれども、民間主導、行政が手助けをするというのが最も基本的なことだろうと思っておりますし、理想だと思っております。官民連携に取り組むことで各種団体や市民の皆様からも、また議員の皆様からも積極的なご提案をいただき取り組んでいきたいというふうに考えております。10周年という年を市民と行政がともにまちづくりを推進するためのステップとするためにも、広く市民の皆様のご協力をいただきたいというように思っておりますので、どうかこれからもよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 そのように今後、来年度に向けてさまざまな事業が進んでいくことを今お聞きしました。そういった事業を、先ほども言いましたが、手を携えてやっていく姿勢ができていけばこれは幸いだと思っております。

ちょうどことは、いわゆるジオパークのほうの、来月になりますかね、7月に認定委員会の皆様は西予市に審査にいらっしゃる。9月には恐らく、間違いなく認定されることと思っております。そういった西予市内、5町合併しております

ので、先ほど副市長から答弁いただきましたように、宇和にはれんげ祭り、城川町にはどろんこ祭り、野村町には乙亥大相撲、明浜町にはかっぱ祭り、三瓶には奥地の海のかーにばると、それぞれ本当に特色ある、いわゆるお祭りのことをされております。なかなかこれはいつも感じておることであれなんです、各イベントがばらばらに情報を発信されていて、できたら年間スケジュールのようなものがあればいいのではないかと思うんですが、あるのが観光協会の持たれてる観光物産のホームページ、ここにイベントカレンダーがありまして、そこを見ればわかるような状態なんです、そういったことも市制10周年と絡めてやってみてはどうかと思いますが、そのあたりのことをちょっとお考えを聞かせていただければというのが1点。

もう一点なんです、実を言うと平成21年と平成23年に西予市商工会におきましてプレミアム商品券事業というのをやっております。ちょうど平成21年のときはリーマン・ショックの折で、いわゆる国の緊急経済対策事業、これの交付金を使われたというように聞いております。また、平成23年にはここ西予市役所の市庁舎の落成記念と銘打ちまして同じような事業をされております。大変商工業者の方に言わせれば効果が大きかったというふうに聞いております。ぜひ市制10周年記念にそういった事業をもう一度行っていただければと個人的に考えておるんですが、そのあたりの考えをお聞かせいただければと思います。

議長 九鬼副市長。

九鬼副市長 1点目の言えばソフト事業というようなニュアンスだと思いますけども、ご提案のとおり、非常に大切なことだろうというふうに思いますので、ぜひこの10年という一つの節目の中で西予市のいろんな情報をどうやってまとめてわかりやすく発信していくかというふうなことだろうと思います。しっかりと取り組んでいきたいというふうに思います。

それから、プレミアム商品券の件だと思います。大変好評だったということは私もお聞きしておりますので、ぜひ新たな提案という形でまた商工会のほうからどんどんご提案をいただきましたら検討させていただいたらというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

議長 1番源正樹君。

1番源正樹君 答弁いただきましてありがとうございました。

以上をもちまして私の一般質問を終えるんですが、最後に一言ちょっと述べさせていただければと思います。

市制10周年ということで西予市も合併して10年目を迎えております。今まで西予市内で余り大きな波風が立つことはなかったんですが、今回の三瓶町の問題、また今後簡易水道の問題があって、なかなかこれから少しそういった面で議論が起こってきておりますし、議論が起こるのではないかと考えております。市制10周年ということで、その気持ちを一つにしてさまざまな困難はあると思いますが、皆さんが納得する、できる形でそういったことが進めていけますよう私も勉強し、皆さんのために頑張りたいと思います。

以上の感想を持ちまして、私の一般質問を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

議長 以上で本日の一般質問を終結といたします。

明日は午前9時より引き続き一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午前11時36分

平成25年第2回西予市議会定例会会議録(第3号)

1.招集年月日	平成25年6月19日	消防本部消防長	菊池直
1.招集の場所	西予市議会議場	総務課長	宗正弘
1.開議	平成25年6月19日	財政課長	道山升文
	午前9時00分	企画調整課長	浅野信也
1.散会	平成25年6月19日	1.本会議に職務のため出席した者の職氏名	
	午前10時18分	事務局長	井関通夫
1.出席議員		議事係	佐藤陽一郎
1番	源正樹	1.議事日程	別紙のとおり
2番	井関陽一	1.会議に付した事件	別紙のとおり
3番	菊池純一	1.会議の経過	別紙のとおり
4番	田中徳博		
5番	中村敬治		
6番	二宮一朗		
7番	兵頭学		
8番	小野正昭		
9番	松山清		
10番	宇都宮明宏		
12番	元親孝志		
13番	沖野健三		
14番	森川一義		
15番	藤井朝廣		
16番	浅野忠昭		
17番	岡山清秋		
18番	酒井宇之吉		
19番	兵頭勇		
20番	山本昭義		
21番	梅川光俊		

- 1.欠席議員
11番 松島義幸

1.地方自治法第121条により

説明のため出席した者の職氏名

市	長	三好幹二				
副市	長	九鬼則夫				
教	育	長 宇都宮又重				
公	営	企	業	部	長	平野松市
会	計	管	理	者	井上謙二	
総	務	企	画	部	長	河野敏雅
産	業	建	設	部	長	福原純一
生	活	福	祉	部	長	三好幸二
教	育	部	長	内藤利明		
明	浜	支	所	長	宇都宮松夫	
野	村	支	所	長	井上尚喜	
城	川	支	所	長	徳居隆利	
三	瓶	支	所	長	西園寺良徳	

議 事 日 程

1 一般質問

本日の会議に付した事件

1 一般質問

開議 午前9時00分

議長 おはようございます。

ただいまの出席議員は20名であります。本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

昨日、小野正昭君から同日6月18日の一般質問における発言について、会議規則第65条の規定により、お手元に配付いたしました発言取り消し申出書に記載した部分を取り消したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。

これを許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 異議なしと認めます。よって、小野正昭君からの発言取り消しの申し出を許可することに決定しました。

(日程1)

議長 次に、日程第1、昨日に引き続き一般質問を行います。

質問者は、通告内容及び申し合わせに従い発言してください。

それでは、通告順に発言を許可いたします。

まず、3番菊池純一君。

3番菊池純一君 おはようございます。議席番号3番菊池純一です。

議長より質問の許可をいただきましたので、通告に従いまして4つの施策について質問を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

私は、今回これらの事業が今からどのような展開を考えているのか、どう実行していくのか、そこに焦点を当ててその方向性を明らかにしたい、確認したい、そういうことで進めたいと思います。

まず、基金についてです。

市の運営のために特定の目的を持った多くの基金が存在していますが、その中から2つの基金についてお尋ねをいたします。

1つ目に、西予市田園ロマンの里づくり基金についてです。

まず、この基金は何のためのものなのか、その目的を詳しく教えてください。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 それでは、ただいまの菊池議員からの西予市田園ロマンの里づくり基金につ

いての事業の目的についてのお尋ねにお答えしたいと思います。

宇和盆地は、鶴類や国の特別天然記念物でございますコウノトリが自然に飛来してくる貴重な地域となっております。

鶴やコウノトリは生物多様性の指標になるといわれ、本市はこのことの意義を認識し、餌場やねぐらなどの自然環境の保全、住民の理解や協力など社会環境の整備を図り、鶴やコウノトリのすめる、人にとって素晴らしい環境を総合的に推進したいと考えております。

しかしながら、環境への取り組みが成果を得るためには、その活動が持続され広がっていくことが必要であります。それらの事業活動に係る財源確保のために、本基金を設けてるところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 では、現在の積立金額というのがあると思いますが、それは幾らでしょうか。お願いいたします。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 それでは、ただいまの基金の積み立ての残高ということでございますが、基金残高につきましては本年5月31日現在で3,001万8,000円となっております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 3,000万円、かなりの金額が積み立てられておりますが、ではここからが肝心なところなんですけど、今後その運用とタイミングとか方法とか、そういうことを現在考えておられるようでしたらひとつ発表していただきたいと思います。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 それでは、ただいまの2つ目の基金の今後の運用方法及びその時期等についてでございますけども、平成23年第4回の西予市議会定例会の質疑にも答弁させていただいておりますが、ハード、ソフト両方を今後考えていきたいというふうに考えております。

例えばハードの場合では、餌資源をふやす取り組みといたしまして、魚道の設置でございますとか、河川と水路の連続性を回復させるとかを想定しながら魚類の生息環境の改善を図り、またコウ

ノトリの越冬時期の食物資源の確保を目指した事業としまして、冬季湛水についても取り組んでまいりたいというふうに考えております。

また、さきにも申し上げましたとおり、鶴やコウノトリは生物多様性の指標になると言われております。本市におきましても、将来にわたって生物多様性の恵みを楽しんで人と自然が共生し、豊かな自然と文化を守り育むことも大切なことでございます。そのためには、そのようなソフト事業を展開することも考えていかなければならないと、そのように思っております。

ただ、事業実施時期につきましては、事業の成果を広角的に効果的に生かせるよう、コウノトリの飛来が確実に安定する時期を考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 ありがとうございます。

今の答弁でございますと、コウノトリはこっちが思うようには動いてくれないわけですから、ぜひ今度来ていただくように環境整備をしていくということ、これは大変方向性としていいんじゃないかというふうに思います。

しかし、このタイミング、運用するその時期ですけど、いろいろと図っておられるということですが、今までに何かそういうアクションをしたとか、地域で何かそういうことを取り組んでおってそのことを支援したとか、そういう事例はございますでしょうか。お答えください。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 それでは、これまでの取り組みについての説明でございますけども、まず西予市自体の取り組みといたしましては、先ほどちょっと説明も申し上げましたけども、冬季湛水ということでございますけども、こういった取り組みを平成22年度から24年度にかけまして1ヘクタールの田においてそういう対応をしたということであります。

それから、平成22年になりますけども、鶴、コウノトリ見守り隊を結成をいたしております。

それから、平成22年から23年にかけましては、水路の生き物調査の実施、こういうのを実施いたしております。

それから、昨年度でございますけども平成24年度でございますが、これは河川と水路の連続性を回復させるということで、田園自然再生基礎調

査というふうな事業も実施いたしております。

それから、住民の方の取り組みとしてでございますけども、これにつきましてはまず平成23年度に水田魚道の整備、これを8カ所実施いたしております。

それから、平成24年度には、放棄された水田を利用させていただいてビオトープ、これらの整備をいたしております。

次に、平成21年から22年度にかけてでございますけども、小野田地区でございますけども、巢塔を2基設置させていただいております。

それから、21年、22年でございますけども、これは山田と小野田ですけども、コウノトリなどの近寄らないでくださいという注意喚起の看板、こういうのをつくっております。

それからあと、ソフト事業になりますけども、住民の方たちが先進地視察、例えば鹿児島県の出水市とかそういったところで先進地視察をされとります。

あとは、コウノトリを育む農法研究会あるいはゲンゴロウと米づくり講演会、そういった講演会にもそういった機会をつくっていききたいということでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 大分そのソフト面で地区の方と協働しながら活動されていらっしゃるのがありますが、この後にも出ますように、西予市のファンづくりというか、このコウノトリは確かに西予市のファンの一羽でございますして、これをつなぎとめておくということ、またその数とそして滞在期間とをふやすためにも、今いわれているような地道な餌場をつくるか、冬季のときに田んぼに水を張ってそういう多様な生物の成長を促すとか、いろいろと考えて、そして自然との共生を続けていくことが大変大切であると思っております。

そういうことで、今続けてぜひ地域の方と連携をとりながらそういう活動を続けてほしいな、とそういうふうに願います。

では、続きまして次の基金についてですけど、西予市宇和町地域古代ロマンの里構想基金というのがあります。

これも先ほどと同じように、まずこの基金は何のためのものなのか、その目的を詳しくお答えください。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 ただいまのご質問についてお答えをさせていただきます。

古代ロマンの里構想は、旧宇和町時代の平成13年から構想の策定を進め、宇和町古代ロマンの里構想推進委員会から平成16年3月に最終答申が出されたものであります。

この答申は、西予市においても引き継がれ、平成17年3月に古代ロマンの里整備活用基本計画を作成いたしております。

その目的は、地域に残る遺跡を素材にした取り組みにより、地域の歴史や伝統を継承発展させ、誇りある地域文化と豊かな心を育むまちづくりの一助とすること、さらに地域文化の発信を進めていこうとするためのものであります。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 では、先ほどと同じように積立金額、それから今までに何かアクションを起こしたこと、そういうことがありましたらお願いいたします。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 現在の積立金額でございますが、平成25年5月31日現在で1億1,457万4,080円となっております。

次に、現在までその基金について使っております内容についてご説明をさせていただきます。

笠置峠古墳整備に総額で4,654万45円の支出をいたしております。その内訳といたしまして、笠置峠古墳の用地購入費1万1,001平方メートルに338万6,210円、竪穴式石槨複製工事費に958万7,000円。これは、基金に639万2,000円と県の補助を受けまして319万5,000円の県補助を受けております。古墳整備費に3,676万1,835円の支出をいたしております。

以上のような内容で笠置峠古墳の整備を行っております。

以上で答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 ありがとうございます。

笠置峠古墳を中心に整備をされたということでお伺いしましたが、それはそれとして、今後の運用の方法とか何か計画されていることがあればちょっとお答えをお願いいたします。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 失礼いたします。

現在は、計画に従いまして平成20年度に、先ほども申しました笠置峠古墳の整備を行いました。地元、笠置文化保存会のご協力を得ながら葺石体験や石包丁づくり実験などの体験授業、遺跡への説明看板設置、マップの整備などを含めた西予市埋蔵文化財活用事業を国庫補助事業を活用しながら進めているところであります。

今後は、ナルタキ古墳群の整備を進め、構想の活動や展示の拠点となる施設の設置について検討を進めてまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 ありがとうございます。

今お話しにも出ましたけど、宇和町石城地区に笠置文化保存会という会があります。今約30名弱ぐらいの会員の方が所属されております。私もその中の一人なのですが、私はまだまだ活動不足でその会から戦力外通告を受けないように努力している日々でございますが、しかし私以外の会員の方々は大変熱心に笠置峠古墳そしてその周辺、そしてそこにつながる笠置街道、そして今お話しにもありましたナルタキ古墳、赤坂古墳を中心としたそういうところの草刈りとか道づくり、それから植林、山野草の保護など、または勉強会等、これらを通じて愛媛大学の考古学研究室の学生さんたちとの交流、また先ほどは松山市の葉佐池古墳の保護をされてる方たちとの交流とか、そういう他地域との交流も熱心にされております。また、そこにかかわる熱心な市行政の人も加わって多彩な活動を展開してますし、またその成果というのにも目に見えてきております。これは、昨日来からよくこの質問の中にも出ております民間主導、行政は後方支援、まさに協働というその形の一つのサンプルのような活動組織じゃないかなというふうに見ております。

その愛大生の皆さんが、何年か前になるんですけど、以前JR石城駅から各古墳や遺跡を自転車めぐったらどうなんだろうということで、そのコースとか、そして時間とか、そういうことを知るために実際にグループに分かれてサイクリングをしてそういう研究をされました。このサイクリングというのはキーワードで、今県が力を入れて取り組んでいるサイクリングツアー、こういうこ

とはこのロマンの里構想にも、構想だけじゃなくてこれは西予市全体を捉えてみても、四国西予ジオパーク構想の中からもこれは研究してみる価値はあるんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 貴重なご意見、ご提言ありがとうございます。

今後、先ほど言われました自転車サイクリング等での遺跡めぐりといいますか、そういうものも今後検討させていただいたらと思います。

以上で答弁とさせていただきます。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 ありがとうございます。

ぜひ検討していただいて、またこれもしつこいようですけど、地域を巻き込んでしていただいたら大変いいなというふうに感じます。

今、この2つの基金に絞ってお聞きいたしましたけど、確かにこの基金をいつ出動さすか、そういうことは非常にタイミングをはかる上で難しいと思います。

今2つ取り上げた分は、自然とかそして先人の生きざまを映す場所とか、そういうところでございますから、特に今推進しておりますジオパーク構想にもすごく近いもんがあると、そういうふうにも考えます。

こういう運用をいつやるかということですが、今のはやりの言葉で言うと今でしょうということになるんですが、今とは言いませんがそろそろそういう時期が近づいているんじゃないかなというふうな感触を受けますし、またその文化保存会の方たちもそういうことを話に出して、いろいろされてます。ということは、機運が少し高まってきているんじゃないかなというふうなそういう印象を受けますので、ひとつどうぞご一考いただきたいと思います。

では、続いて、2番目の西予市ファンづくり事業についてちょっと質問をさせていただきます。

私は、この事業というのはとっても魅力を感じております。また、楽しみにしている一人なのでございますが、今年度の新規事業ですから、まだ取り組み始めたところだと思います。いま一度、本事業の目的をお尋ねいたします。事業予算もあわせてお願いいたします。

議長 九鬼副市長。

九鬼副市長 それでは、この関係は私のほうから答弁をさせていただきます。

まず、この事業の目的ということでございますが、この事業は今年度からスタートしております市単独の緊急経済対策の一つとして取り組むものであります。市内の物、人、事、あらゆる魅力を全国へ発信し西予市のファンを拡大して、ひいては市内の1次産業や観光、物産産業の活性化につながればという思いで取り組むものでございます。

金額というふうなお話がありましたので、今予定しております進行状況、運用状況についてちょっとご報告させていただきます。

まず、この8月に昨日も出てまいりましたけれども、西予市の物売り込むためにということで、東京の東京ビッグサイトで開催されます日本最大級の外食産業見本市インターフードジャパン、ここに西予市のブースを構えまして、市内の事業者現在7社が決まっておりますが、出展をしていただいて今後の販路拡大と、それにつなげるために商談を行っていただくということの予定をしております。

さらに、10月からは都内の飲食店、それから12月からは愛媛県のアンテナショップでありますせとうち旬彩館で、それぞれ3カ月間の長期間にわたって西予市フェアを開催いたしまして、市産品を利用したオリジナルのメニューの提供、さらには市内の物産の販売を促進していきたいというふうに思っております。

それにあわせまして、市長のトップセールスといったことも含めまして、ネーミングとしてファンミーティングというふうなことでつけておりますけれども、西予市に関心を持っていただいた方と市長が直接その場で対話をしたりして西予市の魅力をアピールしたいと、そういったことも検討いたしております。

さらに、人と物、次にその魅力を伝える手法といたしまして、8月からは年数回程度、県外で市内の生産者の方々や物づくりに携わってるの方々、直接都会の住民の方々とワークショップと申しますか話し合い、直接話し合いをして交流会を持つといったようなものも計画中であります。生産者の方みずからが生産物に対する思いなどを直接消費者に訴えていただくといったようなことをもって、今後の市産品の振興や交流人口の拡大につな

げればというふうに考えております。

ちなみに金額でいいますと、今年度当初予算、総事業費525万円を計上しているところでございます。

以上であります。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 ありがとうございます。

短期間ですけど、道筋をつけられて計画をつくられてるというのが今わかりました。

特に、市長がトップセールスで対話をしていく、西予市に興味を持っている人と直接話をしていく、こういうことは非常に積極的にやっていただきたい、そういうふうに思います。

人柄とか国柄とかとよう言いますね。昔でしたら、お国はどちらですかと聞かれたら、私は伊予の南予の西予ですというような答えを言ったと思うんですけど、今国といたら日本国、ほかの国なると思いますが、今この町柄とか西予市の市柄いうんですかね、ちょっと言葉わかりませんが、そういうことが確立していくということが大変西予市のファンをつくるのに基礎になると思うんです。そういう意味でも、さっきのような対話とか、また1次産業が主体の地域ですから、この大自然は十分与えていただいておりますから、この市には、そして、その大自然と共生しそこに生かされて育てられているという、そしてそのことにみんなが感謝してその自然に恩返しをしていこうという、そういう気持ちを持って市民が活動し生活しているという、そういう場面を表現していくとか体現していくということが、西予市のファンをつくっていく、そういうもとなるんじゃないかなというふうに思います。そういう目標を意識しつつファンづくり事業を進めていただきたいなあというふうに思います。

ジオパークもこれもいい、そしてせい坊もPRするにはいいと思うんですが、やっぱりもう一つできたら全国ネットの人物、西予市に縁のあるまたは西予市の出身者、そういう広告塔を探し出すとかつくっていくとかという、そういうこともあわせて並行して取り組んでいただいたら大変いいなあと思うんです。そういう広告塔をつくっていくというようなことに関しては、どう思われますでしょうか。ちょっとご意見お伺いいたします。

議長 九鬼副市長。

九鬼副市長 議員のご指摘のとおりだと思いま

すし、我々も何かそういう全国的に有名な方があって西予市をPRできればと思っておりまして、具体的には今お伊ネさんですか敬作とかいろんなそういうことで取り組んでいる状況でありますけれども、なおこういう物を買ったり西予市を知っていただくという上で、そういう全国にしっかりとPRできるような広告塔になっていただけるような方、今からも研究をしてまたご支援をいただく方を探していきたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 大変しみな答弁をいただきましてありがとうございます。

では、続きましてもう3番目になりますが、公共交通についてということで質問をさせていただきます。

ただいまこの新病院が建設されておまして、私はその場所の横を毎日通っております。その横を通ると大変大きなクレーンが目飛び込んでまいります。さあ、いよいよこの整備が、中身が充実したこの医療施設がいよいよできるんだということで、大変わくわくしながら毎日その横を運転しているわけですけど、この昨年の9月の定例会のときに私は質問しまして、そうしたら答弁のほうで、公共交通のバス路線については新病院開院にあわせて再構築していきますと、そういうふうに答弁がありました。そして、その上で地域のより多くの人からより深く細かく意見を聞いて進めていきたいんですという、そういう答弁もございました。それから、去年の秋ですから、去年の秋にそういうことをスタートされたと思うんですけど、その辺の進みぐあい、そういうことをちょっと教えていただけませんか。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今ほどのご質問についてお答えをいたします。

まず、再構築の状況でございますけれども、宇和地区の路線バス、路線バスといいますのは宇和島自動でございますけれども、この路線バスが各地区から宇和島の自動車卯之町営業所を経まして現在のところ宇和病院まで行っているということでございますが、これを交渉をいたしまして新市立病院まで延長していただくということになっております。

そして、宇和地区を運行しております西予市の

生活交通路線バス、宇和の福祉バス、100円バスでございますけれども、田之筋伊賀上地区線、そして下宇和明間地区線、この2線でございますけれども、この路線につきましては、今宇和病院まで行っておるのを新市立病院までこれを路線延長をするということにしております。

そして、この料金につきましては、現在100円均一に運行しておるところですけれども、今惣川のほうとかもう既にやっておるところもあるんですけれども、そこの西予市の生活交通バス条例をつくっておりますけれども、それに基づいて10キロまでを100円、10キロを超えたらまた100円上乗せになるというような料金体系を考えております。

多田、中川や岩木地区、これはその福祉バスが走っておりますけれども、ここはデマンド利用者の方に、地区路線を限定して走るバスではなくて、予約によってそこの家の近くまでいくと、そういうデマンド乗り合いタクシーバス、そういうような計画をいたしております。

これにつきましては、西予市全体につきまして、先ほど議員さん言われましたように、今年の9月議会のときにお答えしましたように、そのときに利用者についても聞いてほしいというようなことも言っていました。早速12月にアンケート、直接75歳の方、そういう方が一番よく乗られるということで、宇和町内の約3,100人ぐらいおられますけれども対象者、そのうちの2,000人に対してアンケート調査を区長さん、老人会、そして直接バスにアンケート票を乗せまして、そしてアンケートをいたしました。その辺の意見もお聞きしますと、やはり乗りおりを自由にしてほしいとか近くまで来てほしいとかというような意見もありましたので、そういうことも含めましてさっきも言いましたように多田、中川、岩木方面についてはデマンドの予約制のバスを走らせる、バスというかジャンボタクシーですね、そういうのを走らすというような計画をただいま進めているところでございます。

以上、答弁といたします。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 大分計画が進んでおるようで、大変うれしく思います。

また、アンケート等をとられて住民の方の利用するであろうという方たちのご意見を徴集された

ということ、大変よかったんじゃないかなと思います。

今、宇和町分はそうですけど、明浜とか三瓶、この3町が主にこの新病院を使われると思います。この明浜町、三瓶のあたりのことは進んでいるんでしょうか。お答えください。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今のご質問についてお答えをいたします。

先ほど、最初のとき言いましたように、今病院まで走っているのは、明浜のほうからは俵津車庫前から宇和病院が走っております。これを新市立病院まで延長するという。それから、三瓶につきましては、今三瓶から歴史博物館まで走っている線を下松葉から新市立病院まで回しまして、そしてその後歴史文化博物館まで運行するというようにしております。

そして、それとまたちょっと見直しをいたしまして、今4便あると思うんですけれどもそれを5便に増便するというような協議も宇和島自動としているところでございます。

以上、答弁といたします。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 今、明浜、三瓶のほうは宇和島自動バスの路線のバスのコースを少し変更させて便利な方向に持っていくという、そういう答弁で理解しましたが、路線とかそれから時刻とか、そういうのは大変万人に合わずというのは難しいと思うんです。ですから、大変苦労されると思うんですけど、とにかく進めていきながらまた不備なところが出てくればそこでタイムリーに対応していくという、そういう姿勢で臨んでいただきたいなと、そういうふうに思います。よろしく願います。

では、最後になりましたが、質問を進めます。

市行政連絡についてということで、市からのいろんな情報伝達、そういうことは各地区、各戸へいろんな手段があると思いますが、今市行政の情報連絡手段としてどういうものを活用されているかご答弁ください。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今のご質問にお答えします前に、先ほどの説明不足がありましたので、ちょっと追加させていただきたいと思いますが、料金でございます。料金は、宇和島自動路線バス料金

が、これは宇和島自動のほうで料金を決められとるということでございますけれども、それに対するその三瓶、明浜から来られる方、乗られる方、そして市立病院のほうに利用していただく方についての軽減措置、補助なんかも今検討をしているところでございますので、それもつけ加えさせていただきますと思います。

今、地区の各戸への伝達方法、どのようなルートや手段で周知をしているかというご質問でございますが、市からの各地区及び各戸への周知、連絡につきましては基本といたしまして、市の行政連絡協議会における行政連絡員、いわゆる区長さんや組長さんをお願いをいたしておりますけれども、この行政連絡員を通じての広報紙、チラシ等の配布、回覧により行っております。

西予市行政連絡協議会規約では、第2条において、市政への協力と市政進展に寄与するとともに、相互の親睦と緊密な連絡調整により地域の発展を図ることを同協議会の目的として定めており、各区長さん等とは業務委託契約を締結し、行政連絡業務にご協力をいただいているところでございます。

また、文書以外の方法といたしましては、行政防災無線による放送、あるいは市のホームページの掲載により行っているところでございます。

以上、答弁といたします。

議長 3番菊池純一君。

3番菊池純一君 その連絡協議会を通じてということでございますが、まずそれぞれの地域のことを考えますと、区長さんといわれる方がおられて、この方が本当に最前線でやられてる、そういう状態なんです。これは、もうおわかりやと思うんですけど、区長というのは大変大役でございます、私が区長やりたいという人はなかなかないというのが現状のようでございます。大体仕事を持った人が多くて、最初は仕事もあるしなかなか私ではというふうにお断りされるんですけど、地域への恩返しで受けたらしっかりやりますよということで、受けられて一生懸命活動されてる、そういうのを私は目の当たりにするんですが。

先日、市長がこの区長会はとってもこの市にとって大切な組織であるというふうに言われました。本当にこの区長という役というか、この役は大役というか、そういうことを踏まえてこの区長さんに連絡協議会から連絡がおりてきて区長さん

がまたその地域の区長会とかでいろいろ協議とかして連絡を受ける、そしてそれを地区に持ち帰って、うちのほうでいうたら組長さんとかそういう方を通じて各戸へ連絡するとか、そういうシステムになっておると思います。

そこで、これ例えが悪いかもしれませんが、伝言ゲームというのがありますが、最初は誰々何とか言って10人ほど通して、10人で答えを言ったらかなりおもしろい答えが、全く見当外れの答えが出るような、これはゲームですけど、たださっきも言ったように区長さんは非常に仕事を持って多忙ですし、なかなか時間に追われてやろうと思うこともやれない人もいると思うんです。ですから、かなりやる姿勢とかそういうことに温度差が出てくると思いますんで、できたら各戸へきちんとその情報が通じてるか、そしてわかりやすく通じてるか、そういうことを後方支援をするような、そういう手だてはないものかなというふうにいつも私は考えるんですが。

これは、住宅リフォーム工事の一部を補助しますというリーフレットなんです。これが回覧板に入っております。全戸来たと思います。今年度の新しい事業で、西予市内の業者で、そして住宅部分のリフォームをすることに対して補助しますからどうぞ活用してくださいよと、そういうチラシなんです。その条件とか、そう書いてあるんです。そして、そのほかに住宅に関する補助はこういうことがありますよということも書いてあるんです。そして、窓口は林業課ですよ、下水道課ですよということが書いてあるんです。そんなにたくさん保険の説明書みたいに細かいことじゃなくて、そこそこ見たらああなるほどなということがわかると思うんです。簡単ですけど非常に情報が詰まった、こういうのは非常にまた活用していただきたいなあ、こういうふう思うわけなんです。ちょっと前に知人宅でピザ釜がつくられて、そのお披露目をやるということで呼ばれたんです。そして、そのとき行ったら、80近い人もご夫婦で来られたり、近所の方も来られてました。和気あいあい楽しい時間を過ごしたわけなんですけど、そんなときにその80歳近い男性の人ですけど、この人はいろんな役をやったり広い知識を持っている人なんです。その人が、市の話になって、この前市のほうから広報とかハザードマップとかいろんなものが来たよと。あれいろいろ見よ

るんやけど、今ごろはわしも年とったんが知らんけど、横文字やらどうしても理解できんことが多うて読むの嫌になってくるというようなことを言われるんです。みんながみんなそうじゃないと思うんですけど、私が知る限りあの人があることを言うかなと思って、ちょっと意外に思ったんです。

サラリーマン川柳の中に「デジカメの餌は何だと孫に聞く」というのを見て、私大笑いしたんですけど。これ、他人事じゃないかなと思って。本当、確かに今横文字自体が、そのことをあらわすこととして成り立っていることも多いんですけど、ただとできるだけ相手の顔を意識しながらそういう連絡方法をつくってほしいなというふうと思うんです。これちっちゃなことですけど、そういうちょっとしたことで随分市民の方が市政に対しても自分の生活に対しても意欲的に取り組まれていくような、ちょっとしたことになるんじゃないかなと、そういうふうと思います。

では、この市行政連絡についてはそういうお願いを最後にいたしまして、これで私の質問を終らせていただきます。ありがとうございました。

議長 次に、4番田中徳博君。

4番田中徳博君 議席番号4番田中です。

議長の許可をいただきまして、一括方式での一般質問をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

まず、第1に窓口対応について。

市民に対する対応について、どのような教育や指導をなされているか。

民間では、応対コンテストやコンシェルジュ等の資格試験や、それに伴うスキル手当の支給等で対応のさらなる向上を目指されておりますが、西予市でも検討していただいたらどうかと思っております。

2、商工観光について。

合併10周年を迎えてのイベントとして、何か企画されているか。先日源議員の質問で、副市長の答弁がありました。何やらオブラートに包まれておりまして、具体的な案がわかりませんでした。ぜひ、具体的な案がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

来月に控えているジオパーク認定の審査についての対策として何か考えられているかどうか。

一般からのアイデアの公募等はどうされてい

るか。

3番、有害獣対策について。

駆除の推移はどうなっているか。

箱わなの貸与状況はどうなっているか。

最近騒がれている鹿の侵入についての把握をされているかどうか。

なぜイノシシの箱わなだけ貸与し、ハクビシン、タヌキ等に対する対策はないのか。

4番として、その他。

エリアメールの活用とその周知についてお聞かせ願いたいと思います。よろしくをお願いします。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 それでは、私のほうから田中議員の1番目と2番目の窓口対応についてのご質問についてお答えをいたします。

議員ご指摘のとおり、市職員は市民の方々を初め全ての方に対して、誠実かつ公平に職務を遂行しなければなりません。特に、高齢者やさまざまな障害を持たれている方が利用される福祉サービスの窓口等におきましては、相手の立場になって明るく丁寧でわかりやすい、きめ細かな対応を心がける必要があると考えております。

また、相手の話をよく聞き、来庁目的を的確に把握することによって、1カ所でスムーズな手続等ができるいわゆるワンストップサービスによる柔軟な対応にも心がけることも求められております。

当市では、平成17年度から全職員を対象とした接遇研修、コミュニケーション研修を実施いたしております。接遇研修では、住民サービスを基本とした接客マナー、電話対応に重点を置いた実践研修を実施いたしております。また、毎年、新規採用職員を対象に接遇研修と電話対応コンクールへの参加に取り組んでまいっております。

私たち職員一人一人が、市民の気持ちになって接することの大切さ、対応方法を学びその成果を日々の業務に生かすことによって、身近な市役所としての信頼関係を確立していきたいと考えておりますので、今後ともご指導をいただきますようお願いを申し上げます。

2つ目の、資格取得に伴うスキル手当の支給等につきましてお答えをいたします。

まず、職員の手当については、地方自治法第204条において支給できる手当が限定されており、条例で定める必要があります。中でも、特殊

勤務手当は著しく困難、危険、不快または不健康な勤務、その他の通常にない勤務であることとあわせて、その特殊性を給料で考慮することが適当でない場合に、特別手当として支給されるものとなっております。

当市では、平成18年度に愛媛県からの指導により、国にない手当、重複する手当、月額による特殊勤務手当の見直しが求められ、それに伴い7つの特殊勤務手当を廃止し、2つの特殊勤務手当の額を縮小した経緯がございます。

市役所の顔でもある、窓口での受け答えが大変重要であるということは言うまでもありませんけれども、一般的な窓口での対応能力は市職員としての当然有すべきものであり、給料の中に含まれているものと認識をいたしております。したがって、窓口対応業務が特殊勤務手当の対象として認められない以上、スキル手当の導入は考えられないところでございます。

しかしながら、資格の取得等にチャレンジする前向きな職員に対しましては、人事評価制度の中で評価をすることが可能となっております。人事評価制度の仕組みを活用するとともに、今後も継続して研修を重ねることにより職員の能力及び応対力のアップを図ってまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

議長 福原産業建設部長。

福原産業建設部長 私のほうから、商工観光についてと有害獣の対策についてについてお答えをいたします。

まず、商工観光について、1点目の合併10周年を迎えるに当たってのイベント企画でございますが、商工観光面における当面の予定としましては、これも昨日からたびたび出てます官民連携ということになるかとも思いますが、西予市商工会青年部宇和支部が主催して、今や全国的にも有名となっております雑巾がけグランプリの大会記録をギネスに認定するため、現在主催者側で準備を進めておられまして、これにつきまして市としても支援をしているところでございます。うまくいけば、来年の記録が認定されるということになります。それが登録できるかどうかについて今申請中ということでもあります。

また、来年度は卯之町の町並みが、重要伝統的建造物群保存地区に選定されて5周年になります。

市制10周年、重伝建選定5周年を記念して、地区住民の皆様と行政とが連携して、シンポジウム等も企画したいと考えております。

そのほか、各地域で行われております既存のイベント等につきましても、10周年にふさわしい形で実行委員会等の連携の上、実施してまいりたいと考えているところでございますし、ジオパークがもし認定の暁になれば、またそれを踏まえた行動も起こせるのではないかとというふうに考えておりますが、いいアイデアがございましたらまた教えていただけましたらと思います。

続きまして、ジオパーク認定の現地審査対策についてとのご質問でございますが、去る5月の千葉県での公開プレゼンテーションに続きまして、いよいよ来月には3名の審査員がお見えになる予定です。

審査内容は、現場視察も当然ありますが、むしろ関係者の取り組み状況、考え方についての確認、関係者の意見交換等に比重が置かれているようで、審査当日には教育関係者、市民団体、商工観光関連組織、ジオガイド関係者というそれぞれのくくりで別々に集まっていたくよう審査員から指示を受けております。現在、審査員の印象に残る効果的な情報発信が行えるよう、市内関係者等への出席のお願いも含めて調整をしているところでございます。

3点目のジオパークに関してのアイデア公募についてでございますが、ジオパーク構想は西予市全域をその範囲としており、現在設定しているジオポイントも100カ所以上存在し、今後も地域の宝物を探す市民活動によって、これはふえていくことが予想されます。ジオパーク活動が持続可能なものとなるためには、行政と市民の役割分担が不可欠だと思います。

さまざまな柔軟な発想、地域や団体で実施に向けて具体化していただき、これがジオパークの理念と合致するものであれば行政はそれに対する支援や協働による推進をしていくという仕組みをつくっていくことが、それぞれ官民協働によるジオパーク全体の底上げと地域振興につながるものだと考えているところでございます。

そういうことで、今後公募すべき事案や自主的な取り組みへの支援などにつきまして、検討を進めていく所存でございます。

次に、有害獣対策についてお答えをいたしま

す。

まず、駆除の推移でございますが、22年度から24年度までの捕獲頭数について、代表的なものを取り上げて述べてみたいと思います。

まず、22、23、24と順番に申し上げます。イノシシですが、1,018、1,146、1,156頭となっております。ニホンジカ、3,20、18。タヌキ、11、166、215。ハクビシン、4、18、44。猿、1、1、5。代表的なものとしてそういうふうに推移をいたしております。

2件目の箱わなの貸与状況につきましては、西予市鳥獣害被害防止対策協議会より平成21年度から平成24年度までにイノシシを箱わな合計185基の貸し出しを行っています。

次に、鹿の侵入の掌握でございますが、市内での目撃、捕獲例が市の南部の市町村境に集中している状況であります。一部城川、野村あたりでは、町内中心部でも聞こえてきますけども、ちなみに宇和島市の平成24年度捕獲数が880頭、ことしは2カ月で既に400頭ぐらいと聞いております。大洲市の平成24年度の捕獲数が4頭ということもあり、市の担当に入っている情報からの判断ですが、西予市南部の市町村境で今のところ鹿の侵入はある程度食い止めていることができているのではないかとこのように考えております。しかし、西予市でもこの2カ年の捕獲数は先ほど申しましたように毎年20頭前後となっております、これは捕獲した頭数ですから鹿の数は倍増すると聞いておりますので、十分な警戒が必要であると考えております。

次、イノシシの箱わなだけ貸与して、ハクビシンやタヌキには貸与しないのかということでございますが、先ほどお答えしましたように、これまで有害獣被害の中でもとりわけイノシシによる被害が全体に占める割合として圧倒的に高く、喫緊の課題として箱わなの整備による捕獲及び捕獲者確保のための狩猟免許取得支援を行っており、現在まで整備した箱わなにつきましては全てイノシシ用のもので、ハクビシン、タヌキまでは対応できておりませんでした。

現在、平成21年からの4年間でイノシシ用箱わなにつきましては相当数整備されたことから今後はハクビシン、タヌキ等に対応した小動物用の箱わな導入についても西予市鳥獣被害防止対策協

議会で検討することとしておりますので、よろしくお願いたします。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 私のほうからご質問の最後の、エリアメールの活用と周知についてのご質問についてお答えをいたします。

まず、エリアメールという表現はNTTドコモのサービスですので、KDDI、ソフトバンクを含んだ緊急速報メールとして回答させていただきたいと思っております。

このサービスは、市内の対応携帯電話に緊急情報を一斉配信するものでございます。市では平成24年5月1日から導入をいたしております。

発信内容は、緊急避難指示、避難勧告、津波、大津波警報、国民保護情報など命に直結する内容に限定をしております。事前登録は基本的に必要なく、受信料も無料でございます。

配信の方法は、現在は危機管理課でパソコンに配信内容を打ち込み、電話会社に送信後それぞれの会社から配信をすることになります。

これまでに、平成24年4月26日に愛媛新聞に掲載していただき、広報紙では5月号またホームページで配信が始まったことの情報を広報したところでございます。配信サービスを開始いたしまして1年になりますけれども、これまでに配信を行う事案は発生いたしておりません。

また、個人の携帯までのテスト配信についても行っていないところでございます。これは、対応している機種については、携帯電話のメーカーでないとわからない状況があること、テストとはいいながら混乱を招く可能性があること、また市内にいる全ての方にメールが配信されることにより、外部からその日市内に入っている人にも配信されることになり、前もってテスト配信の周知が難しいことなどにより実施をしていない状況でございます。

ただ、配信先を限定してのテスト配信、電話会社までのテスト配信訓練は随時行っております。電話会社から個々への配信は、既にさまざまな情報サービスが行われておりますので、間違いなく配信されるものと考えております。

今年度から予算化されております野村町のデジタル化対応の防災行政無線の更新に当たりまして、今回補正をお願いしておりますが、国庫補助

の取り組みで緊急速報メールの自動起動化を計画しております。これは、Jアラートで発信された情報が自動的にエリアメール、自動メールに発信されるというものでございますが、これにより緊急地震速報、大津波警報のような一刻を争う情報を自動的に配信できるようになります。ご指摘のとおり、有効な活用が必要であると認識しております。今後は、訓練等における活用についても検討してまいりたいと思っております。市民に対しての周知についても、繰り返して行っていくことが必要でございます。

また、あわせて受信を確認した方から周辺の方への情報提供など、実際に事案が発生した場合の対応方法等、生きた情報にするための広報にも今後努めてまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

議長 4番田中徳博君。

4番田中徳博君 いろいろな答弁、ありがとうございました。

まず、1番目の質問に対して、ワンストップサービスとか接遇サービス向上に努められとるということで、一部は安心しておりますが、ただ私、残念なことに最近3件の苦情を耳にすることがありました。皆さん家族の方に障害を持たれとる方がおられ、苦勞されておりました。窓口にご相談にいられたと、そうすると担当の方からできませんそれはできませんと、できませんの連発をいただいたとか、担当が再々かわりそのたんび同じ説明をしなかったらいかん。あげくの果てに、管轄ではないのでこちらではできませんとか、また投書をしたけど何の返事もないとか、そういった苦情また憤りを耳にしました。ただ、これが氷山の一角かとちょっと危惧してはありましたが、称賛の声も多々耳にしました。

市民は、皆さん困って、用事があるって市役所へ来ておると思います。そこでこういった言葉をかけていただくか、これによって市民の感情等もかなり変わってくるもんがあると思います。言葉は使い方によっては、笑いもとれるし逆に怒りにもつながるといったことで、職員の対応のスキルによって変わってくると思います。

私も昔、対応コンテストとかというかそういう研修を受けました。イエスパット法というのがありました。イエス、要は来られた方の意見を全部肯定すると、十分にお話をお聞きしてそうですね

と、大変でしたねと共感をし、でも市役所としてはこういう現状になっておりまして、これから先についてはちょっといたしかねますと。そういったやわらかい対応によってある程度市民の方の不満とか憤り等も少しおさまるのではないかと思います。

職員の方々をお願いしたいのは、自分の大切な家族が困り果てて市役所に相談に来たと、そのときどうされますか。皆さん、できませんとは言わなくてどうすればできるか、少しでもどうすればよくなるかと考えていただくと思うんです。こういった心根で市民に対しての対応をしてほしいと思います。

次に、商工観光のほうですが、実は法華津峠の清掃にちょっとかかわっておりまして、枯れた大きな松がありました。その松を切って、何とか像を彫って何か役に立たないかなと。国立公園の管轄でありますので、新たな構築物とかは手続等が難しくなりますが、現在そこにあるもの、それも枯れた松の根を撤去するとか、そういった分でありますので何とか利用をしたいと。そこへ例えば、お伊ネさんとか敬作の像を彫って、長崎方向へ向けて彫ってそういう市民の動きとしてアピールできたらなど、そういったことも考えております。

また、ジオパーク認定に対しても、各地区にのろし台があります。そこからのろし筒を上げてイタリヤでありましたコンクラーベ、そのときに白いのろしだとまだ決まっていないと、ピンクののろしが上がると決まったとか、何かそういうのをニュースで耳にしました。こういったことも、コストが安くできるんじゃないかなろうかと思っております。

はたまた、Z-1ギネス認定と、これはうれしいことだと思っております。私もかねがねあそこへ座布団を敷いて、座禅で端から端までずっと並んでいただいて、こういった分もイベントを起こし、またギネスに申請してみてもどうかとか、いろんなことを考えました。

次に、有害獣。実は私、猟友会へ入っております。ということで、箱わなだけなんですけど、市の補助をいただいて資格を取り、ことし更新をしました。それで、実際のそのイノシシに対する箱わなですね、最初はちょっとサイズが小さかったです。それが、新しいタイプで大きくなって配布さ

れたようです。

ただ、箱わなはかなり難しいです。箱わなにかなりの金額を投資して配布しても、なかなか効果が上がりにくい。猟友会の方が捕られる方は、自分で製作されたもっと現実的な分で結構成果を上げられとる方もおられます。そういった中で、ハクビシン、タヌキ等の小型の獣に対する分をつくっていただいたら、心情的にですよ、子や孫に野菜をつくって食べさせたいと、それらがやられてしまったとか。イノシシ等は、危険も伴います。ただ、ハクビシンとかタヌキ等は、まだ危険性が低いです。ということで、安全ということで手近にやれるのではなかろうかと思っております。

先ほどのエリアメール、緊急情報提供です。これは、ぜひ活用してほしいといった思いで、ここへ一般質問として挙げました。

あと、着信拒否とかされてる方もおられますので、そこを十分に説明していただいて、できるだけ有用性をアピールしてほしいと思っております。

あと、有害鳥獣等のソフト的な提案として、例えばこの間雑誌で読んだんですが、トウモロコシ等の収穫前、7日から10日前にコショウを2振りほどしておく、そうするとカラスとかハクビシンが嫌がって食害が減ったとか。そういった簡単な有効的な民間情報ですね、こういった分もぜひ市のほうからそういう農作物をつくれとる方に知らせてあげるとか、そういった対応もしてほしいと思います。

これで一般質問を終わります。答弁は要りませんので、これで終了します。どうもありがとうございました。

議長 以上で一般質問を終結いたします。

本日の日程は全て終了いたしました。

明日6月20日は午前9時より質疑を行います。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午前10時18分

平成25年第2回西予市議会定例会会議録(第4号)

1.招集年月日	平成25年6月20日	消防本部消防長	菊池直
1.招集の場所	西予市議会議場	総務課長	宗正弘
1.開議	平成25年6月20日
午前9時00分	財政課長	道山升文
		企画調整課長	浅野信也
1.散会	平成25年6月20日
午前9時43分	1.本会議に職務のため出席した者の職氏名	
		事務局長	井関通夫
1.出席議員		議事係	佐藤陽一郎
1番	源正樹	1.議事日程	別紙のとおり
2番	井関陽一	1.会議に付した事件	別紙のとおり
3番	菊池純一	1.会議の経過	別紙のとおり
4番	田中徳博		
5番	中村敬治		
6番	二宮一朗		
7番	兵頭学		
8番	小野正昭		
9番	松山清		
10番	宇都宮明宏		
12番	元親孝志		
13番	沖野健三		
14番	森川一義		
15番	藤井朝廣		
16番	浅野忠昭		
17番	岡山清秋		
18番	酒井宇之吉		
19番	兵頭勇		
20番	山本昭義		
21番	梅川光俊		
1.欠席議員			
11番	松島義幸		
1.地方自治法第121条により			

説明のため出席した者の職氏名

市	長	三好幹二				
副市	長	九鬼則夫				
教	育	長 宇都宮又重				
公	営	企	業	部	長	平野松市
会	計	管	理	者	井上謙二	
総	務	企	画	部	長	河野敏雅
産	業	建	設	部	長	福原純一
生	活	福	祉	部	長	三好幸二
教	育	部	長	内藤利明		
明	浜	支	所	長	宇都宮松夫	
野	村	支	所	長	井上尚喜	
城	川	支	所	長	徳居隆利	
三	瓶	支	所	長	西園寺良徳	

議 事 日 程

- 1 議案第71号 西予市災害派遣手当の支給
に関する条例の一部を改正
する条例制定について
議案第72号 西予市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例制定
について
議案第73号 西予市過疎地域自立促進計
画の変更について
議案第74号 辺地に係る公共的施設総合
整備計画の策定について
- 2 議案第75号 平成25年度西予市一般会
計補正予算(第1号)
- 3 議案第76号 平成25年度西予市授産場
特別会計補正予算(第1
号)
議案第77号 平成25年度西予市国民健
康保険特別会計補正予算
(第1号)
議案第78号 平成25年度西予市後期高
齢者医療特別会計補正予算
(第1号)
議案第79号 平成25年度西予市介護保
険特別会計補正予算(第1
号)
議案第80号 平成25年度西予市農業集
落排水事業特別会計補正予
算(第1号)
議案第81号 平成25年度西予市公共下
水道事業特別会計補正予算
(第1号)
議案第82号 平成25年度西予市簡易水
道事業特別会計補正予算
(第1号)
議案第83号 平成25年度西予市上水道
事業会計補正予算(第1
号)
議案第84号 平成25年度西予市病院事
業会計補正予算(第1
号)
- 4 請願第 1号 産業廃棄物処理施設建設反
対を求める請願書
- 5 陳情第 2号 年金2.5%の削減中止を
求める陳情

本日の会議に付した事件

- 1 議案第71号 西予市災害派遣手当の支給
に関する条例の一部を改正
する条例制定について
- 議案第72号 西予市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例制定
について
- 議案第73号 西予市過疎地域自立促進計
画の変更について
- 議案第74号 辺地に係る公共的施設総合
整備計画の策定について
- 2 議案第75号 平成25年度西予市一般会
計補正予算(第1号)
- 3 議案第76号 平成25年度西予市授産場
特別会計補正予算(第1
号)
- 議案第77号 平成25年度西予市国民健
康保険特別会計補正予算
(第1号)
- 議案第78号 平成25年度西予市後期高
齢者医療特別会計補正予算
(第1号)
- 議案第79号 平成25年度西予市介護保
険特別会計補正予算(第1
号)
- 議案第80号 平成25年度西予市農業集
落排水事業特別会計補正予
算(第1号)
- 議案第81号 平成25年度西予市公共下
水道事業特別会計補正予算
(第1号)
- 議案第82号 平成25年度西予市簡易水
道事業特別会計補正予算
(第1号)
- 議案第83号 平成25年度西予市上水道
事業会計補正予算(第1
号)
- 議案第84号 平成25年度西予市病院事
業会計補正予算(第1
号)
- 4 請願第1号 産業廃棄物処理施設建設反
対を求める請願書
- 5 陳情第2号 年金2.5%の削減中止を
求める陳情

開議 午前9時00分

議長 おはようございます。

ただいまの出席議員は20名であります。これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

昨日、小野正昭君から6月18日の一般質問における発言について、会議規則第65条の規定により、お手元に配付いたしました発言取り消し申出書に記載した部分を取り消したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。

これを許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 異議なしと認めます。よって、小野正昭君からの発言取り消しの申し出を許可することに決定いたしました。

平野公営企業部長。

平野公営企業部長 18日の一般質問における小野議員からの安全・安心な水道水の給水についてのご質問の中で、水質検査の結果をどのように市民に公表しているのかとの関連質問に対する答弁につきまして、一部補足説明をさせていただきます。

水質検査の結果につきましては、本庁及び各支所の掲示板において閲覧に供する告示を行い情報提供しているとの答弁をさせていただいたところであり、その告示しております内容についてありますが、その内容は水質検査結果の対象月、閲覧場所、閲覧期間の3項目について告示をしているところでございます。閲覧場所につきましては、現在西予市公営企業部水道課といたしてあり、今後におきましては、容易に市民の皆様へ情報提供できるよう閲覧できる書面の内容や条件等を踏まえ、可能な範囲で各支所の担当課においても閲覧できるように改善していきたいと考えております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

議長 ただいまから議案順に質疑を行います。質疑は大綱の質疑のみをお願いいたします。

(日程1)

議長 それでは、日程第1、議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」から議案第74号「辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定につい

て」までの4件を一括議題といたします。

酒井議員。

18番酒井宇之吉君 議案第72号についてお尋ねいたします。

先般の全協の中で、国民健康保険税の値上がりについて概要が説明ございました。議会の中では、全協という形で説明はございましたけれどもこの本議会で、今まで私も厚生常任委員長を2回やっております中でも、いつかはこういうことになるということは想定いたしておりましたけれども、この少子・高齢化の中でこの概要、背景、そして今後、この3点についてご説明願って、この条例改正についての保険税の値上げについての説明を市民にこの本議会で説明をしていただいたらと、かように思いますので、よろしく願い申し上げます。

議長 ちょっと失礼いたしました。訂正させていただきます。

続きまして、ちょっと1点言い忘れておりまして、言わせていただきます。

まず、議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」及び議案第72号「西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」の2件に対する一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

18番酒井宇之吉君。

18番酒井宇之吉君 ただいまの訂正がありましたけれども、先ほど私が質問した件につきましてひとつご回答をお願いします。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 ただいまの酒井議員からのご質問に対してお答えさせていただきます。

先般の全員協議会の中では、そういったことを一応る説明させていただきましたけれども、改めてこの本席議場におきまして説明をさせていただきたいというふうに思います。

まず、この国保税の改正に至った背景でございますけれども、高齢化率の上昇に伴い、1人当たりの医療費の増加傾向に加えまして、景気の低迷等も重なりまして、国保税収の減少傾向によって、当市の国保財政は単年度収支が赤字になってきております。

その全員協議会の折にもご説明申し上げましたけれども、単年度で1,300万円から7,000

万円前後の赤字が単年度収支の中で発生をいたしております。そういった状況がありましたので、これは本来の国保財政の運用の中では好ましくない傾向であるというふうなことで、今回改めまして、国保税の改正の提案をさせていただいたというふうなことでございます。

それから、今後ということでございますけども、この国保税の改正によりまして、赤字分についての解消につきましてはできるだけというふうに考えておりますけども、場合によると急患とか緊急な季節の条件等で風邪とか、そういったものが発生した場合にはまたそういった財政が厳しくなるというふうなことも考えられますので、県下の状況を追いますと、特に松山市あるいは西条市、そういったところでは増税感を緩和するといえますか、抑制するといえますか、そういったことを一般財源でそういった部分を補填するといったような意味合いの施策がとられているようでございます。したがって、西予市におきましても今回の国保税で改正分で増収となる部分もありますけれども、それ以外にそういった緊急的なときに必要な財源に充てるために一般財源からの補填も今後検討していかなくやならないというふうに思っておりますのでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 18番酒井宇之吉君。

18番酒井宇之吉君 これから少し市長にお尋ねいたしますけれども、明浜の診療所等々が統合整理されますときに、国民保険会計につきましてはやはり独立採算というお考えを持っておられたように記憶しております。

今後高齢化が大きく進む中で、今部長がおっしゃられましたように、やはり一般会計からも持ち入れをしながらやっていくという姿勢が今後出てくるのか。診療所改正のときにつきましては、一般会計から入れていくのは旧町のバランスもあるので、ひとつ平等感がないというようなご意見も出たと思います。このあたりにつきましては、今後やはりこの西予市市民として暮らしていく安心を求めるためには、一般会計からも入れ込んでいって税率だけで間に合う、間に合わせるという考え方に方向転換をしなければいけない、そういう時代に来てるんじゃないかと思うんですけれども、いかがでございましょうか、市長の所見をお尋ね申し上げます。

議長 三好市長。

三好市長 それでは、酒井議員の再質問についてお答えをさせていただきます。

この国保会計というのは、非常に制度的に矛盾が生じておりまして、そういう中でどうしていくかというのが、これは非常に今の時代背景の中では問題になっております。したがって、例えば市町村だけでやるということが非常に難しい時代になっておるといって、全国の市長会、全国町村会においては、県でやるべきだというようなことを今主張されておるのは、そういう社会的な背景がある、ここに矛盾のしわ寄せが来ておるといって制度性の矛盾が来ておるといっては現実だと、このように思っております。

そういう中で、私どもは今回どうしても、西予市の国保会計が非常に毎年赤字を出して一般会計から繰り入れをしておるといっては健全性ではないという中で、ご理解をいただきたいということで、私どもの西予市の審議会にも諮って、そこをそうしなさいよということがありまして、その委員長は松山委員長でございますが、そちらのほうから答申をいただいて、残念ながら引き上げせざるを得ないという現実がここに来たということであろうと、このように思っております。

ただ、今ほど部長も話しましたとおり、これはあくまでも単年度の収支の赤字を解消ということでありまして、やはり季節的に急に例えばインフルエンザがはやると、そのお金は今のところでは恐らく窮するであろうということは私どもも想定しております。したがって、本来はこの国保会計の中で基金が必要であります。大体3億円から5億円ぐらいの西予市の基金を持っておくというのが大切なことだと、このように思っております。したがって、それがありません。したがって、そういうときには一般会計から急遽繰り入れをさせていただくということをもた議会にもお願いをして、そういう緊急のときにはその方法をとらせていただきたい、あるいは少しずつ基金が積み立てできるような流れもつくらせていただきたい、そういう発想をしておるところでございます。その折にはまた議会のほうにご提案をいたしますので、ぜひともご理解のほどよろしく願います。

議長 18番酒井宇之吉君。

18番酒井宇之吉君 市長は、社会福祉保障、

いろいろなものにつきましては国境がないほうがいいといつもご発言をされておりますが、先ほどの答弁の中にもありましたけれども、やはり一自治体が賄える時代ではなくなりつつあるのではないかと、私もそのように存じ上げております。

これからの政治活動そして政治運動として、このようなところを国に働きかけ、そして県に働きかけ、どのような方向性を導くのかお尋ねをいたしまして、私の質問を終わります。

議長 三好市長。

三好市長 今ほどの酒井議員のご質問でございますけれども、私は以前から福祉の国境論を言っております。

福祉は国境があってははいけません。愛媛県の中でもそれぞれ特徴のある福祉をやりたいということで、それぞれやられとりますけれども、隣の町が財政的に豊かなんで福祉をすごく強化しますよとした場合、隣の町はそれを財政的に窮しておるときにはそれができないというのは、これはおかしい。だから、最低限度、愛媛の中ではある程度福祉は同じような状態にやっていくということで、そこに国境の境を求めないというのが、福祉の根本だと思います。だから、私は国境論をないようにする、福祉の国境はないというのを、愛媛県の中での市長会にいろいろのご提案が皆さんがあったときにも手を上げて、国境論をお互いないようにしましょうよと。目立つのはいいけれども、それはおかしいではないかなという話をさせてもいただいております。

また、この国保会計の今までの国、県に対する何らかの働きかけ、政治的な働きかけについては既に愛媛県市長会あるいは四国市長会、全国市長会のほうもこの問題をずっと取り上げて、私一人ではありません、市長会のほうもこの問題を取り上げて国のほうにご提案をずっとやっておるのが全国市長会の活動だと思っておるわけでありまして。その中で今ぶつかっているのは、全国市長会と知事会が考え方がちょっと整理できてないというのは現実だと思っておりますが、しかし流れとしては全国市長会がいう流れになるべきであると、このように思っております。

以上、答弁とします。

議長 次に、議案第73号「西予市過疎地域自立促進計画の変更について」及び議案第74号「辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定につ

いて」の2件に対する一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

(日程2)

議長 次に、日程第2、議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」を議題といたします。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

6番二宮一朗君。

6番二宮一朗君 それでは、1点だけお伺いをいたします。

予算書の一番最後45ページになりますけれども、給食センター建設費296万9,000円。説明の中で、宇和と野村の給食センターの取得予定の不動産鑑定費用というふうにお聞きしておりますが、以前から特に宇和の給食センターにつきましては、老朽化等で早期に新築を求める声が父兄からもあるいは議会のほうからもあったわけですが、その中で今後の給食センターの運営の仕方の中で、各町でやるのか西予市の中でどういう範囲でやるのかという議論があったと思うんですけれども、今回想定されておりますこの宇和と野村の給食センターについて、どのぐらいの規模というか、例えば野村と城川を賄うセンターなのか、そういうところをちょっと教えていただきたいと思っております。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 ただいまのご質問にお答えをさせていただきます。

宇和給食センターの食数につきましては、2,000食を予定いたしております。将来的には、明浜、三瓶地区におきましても学校統合を行いますので、宇和給食センターにつきましては明浜、三瓶地区も対応できる施設を考えております。

野村給食センターにつきましては、800食を予定いたしております。こちらにおきましても、将来的には城川地区も対応できる施設整備というふうにご考えておるところでございます。

以上で答弁とさせていただきます。

議長 19番兵頭勇君。

19番兵頭勇君 1点をお尋ねをいたしたいと思っております。

同じく教育費についてであります。37ページの教育費の中で、野村中学校の学校林造林業務

委託と出ております。これは、どこの位置にあってどのような仕事をされるのか、307万9,000円つとりますが、どこにあるものをやられるんですか、お尋ねをいたします。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 旧惣川中学校が学校林として管理をしておりまして、現在は野村中学校になっておりますが。場所は野村町小屋山国有林でございます。面積が6.89ヘクタールでヒノキを現在植栽をいたしておりますが、ヒノキの成長が不十分であるために今回造林業務として山林を間伐するというところで経費として上げさせていただいております。

以上でございます。

議長 19番兵頭勇君。

19番兵頭勇君 関連になりますが、これ野村の惣川の学校林ということですが、樹齢は何年になるのでしょうか。

また、これは恐らく学校林でありますので、その当時植林をされたときには子どもたちも汗をかいたというふうに思います。そういうことならば、地元及びPTAあたりには了解の上でこうしますよということの上での事業でしょうか、確認をいたします。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 植栽につきましては、昭和43年に植栽をいたしておりますから、それから現在になります。植栽をされてからずっと手入れがされておらなかったために、分収林でありますので今回再契約ということとさせていただきます、間伐を今回させていただくということで計上させていただきました。

議長 兵頭勇君。

19番兵頭勇君 もう一点確認をしますが、これは地元の了解並びにPTAあたりの父兄会あたりの了解の上でやられることでしょうか。再確認をいたします。

議長 兵頭勇君に申し上げます。

質疑は大綱の質疑のみでお願いいたします。

内藤教育部長。

内藤教育部長 現在、もう惣川中学校はなくなっておりますので、PTAからは離れた状態になっておりますので、今回市のほうで対応するという形をとらせていただいております。

議長 三好市長。

三好市長 この件に対しては、私のほうからもちょうとお答えさせていただきます。

ごらんのとおり、これは国の所有地で分収林契約をしております。旧惣川中学校の学校林としてやっておったわけでありまして、今現在この状態でありまして、全て切って国のほうにお渡ししないといけない分収林契約が終了するわけでありまして。だけど、売った場合はマイナスになります。誰か責任とるんだということになりますので、私として、これはもう一回契約をし直して、分収林契約を延長をしてその中で、いわゆる密集で木が育っておりません。今まで手入れがほとんどできておりません。したがって、これを今回の契約の中で間伐をして、しっかりした山として育て将来にわたってそこにしっかりした財が、いわゆる富ができてそうして分収林契約を終了する、そして地元で寄与できるのが一番であろうという発想をいたしました。したがって、地元と云々とするわけじゃありませんが、今地元としたらマイナスとなりますんで、マイナスをどうするかというふうになると地元も恐らく話にならないだろうと。そういう発想で結論とさせていただいたところであります。

以上、答弁とします。

議長 ほかに質疑ありませんか。

17番岡山清秋君。

17番岡山清秋君 私は産建におりますので所管が違いますので、この場でなくては他の委員会のことについては話ができませんので、あえて申させていただきます。

予算書の24ページに保健衛生費の中の葬祭費、城川帰楽苑管理運営事業。やっと出てまいりました。かれこれ1年かかったわけですが、これについては市長さん初め担当課の皆様方には心から感謝を申し上げますけれども、これは予算でございますから、これから付託されて委員会のほうでそれぞれ慎重なる審査をした中で、この予算を通すのか通さないのかということになるかと思いますが、きょうはここもカメラも入っておりますので、城川町の方はこのケーブルテレビを意外と見ておられます。したがって、あえて私も確認をさせていただきますが、今回の予算、そんなに大きな予算ではないんですけれども、これは設計料を含めた中の予算なのか、また事業等については先般説明にもあったかと思うんですけれども

れども、またあえてこの場で確認をさせていただきたい。どの程度の事業をされるのか、構わない限りの報告をしていただきたい。

それと、もう一点ですけれども、工事のことはこれでいいんですけれども、今この議場の中にも城川出身の理事者が4名おられます。現場のことはよく把握されていると思うんですけれども、万が一この予算が可決をされて作業が行われた当然その暁には、城川町の方はほとんどここを使って葬儀をやられるようになるかと思いますが、それについてはどうしても今以上の車が入ってきます。駐車場の確保が難しいところでありますから、一台でも多くの車をとめれるようなことにしておかなければいけないのではないかとというようなことが考えられます。

そういった中で、現場を見られた中で、ちょうど外に今庭のあたりになるんですけれども、この駐車場の中で3分の1を占めるぐらいの大きな石があります。これは市長さんもお存じかとも思うんですけれども、行ってみられたらわかるんですけれども、この中で3分の1も占めるほどの大きな石を何で置いたんだろうかと。私は先輩議員、城川町の元議員さん方に確認をしたんですけれども、これは従来葬儀ではありません、火葬場ですから火葬に来るのにそんなには車も来ないだろうということの始まりから、この石は置いても構わないだろうと、そして景観にもいいだろうということで当初置かれたようでございます。しかし、今となっては、この石を除去するについてはそう難しいことではないと思います。大きな重機でも持っていけば、ものの一日で砕いてしまいます。可能なことでございますので、できますればこの石も除去するようなことも、また委員会の皆さん方もこれから審査に行かれて現地を見られる中で判断をされたらわかると思うんですけれども、できればまた今回の予算と別に補正でも構いませんが、この石を除去して一台でも、これを除ければ10台、20台の車は可能になります。そういったことも含めた中で、考えをしていただくことができないだろうかと。担当課としてそこら辺のところは見ていただいているのかどうか、構わなかったら答弁をしていただきたいと思います。

議長 三好生活福祉部長。

三好生活福祉部長 それではまず、ご質問の中の予算の内容についての説明をさせていただき

たいと思います。

その前に、この本件につきましては、昨年の5月に城川総務区長ほかから、城川帰楽苑の改修と増築についてという陳情を受けております。それ以降、約1年間かかったわけですが、帰楽苑の増改築以外に城川地区住民の皆さんの思いを遂げるような最善の方法はないかというふうなことで、1年をかけていろいろと検討してまいりました。そうした結果の中で、帰楽苑を増改築する以外に手だてはないというふうな判断の中で、今回予算の計上をさせていただきました。

その工事の経費の内訳でございますけれども、鉄骨づくりで延べ床面積48平方メートルを増築するというふうな予定になっております。建築工事、それから電気設備工事、空調設備工事等の工事請負費1,200万円、設計監理委託料100万円、建築確認及び完成検査に伴う申請手数料2万1,000円の計1,302万1,000円の予算内訳というふうになっております。

それから、先ほど来の石の件でございますけれども、それなりに石を置いたというふうなことをお聞きしたわけですが、今後のその石の取り扱いといたしましては、帰楽苑の斎場での利用者の方の利用者の動向とかそういったものを見させていただきまして、そういう状況の中で駐車場の拡充が必要だと一定の判断になった場合には、それなりの検討をしていかなければならないというふうに思いますので、しばらくの間はそういった状況を見させていただきたいというふうに思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長 12番元親孝志君。

12番元親孝志君 それでは、大綱につきまして質問させていただきたいと思います。

今定例会、それから前定例会にも出てまいりましたが、空き家対策をどうするのかということ、市長なりそれから総務部長の答弁では、市長はまず条例改正が先ではないかとか、あるいはまた総務部長は今の段階では検討していないというふうな答弁であったと思いますが、空き家にも個人の空き家とそれから公共の空き家、公共施設の空き家というものが両方あると思いますが、今の市の小学校の統廃合、これが順調に進みますと、平成26年の末には西予市で13校の小学校が廃屋になるということになると思います。そ

うした場合に、この小学校の空き地、跡地をどう活用するかということですが、私もいろんなところに跡地の利用の視察をしましたけれども、実際学校目的に建てたものをそれ以外の目的に使うということは、現実に現実味がないというふうに私は思っております。そうなりますと、当然統廃合が終わった暁には、これは無用の長物になるわけですから、当然取り壊すのが私はベターであろうというふうに思っております。

そこで、昨日の愛媛新聞に出ておりましたけれども、この跡地、廃屋に関して、公共施設に関しては、国が地方債の借金を認めようというふうな方向で今検討に入ったというふうな記事がきのう出ておりました。当然、もうこれ2年向こうの話ですから、国とすればこれを無制限にやるわけにいかないの、財政のモラルハザードを起こさないためには、それぞれの自治体が廃屋の取り壊しの計画書をまずつくれというふうなことを書いてありますので、今回この事業、よりおくれなように既にそういう計画に入っていくべきではないかと思いますが、そのことについてお伺いしたいと思います。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今のご質問についてお答えをいたします。

今、学校の統廃合に係る跡地、建屋その取り扱いにつきましては、基本的には今議員さん言われたところですが、まずは地元の財産ということもありますので、地元で何か利用されるようなことがあれば、地域づくり団体の方とか、そういう方々また一般の企業なりが入ってきたいというようなことがありましたら、そういうところにまず使っていただくような方向で検討し、それがいい状態であれば今言われるように建屋を壊して跡地をどうするか、そういうようなことにしたいというふうな一つの方針は持っております。壊すとなれば、今言われましたようなその計画を立てていくというような段取りになると思いますが、言われるようにその計画に乗りおくれなように、これから進めていきたいと考えております。

以上、答弁といたします。

議長 内藤教育部長。

内藤教育部長 学校の跡地利用につきまして、今現在学校再編の中で、地域部会でどうい

ふう利用をするかというのを現在検討していただいております。その結論が出ましたら、またそれについての対応を考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

議長 12番元親孝志君。

12番元親孝志君 わかるんですけども、もう既に例えば明浜西中学校ですか、統合してもうかれこれになります、全く跡地の有効活用ができてないというのが現状であろうと思います。

地元でと言われますが、あれだけ大きな施設を跡地利用するということは、常識的にこれはもう私は困難であろうと。そりゃあればあったにこしたことはないと思いますが、それよりもまず計画を優先的に進めておくべきであろうと、その中で、いや地元はこうしたいんだと言われるのであればそりゃ大いに結構な話で、それを待ってその後で計画というようなことになると、やはりこれは後手後手に回って、結局実現できるものも実現できなくなるという可能性も出てくると思いますので、私はもうこれは13校、また将来的には宇和にもまたそういった廃校が出てくるわけですが、新しく建設をするということは、同時に古いものは取り壊すということと同時に作業で考えていかないと、明浜西中のようにいつまでも幽霊屋敷のように放置するような状態が続くのではないかと危惧しますので、計画は計画として、やはり行政としてしっかりと私は事前につくっていただきたいと思います。

議長 河野総務企画部長。

河野総務企画部長 今、言われるような形で進めていきたいと思っております。

議長 ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

(日程3)

議長 次に、日程第3、議案第76号「平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)」から議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)」までの9件を一括議題といたします。

これより本案9件に対する一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

12番元親孝志君。

12番元親孝志君 議案第79号「平成25年

度西予市介護保険特別会計補正予算（第1号）」について質問させていただきたいと思います。

平成24年度、昨年ですけれども、介護保険の中で参酌標準というものを廃止するというのを厚生労働省が決められました。これはどういうことかといいますと、今まで介護保険制度の中で、要支援2から要介護5までの認定者の総数に対して受け入れる施設の枠というものは、37%以下でなければならないというようなルールがありました。しかし、これを厚生省は撤廃しようということを昨年決められております。ということは、自治体が自治体の裁量で幾らでも施設が建設できるということが認められたということになるわけですが、そうなりますと今後いろんな方が私がかような介護施設をやりたいというふうな人が出てきた場合に、今までは37%という縛りがありまして、それを理由にその受け入れを拒否できたと思うんですが、これがなくなったということは、これを断る理由がなくなったというふうに解釈していいんじゃないかというふうに思います。そうなった場合に、施設がどんどんできるということは、待機者にとりまして非常にありがたい話ですが、これは同時に負担度増額ということも並行して起こるわけですから、この辺将来的に西予市としてこのことを受けてどのような方向に持っていかれる考え方なのか、その点をお伺いしたいと思います。

議長 三好市長。

三好市長 今ほどの元親議員の参酌標準の廃止の関係でございますが、37%に施設型をしなさいよというのが基準でございますが、既に西予市は五十数%になっておりまして、非常に高い率に私どもはやっておるところでございます。

今ほどこの基準が廃止されることによって、自治体の裁量ということになります。これはその前段で介護計画が、今第5期がやっておりますけれども、これは3年間計画であります。第6期の計画を再来年、ことしから第5期が始まるとして、ことし、来年、再来年のときに第6期に向けて計画をつくります。そのときに、今どれほどの施設、どれくらいの介護保険料にするのか、施設をどうするのか等々はそのときに総量として計算した中で計画をつくってまいりますので、業者の方々が単純に入れる状態であるわけではありません。

以上でございます。

議長 ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長 以上で質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案14件については、お手元に配付いたしております常任委員会付託表及び特別委員会付託表のとおり、各委員会に付託をいたします。

（日程4）

議長 日程第4、請願第1号「産業廃棄物処理施設建設反対を求める請願書」を議題といたします。

本請願につきましては、お手元に配付いたしております請願文書表のとおり、厚生常任委員会に付託をいたします。

（日程5）

議長 次に、日程第5、陳情第2号「年金2.5%の削減中止を求める陳情」を議題といたします。

本陳情につきましては、お手元に配付いたしております陳情文書表のとおり、厚生常任委員会に付託をいたします。

各常任委員会及び特別委員会においては、各議案及び請願並びに陳情について十分に審査を行い、最終日の本会議において委員会審査の経過と結果について各委員長の報告を求めることといたします。

以上をもって本日の日程は全て終了いたしました。

6月28日は午後2時から会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午前9時43分

平成25年第2回西予市議会定例会会議録(第5号)

1.招集年月日	平成25年6月28日	三瓶支所長	西園寺 良徳
1.招集の場所	西予市議会議場	消防本部消防長	菊池 直
1.開議	平成25年6月28日	総務課長	宗 正弘
	午後2時00分	財政課長	道山 升文
1.閉会	平成25年6月28日	企画調整課長	浅野 信也
	午後2時47分	監査委員	正司 哲浩
1.出席議員		1.本会議に職務のため出席した者の職氏名	
1番	源 正樹	事務局長	井関 通夫
2番	井関 陽一	議事係長	佐藤 陽一郎
3番	菊池 純一	1.議事日程	別紙のとおり
4番	田中 徳博	1.会議に付した事件	別紙のとおり
5番	中村 敬治	1.会議の経過	別紙のとおり
6番	二宮 一朗		
7番	兵頭 学		
8番	小野 正昭		
9番	松山 清		
10番	宇都宮 明宏		
11番	松島 義幸		
12番	元親 孝志		
13番	沖野 健三		
14番	森川 一義		
15番	藤井 朝廣		
16番	浅野 忠昭		
17番	岡山 清秋		
18番	酒井 宇之吉		
19番	兵頭 勇		
20番	山本 昭義		
21番	梅川 光俊		

1.欠席議員
なし

1.地方自治法第121条により
説明のため出席した者の職氏名

市 長	三好 幹二
副 市 長	九鬼 則夫
教 育 長	宇都宮 又重
公営企業部長	平野 松市
会計管理者	井上 謙二
総務企画部長	河野 敏雅
産業建設部長	福原 純一
生活福祉部長	三好 幸二
教 育 部 長	内藤 利明
明浜支所長	宇都宮 松夫
野村支所長	井上 尚喜
城川支所長	徳居 隆利

議 事 日 程

- 1 議案第71号 西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第72号 西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第73号 西予市過疎地域自立促進計画の変更について
- 議案第74号 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について
- 議案第75号 平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第76号 平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)
- 議案第77号 平成25年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第78号 平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第79号 平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第80号 平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第81号 平成25年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第82号 平成25年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第83号 平成25年度西予市上水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第84号 平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)
- 陳情第2号 年金2.5%の削減中止を求める陳情
- 2 委員会の閉会中の継続審査の件
- 追加 議案第85号 西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について

- 議案第86号 城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について

本日の会議に付した事件

- 1 議案第71号 西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 議案第72号 西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
 - 議案第73号 西予市過疎地域自立促進計画の変更について
 - 議案第74号 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について
 - 議案第75号 平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)
 - 議案第76号 平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第77号 平成25年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第78号 平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第79号 平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第80号 平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第81号 平成25年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第82号 平成25年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 議案第83号 平成25年度西予市上水道事業会計補正予算(第1号)
 - 議案第84号 平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)
 - 陳情第2号 年金2.5%の削減中止を求める陳情
- 2 委員会の閉会中の継続審査の件
- 追加 議案第85号 西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について

- 議案第86号 城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について

開議 午後2時00分

議長 ただいまの出席議員は21名であります。これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(日程1)

議長 日程第1、議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」から議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)」までの14件及び陳情第2号「年金2.5%の削減中止を求める陳情」についてを一括議題といたします。

各委員会における審査の経過と結果について各委員長の報告を求めます。

まず、松山総務常任委員会委員長の報告を求めます。

松山清総務常任委員長 去る6月20日の本会議において、当委員会に付託をされました議案4件について、6月24日に審査を行いましたので、報告いたします。

議案第71号及び議案第73号から議案第75号までの3件については、お手元に配付のとおり原案可決決定いたしました。

次に、審査過程において、委員より出された質疑並びに理事者の答弁を抜粋して報告いたします。

一般会計補正予算(第1号)財政課所管分について、城川の杉之瀬診療所の貸し付けについての質疑に対して、東予産業という太陽光発電の部品を製造している会社に年契約で貸し付けするとの説明がありました。東予産業は、セルコジャパングループに属する会社であるとのことでした。

備品購入費275万2,000円は、おイネウオークでの追突事故車の買い替えかとの問いに対して、おイネウオーク最終日に列車事故があり、徐行運転していたところに追突された車両の買い替えのための費用で、事故車両と同じ10人乗りの新車を購入予定との答弁でした。また、他の古い公用車について具体的な更新計画はないが、年式15年以上、走行距離20万キロ以上というような基準をつくって順次進めたいとの答弁がありました。

次に、総務課所管分について、職員給与の減額の検討はされているのかとの質疑に対して、ラス

パイレス指数が99.2%であり、給料の削減は考えていないが、手当等については今後検討したいとの答弁でした。

また、旧5町の間で給与調整はできたのかについては、完了しているとの答弁でした。

文化会館裏の駐車場の有料化の話聞いたが確定かとの問いには、現在職員組合との調整中との答弁でした。

公共建物や空き家の取り壊しのための基金創設等の考えはあるのかとの問いに対しては、今まで壊すための補助はありませんでしたが、学校施設には起債が付くような状況もあり、全国的にこういう問題が出てきているので、全国市長会等にも要望しながら基金創設も含めて検討していきたいとの答弁でした。

危機管理課所管分について、「アラートの対応はどうなっているのかとの質疑に対して、平成22年度に導入し、既存のアナログ放送にて5町別々に対応していますが、野村町のデジタル化に対しては自動起動装置による放送に対応するとの答弁でした。また、その他の地域に対しても緊急速報メールで対応する予定で、今後周知していきたいとのことでした。

県が発表した津波高等の情報はどう捉えているかとの問いに対して、インターネットで番地まではわからないが浸水域を検索できるとのことで、三瓶湾は9.3メートルとのことでした。また、一昨年ハザードマップを作成しているが、今回の発表を受けて新たなマップ作成を考えているとの答弁でした。

企画調整課所管分については、過疎地域自立促進計画では6年間で事業費総額は411億円ほどになるが、過疎債の限度はないのかとの質疑に対して、昨年から少し制限ががかり始めたが、単年で70億円程度の事業費と考えているとの答弁でした。

宇和町のデマンドタクシーの便数など運行計画は検討されているのかとの質疑には、多田、中川地区を2つのエリアで1日1.5または2往復を、石城、旧町地区も2つのエリアで1.5または2往復を毎日交代で考えているとのこと、田野中から新病院、板ヶ谷から新病院へは生活交通バスで対応するとの答弁でした。三瓶からの運行はとの問いに対しては、現在の4便から5便への増便と新病院を経由する路線変更で対応したいと

の答弁でした。また、新市立病院建設特別委員会と新病院建設推進室の連携を図って対応してほしいとの意見が出されました。

消防本部所管分については、消防詰所の建てかえは年に1カ所ずつなのか、団員の活動拠点であるのでぜひ早目に対応してほしいとの意見がありました。

また、団員の条例定数の見直し検討はとの質疑に対しては、団幹部会でも検討しているところではありますが、要請のあった委員会との意見交換の場も検討したいとの答弁でした。

教育総務課所管分では、給食センター建設費の不動産鑑定料や物件調査算定料について、市の土地以外を考えているのかとの質疑に対して、現在の場所は手狭であり、現宇和病院も検討したが都市計画法の住宅用途地域であり、給食センターは工場扱いになり困難ということから、市有地を含めて候補地を絞って鑑定するための計上との答弁でした。

生涯学習課所管分の職員給与費2,297万8,000円の増額は、人数変動があったのかとの質疑があり、当初の予算では2名の退職予定者分を減額していたためとの答弁でした。

遊子川公民館講座事業はどのような内容かとの問いに対して、木工製品の製作等にかかわる事業で3年間行う予定との答弁でした。

文化体育振興課所管分では、松の窪堂の修理について地元負担はどのように進められているかの質疑に対して、建設委員会を立ち上げ、地元はもとより地元出身の方々にも寄附のお願いをしているところであるとの答弁でした。

体育館の耐震診断経費の内訳はとの問いには、明浜西体育館711万8,000円、野村体育館789万5,000円、三瓶体育館1,131万5,000円との答弁がありました。

以上、委員会審査報告といたします。

平成25年6月28日、総務常任委員会委員長 松山清。

議長 次に、小野厚生常任委員会委員長の報告を求めます。

8番小野正昭君。

小野正昭厚生常任委員長 去る6月20日の本会議において、当委員会に付託されました議案及び陳情について、去る6月21日に審査を行いましたので、報告をいたします。

議案第72号から議案第84号までの9件については、お手元に配付のとおりであり、原案可決決定をいたしました。

陳情第2号「年金2.5%の削減中止を求める陳情」については、年金受給者には低額受給者も多く、2.5%削減の実施によりさらに生活が厳しくなることが予想され、その心情を察するところではありますが、一方従来からの国の制度設計や将来における年金の安定受給、現下の厳しい財政状況等を鑑みると年金2.5%の削減はやむなしの見地から不採択と決定をいたしました。

次に、審査過程において委員より出された質疑並びに理事者の答弁を抜粋して報告をいたします。

初めに、議案第72号「西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」は、理事者より、今回保険税を約10.4%、1人当たり平均で年額約6,900円引き上げ7万3,000円程度とする根拠について、高齢化率の上昇に伴い医療費が増加傾向にある一方で、景気低迷等による国税収の減少により、国保財政は単年度収支が赤字になっており、基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れにより対処する極めて厳しい財政運営を強いられている。改正により補正予算ベースで8,000万円の増収を見込んでおり、先般国保審議会の答申も得ているとの説明がありました。

これに対する委員からの、所得割のランクがあるが一律に上がるのか、低所得による配慮はないのか、また予防医療に力を入れる必要があるのではとの質疑に対し、国保税は前年中の所得に応じて算出した額に所得割率で計算するが、低所得世帯には軽減制度の適用もある。予防医療については、特定健診にあわせた特定保健指導の実施率の向上等を初め、健康づくり推進課とも連携を図っていきたいとの答弁がありました。

また、今回の引き上げは一過性のものではないのかとの質疑に対し、一過性ではなく健全財政の維持のため、基金の積み立て等を視野に入れ、努力をしていきたいとの答弁がありました。

次に、議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」では、高齢福祉課所管において、遊の里健康センター運営委託事業に係る指定管理施設改修等負担金における市の負担割合について質疑がありました。統一した取扱基準

に基づき執行している旨の答弁がありました。

また、環境衛生課所管分では、城川帰楽苑管理運営事業における増改築の設計・管理委託料及び工事請負費計1,300万円について、現地での所管事務調査を実施し、増築予定箇所や駐車場スペースの確認を行いました。

次に、議案第79号「平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)」では、65歳以上の認知症患者数の掌握と支援に対する取り組みについてはの質疑に対し、平成25年4月現在、介護認定申請をされている方のうち主治医診断で1,983名おられ、支援としては国のオレンジプランを初め、かかりつけの医師や地域包括支援センターへの相談、認知症サポート医への受診等がある。認知症予備群も含め早期発見、早期治療が大切であり、所管課として引き続き予防教室等に取り組んでいきたいとの答弁がありました。

また、介護認定調査員の地域ごとの人員及びその資格についての質疑では、人員については本庁4名、支所ごとに明浜1名、野村2名、城川1名、三瓶2名配置しており、介護福祉士、看護師、社会福祉士等の有資格者であり、全員県の認定調査員研修の受講者であるとの答弁がありました。

議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)」では、給与費の増額説明に関連し、宇和病院において7月から泌尿器科医師が勤務することにより、透析に係るシャントの手術が可能になるとの報告がありました。

以上、委員会審査報告といたします。

平成25年6月28日、厚生常任委員会委員長小野正昭。

議長 次に、宇都宮産業建設常任委員会委員長の報告を求めます。

10番宇都宮明宏君。

宇都宮明宏産業建設常任委員長 産業建設常任委員会では、去る6月20日の本会議において、当委員会に付託されました議案3件について、6月21日に提案理由の説明を求め、慎重に審査を行いました。

審査経過及び結果は、お手元に配付の委員会審査報告書のとおりであり、付託されました議案第75号、議案第80号、議案第81号の3件については、原案全会一致で可決決定いたしました。

続きまして、審査過程におきまして委員より出された質疑並びに理事者の答弁を抜粋して報告いたします。

平成25年度一般会計補正予算(第1号)のうち、商工観光課所管分、ジオパーク推進事業費340万円増について、委員より、来月下旬に現地審査が予定されており、看板設置やのぼり旗の作成に力を入れるべきとの意見がありました。これに対し、ポスター、ステッカー、のぼり旗で対処すると答弁がありました。

次に、ジオパークについて市民への周知が足りないのではとの質疑があり、これについては昨年未からケーブルテレビにおいて特別番組を放映しており、今後も啓発を継続したいとの答弁がありました。

続いて、農業水産課所管分、新規作物等産地育成事業338万2,000円増につきましては、野村町の農家を中心となって運営している薬草生産組合への補助金であり、ミシマサイコを生産しているとの説明がありました。

農業委員会、産業創出課、下水道課所管分に関しては、人事異動による職員給与等の補正でした。

以上、産業建設常任委員会の審査報告といたします。

平成25年6月28日、産業建設常任委員会委員長宇都宮明宏。

議長 次に、森川西予市環境衛生施設建設特別委員会副委員長の報告を求めます。

14番森川一義君。

森川一義西予市環境衛生施設建設特別副委員長 西予市環境衛生施設建設特別委員会審査報告書。

西予市環境衛生施設建設特別委員会の審査報告を申し上げます。

去る6月20日の本会議において、当委員会に付託されました議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」のうち、歳入歳出予算に関する西予市環境衛生施設建設特別委員会所管分について、同日委員会を開催し、審査を行いました。

汚泥再生処理施設整備事業費184万3,000円の内訳について、総合評価方式により施設建設事業者を選定する際、各社からの技術提案書を比較検討、評価する技術評価委員会の委員に専門

的知識を有する者等が必要であるため、その委員への報償費として19万8,000円を増額するほか、地元環境整備に係る集会所改修のための工事請負費164万5,000円を増額するとの説明がありました。

なお、工事請負費に係る特定財源164万5,000円については、一般廃棄物処理施設等建設基金の一部を取り崩して財源に充てるとの説明を受け、全会一致で原案可決決定いたしました。

以上、委員会審査報告といたします。

平成25年6月28日、西予市環境衛生施設建設特別委員会副委員長森川一義。

議長 以上で各委員長の報告は終わりました。

これより各委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 以上で質疑を終結といたします。

討論の通告がありませんので、討論を終結といたします。

これより議案順に採決を行います。

まず、議案第71号を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第71号「西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について」は委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認めます。よって、議案第71号は原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第72号を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第72号「西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」は委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第72号は原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第73号及び議案第74号の2件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。

議案第73号「西予市過疎地域自立促進計画の変更について」及び議案第74号「辺地に係る公

共的施設総合整備計画の策定について」の2件は委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認めます。よって、議案第73号及び議案第74号の2件は原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第75号を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第75号「平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)」は委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第75号は原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第76号から議案第84号までの9件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。

議案第76号「平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)」から議案第84号「平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)」までの9件は委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第76号から議案第84号までの9件は原案のとおり決定いたしました。

次に、陳情第2号を採決いたします。

お諮りいたします。

陳情第2号「年金2.5%の削減中止を求める陳情」については委員長報告のとおり不採択とすることに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、陳情第2号は不採択とすることに決定いたしました。

暫時休憩いたします。(休憩 午後2時28分)

副議長 再開をいたします。(再開 午後2時29分)

(日程2)

副議長 次に、日程第2、委員会の閉会中の継続審査の件を議題といたします。

厚生常任委員会副委員長から、目下委員会において審査中の請願第1号「産業廃棄物処理施設建設反対を求める請願書」について、会議規則第110条の規定により、お手元に配付いたしております申出書のとおり、閉会中の継続審査としたい旨の申し出がありました。

本申し出について厚生常任委員会副委員長の説明を求めます。

4番田中徳博君。

田中徳博厚生常任副委員長 それでは説明いたします。

去る6月20日の本議会において、当委員会に付託されました請願第1号「産業廃棄物処理施設建設反対を求める請願書」について、6月24日、第2委員会室において委員会を開催し、請願者からの意見聴取を踏まえ、慎重に審議いたしました。

意見として、心情的には理解できるが、請願の趣旨は9月定例会まで延ばしても採択できないのではないかという意見がありましたが、議会としても、市からの経過説明を受けたのが5月16日であり、市及び議会のかかわりと詳細な調査研究のためにも時間が必要ではないのかといった意見が多数を占めたことから、今回継続審査とすることに決しました。

以上、審査の経過並びに申し出の説明といたします。

副議長 副委員長の報告は終わりました。

これより本申し出に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

副議長 以上で質疑を終結といたします。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

副議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

お諮りをいたします。

副委員長から申し出のとおり、請願第1号については閉会中の継続審査の申し出を承認することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

副議長 ご着席ください。

起立多数であります。よって、請願第1号については閉会中の継続審査の申し出を承認することに決定いたしました。

暫時休憩いたします。(休憩 午後2時32分)

議長 再開いたします。(再開 午後2時34分)

お諮りいたします。

ただいま市長から提出されました議案第85号「西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について」及び議案第86号「城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について」の2件を本日の日程に追加し、追加日程として議題にいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認めます。よって、2件を本日の日程に追加し、追加日程とすることに決定をいたしました。

(追加)

議長 追加日程第1、議案第85号「西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

内藤教育部長。

内藤教育部長 議案第85号「西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について」提案理由のご説明を申し上げます。

野村小学校本校舎は、昭和54年6月に建設された鉄筋コンクリートづくり3階建て、延べ床面積2,467平方メートルの建物であり、また北校舎については昭和54年3月に建設された鉄筋コンクリートづくり3階建て、延べ床面積1,402平方メートルの建物であります。

野村小学校につきましては、西予市小学校再編計画に基づき、野村地区小学校統合拠点校として平成27年4月1日の開校を予定しておりますが、本校舎及び北校舎につきましては、経年劣化による老朽化対策及び耐久性を図るため大規模改修工事を行うものであります。

主な工事内容につきましては、防水改修工事、外壁改修工事、内部改修工事及び建具改修工事であります。

本工事につきましては、去る6月18日に事前審査型一般競争入札を執行し、株式会社東部総合建設代表取締役広瀬徹氏と工事請負金額1億6,768万5,000円で6月19日に工事請負仮契約を締結いたしましたので、議会の議決を求め

るものであります。

なお、本工事に係る概要等につきましては、別紙参考資料をご参照ください。

以上、よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いいたします。

議長 理事者の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

議案第85号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

議案第85号「西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について」は原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第85号は原案のとおり決定いたしました。

(追加)

議長 追加日程第2、議案第86号「城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

河野総務企画部長。

河野総務企画部長 議案第86号「城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について」提案理由のご説明を申し上げます。

本条例は、城川町高川地区及び土居地区において、道路運送法第78条第2項の規定に基づき自家用有償旅客運送を行うため、業務の区域や運賃等を定めているものでございます。

同地区におきましては、現在マイクロバス2台

による路線定期運行を行っておりますが、地域の実情に応じた利便性の高い交通システムについて、高川及び土居地区の新交通システム検討委員会において昨年度から検討を行ってまいりました。

その結果、ドア・ツー・ドアの送迎を行うタクシーに準じた利便性と乗り合い低料金というバスに準じた特徴を兼ね備えたデマンド乗り合いタクシーによる交通システムを採用することとなり、昨日の西予市地域公共交通活性化協議会において事業計画の承認を受け、協議が調いました。

当運行につきましては、平成25年10月から道路運送法第4条の規定に基づき、区域運行許可を取得した事業所による運行を予定していることから、本条例を廃止するものでございます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いいたします。

議長 理事者の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

議案第86号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

議案第86号「城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について」は原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第86号は原案のとおり決定いたしました。

以上で全日程を終了いたしました。

市長より閉会の挨拶があります。

三好市長。

三好市長 平成25年第2回西予市議会定例会の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

去る6月10日に開会しました本定例会も本日が最終日となりました。19日間の会期中、議員各位には本議会及び各常任委員会におきまして上程いたしました案件について慎重なご審議を賜り、まことにありがとうございました。おかげをもちまして、補正予算を初め、条例の改正などの重要な案件はいずれも原案どおり可決またはご承認いただきました。ここに衷心より厚くお礼を申し上げる次第でございます。

また、一般質問におきましてはさまざまなご意見やご提言をいただきましたが、答弁で申し上げましたとおり、実施または実現可能なものから進めてまいる所存でございますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年は平年より9日早い梅雨入りでございましたが、ほとんど雨が降らず、水不足を心配しておりました。しかしながら、このところの活発な梅雨前線の影響により、農家の皆さんも一息つかれたのではないかと考えております。

さて、皆さんも新聞等でご存じのこととは思いますが、去る6月10日に県から南海トラフ巨大地震のほか、本県に大きな影響を及ぼす4つの地震の最大震度や津波による浸水面積など、県独自の地震被害想定調査結果が発表されました。県の発表では、地震で堤防が破壊されることを前提に被害想定をするなど条件を細分化しておりますので、西予市においても国の地方防災会議の発表よりも浸水面積が広がっておりますが、最大津波高につきましては、国の想定と余り変動はないようでございます。今回発表されました調査結果は県のホームページでも公開されておりますので、皆さんも避難の参考としていただきたいと思えますし、市といたしましても今後の事前対策や応急体制などの防災計画にも取り入れてまいりたいと考えております。

これからますます蒸し暑い日々が続くと思えますが、議員各位におかれましては、健康に十分ご留意をいただき、今後の市政運営になお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、閉会のご挨拶といたします。どうもありがとうございました。

議長 これをもって平成25年第2回西予市議会定例会を閉会といたします。

閉会 午後2時47分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

西予市議会議長

西予市議会副議長

同 議員

同 議員

平成25年第2回西予市議会定例会議決結果表

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第 71号	西予市災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	25.6.28	原案可決
議案第 72号	西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	25.6.28	原案可決
議案第 73号	西予市過疎地域自立促進計画の変更について	25.6.28	原案可決
議案第 74号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について	25.6.28	原案可決
議案第 75号	平成25年度西予市一般会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 76号	平成25年度西予市授産場特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 77号	平成25年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 78号	平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 79号	平成25年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 80号	平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 81号	平成25年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 82号	平成25年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 83号	平成25年度西予市上水道事業会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 84号	平成25年度西予市病院事業会計補正予算(第1号)	25.6.28	原案可決
議案第 85号	西予市立野村小学校本校舎北校舎改修工事請負契約について	25.6.28	原案可決
議案第 86号	城川町有代替自動車の設置及び管理運営等に関する条例を廃止する条例制定について	25.6.28	原案可決
諮問第 3号	人権擁護委員候補者の推薦について	25.6.10	同意
報告第 1号	平成24年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 2号	平成24年度西予市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 3号	平成24年度西予市公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 4号	平成24年度西予市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 5号	平成24年度西予市上水道事業会計予算繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 6号	平成24年度西予市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	25.6.10	承認

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
報告第 7号	平成24年度西予市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 8号	平成24年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 9号	平成24年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	25.6.10	承認
報告第 10号	専決処分事項の報告について	25.6.10	報告
陳情第 2号	年金2.5%の削減中止を求める陳情	25.6.28	不採択
	委員会の閉会中の継続審査の件	25.6.28	承認